

14.5

679

14.5-679



1200501218183

水道事業年報

京都市水道局発行

昭和十一年度



始



14.5  
679

昭和十一年度

水道事業年報

納本

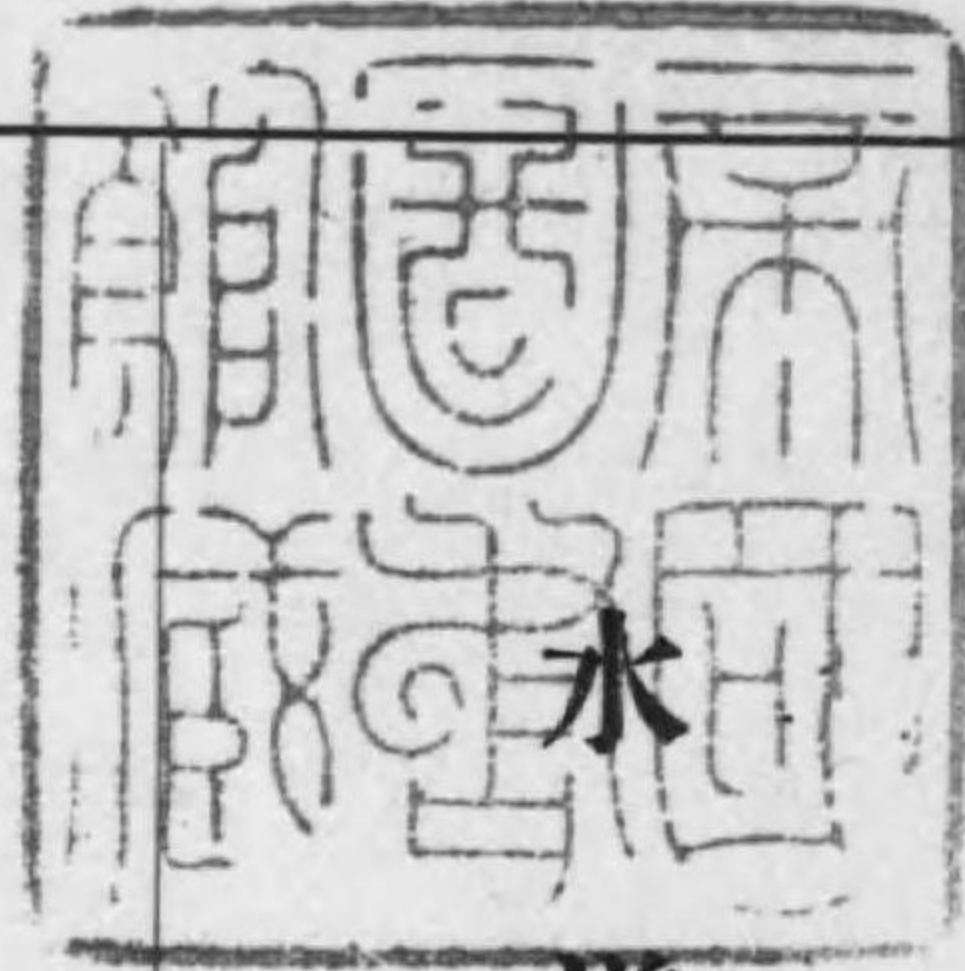
京都市水道局



昭和十一年度

水道事業年報

京都市水道局



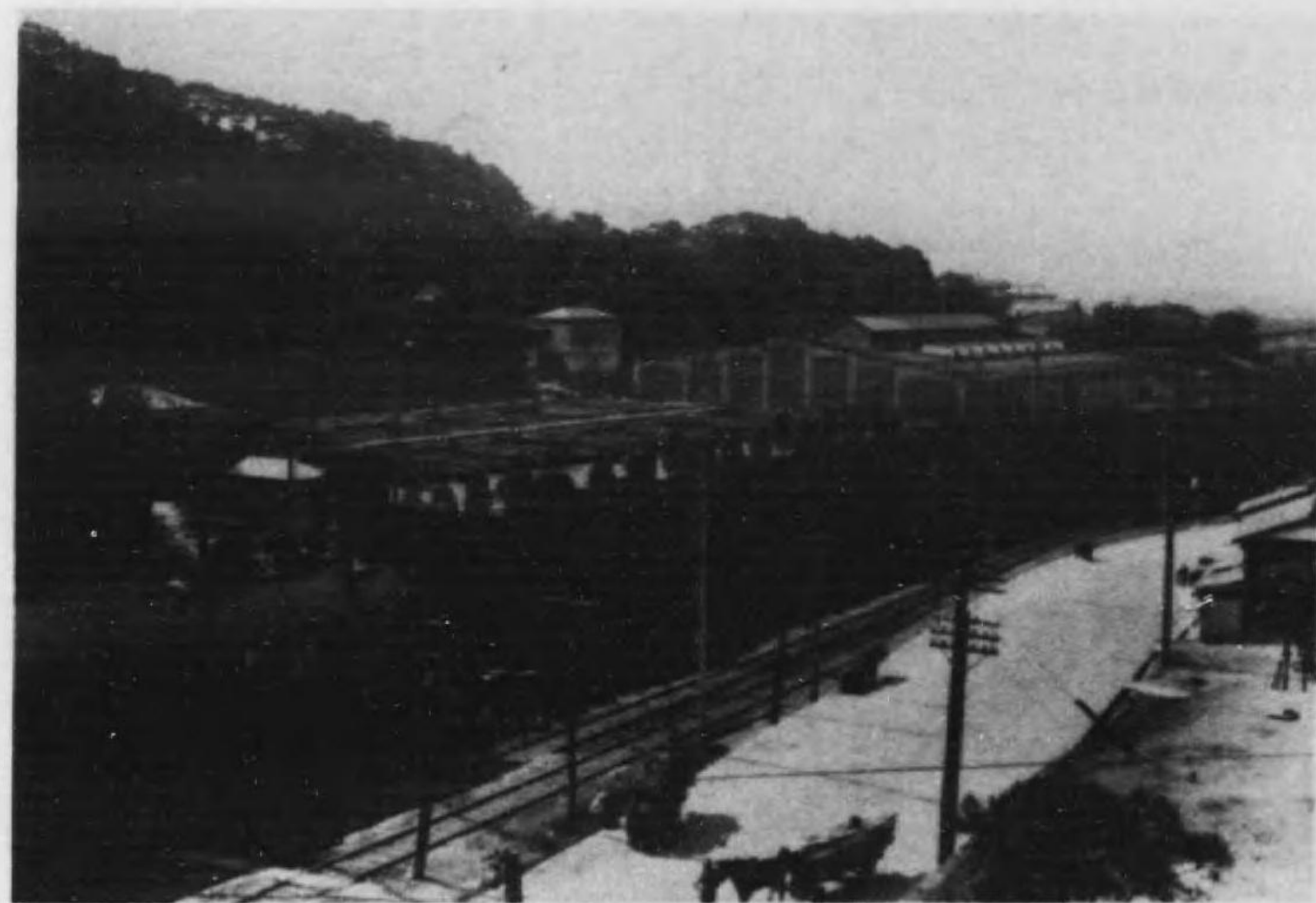
萬物資始

明治四十五年五月  
桃林書

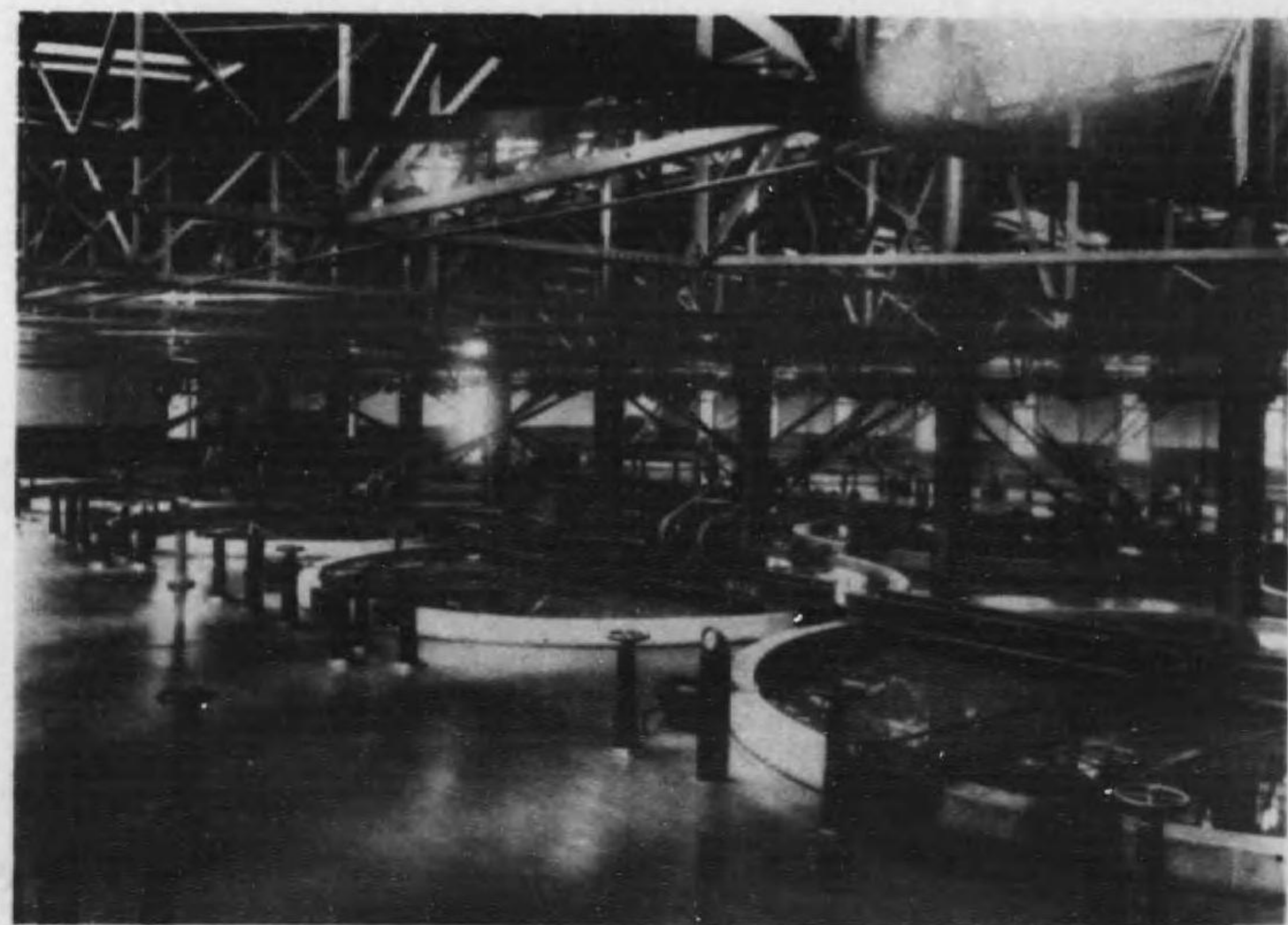
久通宮殿下御染筆



第二疏水門

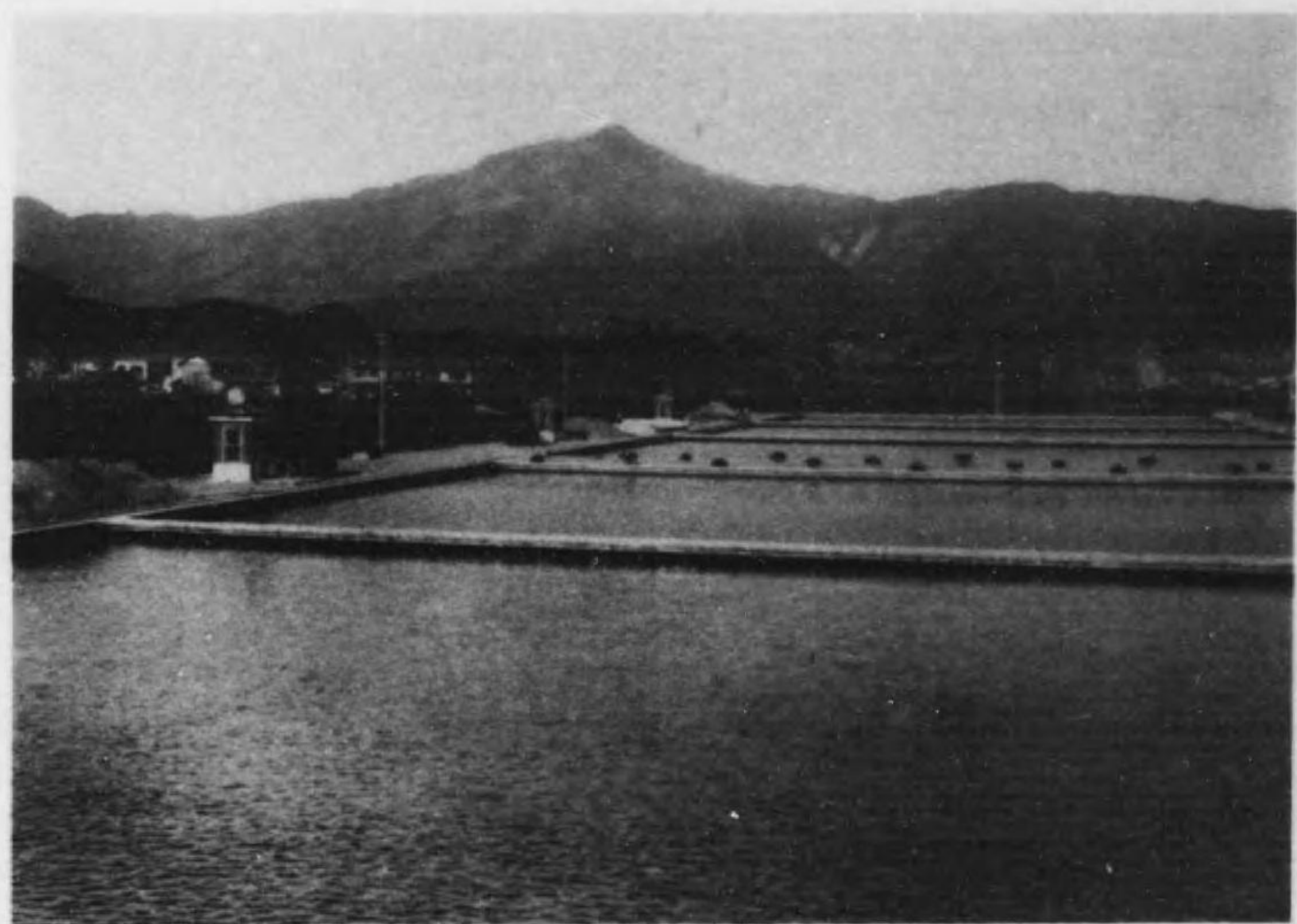


場水淨上藏市都京

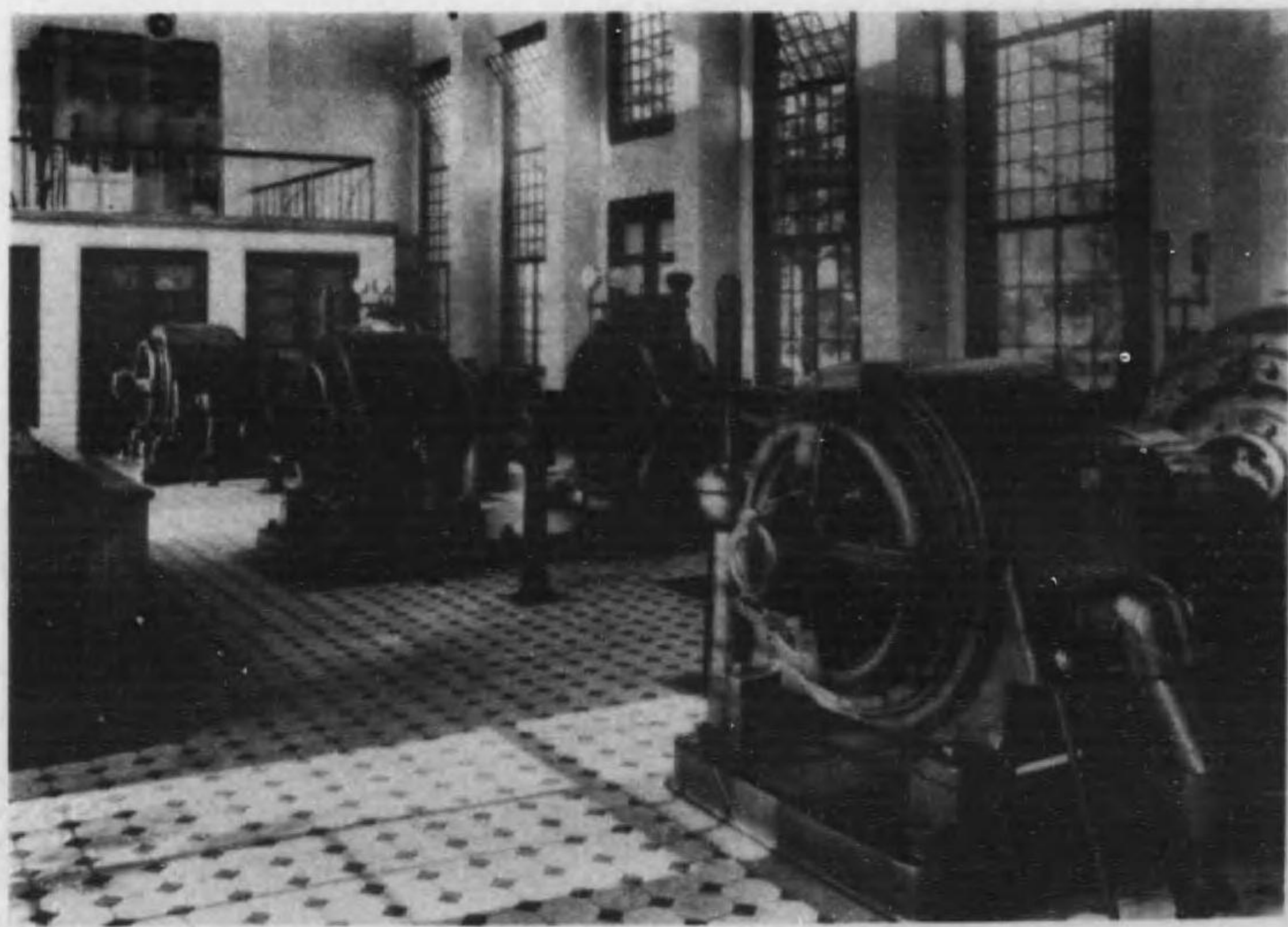


槽過濾場水淨上藏市都京

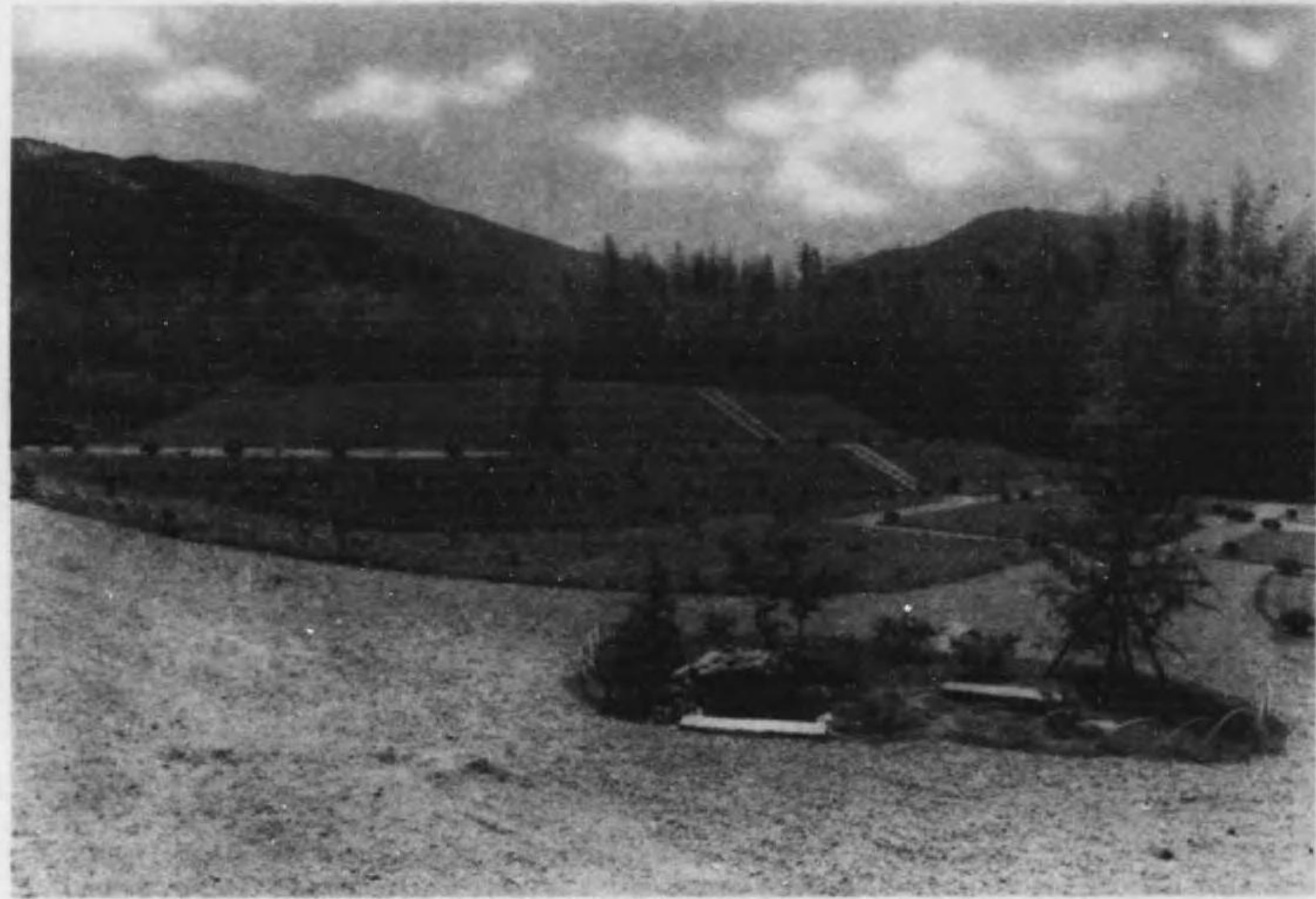




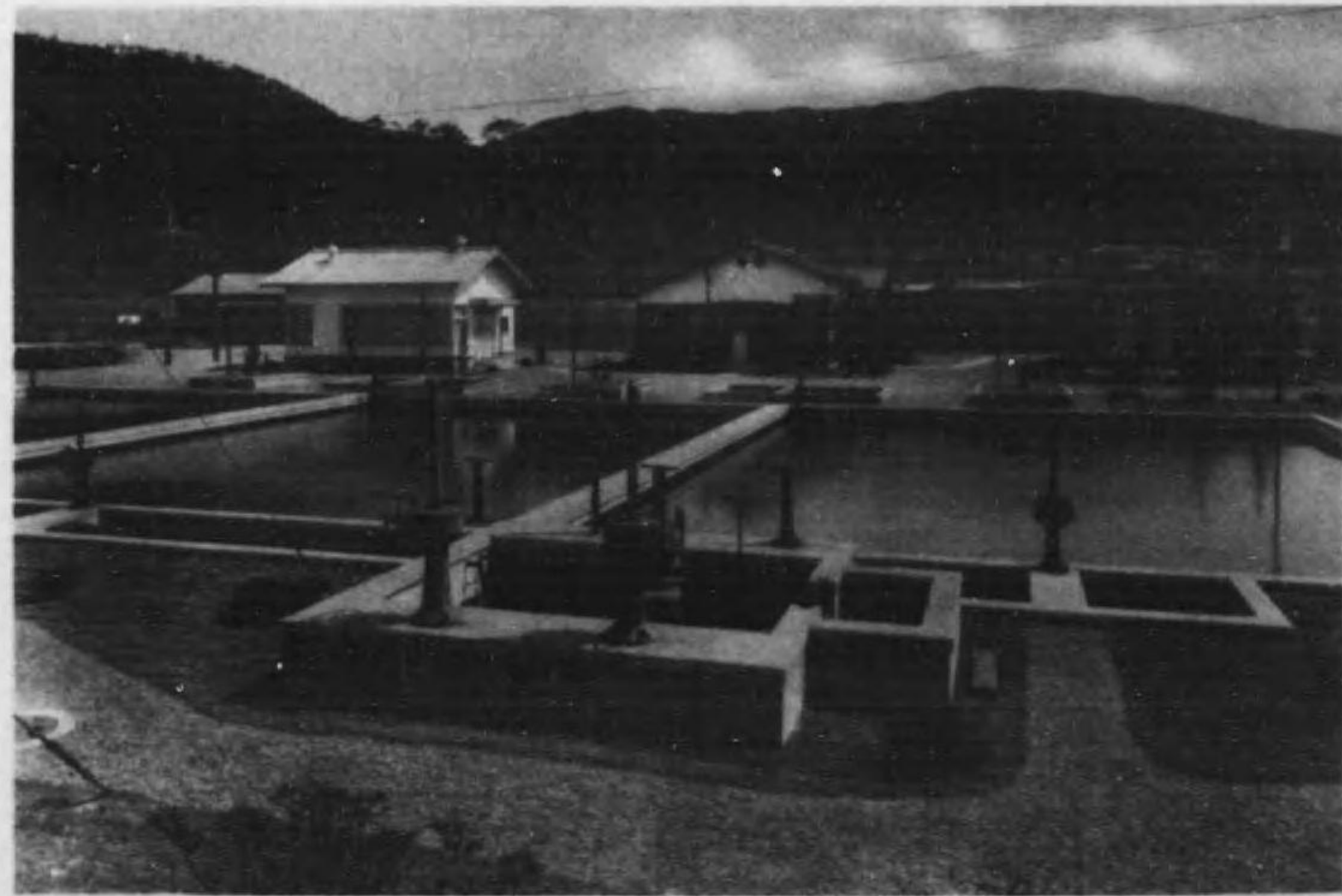
池過濾場水淨崎ヶ松市都京



室筒唧場水淨崎ヶ松市都京



池水配場水淨科山市都京



池過濾場水淨科山市都京

各年度配水管延長比較表

年 度 別	配水管敷設
昭和2年度	28,440.35
昭和3年度	18,663.14
昭和4年度	14,896.61
昭和5年度	5,220.81
昭和6年度	22,543.00
昭和7年度	18,986.00
昭和8年度	12,268.00
昭和9年度	4,422.00
昭和10年度	9,795.22
昭和11年度	11,011.96

昭和六年四月一日隣接二十六ヶ市町村編入配水管 48,140米  
(但シぐらふニハ掲記セズ)

昭和十一年度末現在ニ於ケル配水管總延長686,759米04(174  
里31町17間2尺)

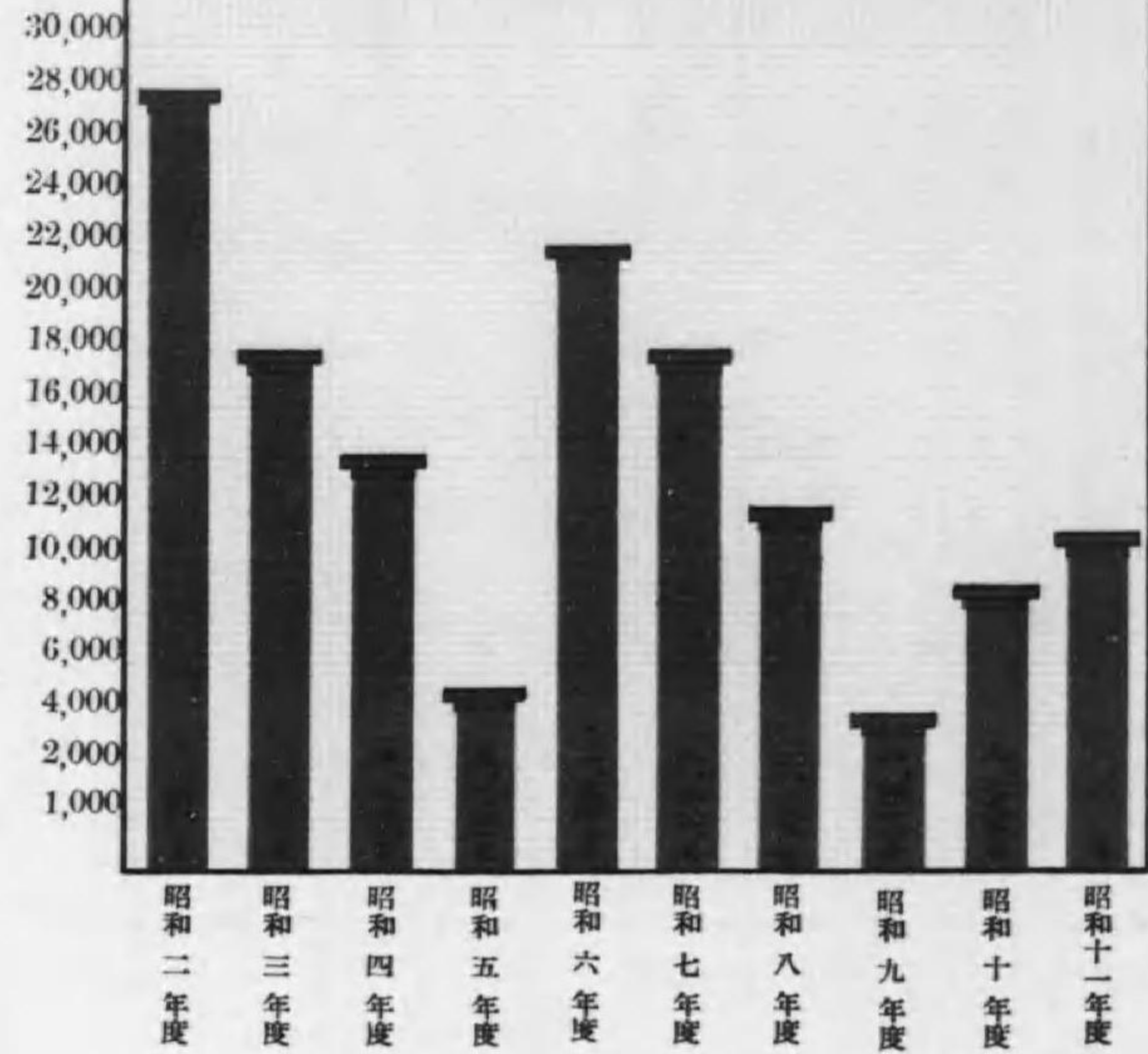
各年度配水量比較表

年度別	總 計	瀧 上 淨水場	松ヶ崎 淨水場	山 科 淨水場
昭和2年度	24,902.064	22,881.017	2,021.047	—
昭和3年度	28,049.710	24,901.489	3,147.221	—
昭和4年度	29,033.068	24,206.923	4,826.145	—
昭和5年度	30,756.991	24,465.314	6,291.677	—
昭和6年度	31,177.116	24,820.852	6,356.264	—
昭和7年度	33,444.431	26,190.401	7,254.030	—
昭和8年度	37,282.029	27,206.498	10,075.531	—
昭和9年度	39,109.039	26,575.273	12,533.766	—
昭和10年度	42,917.300	30,394.695	12,522.605	—
昭和11年度	47,136.066	30,602.237	16,241.958	291.871

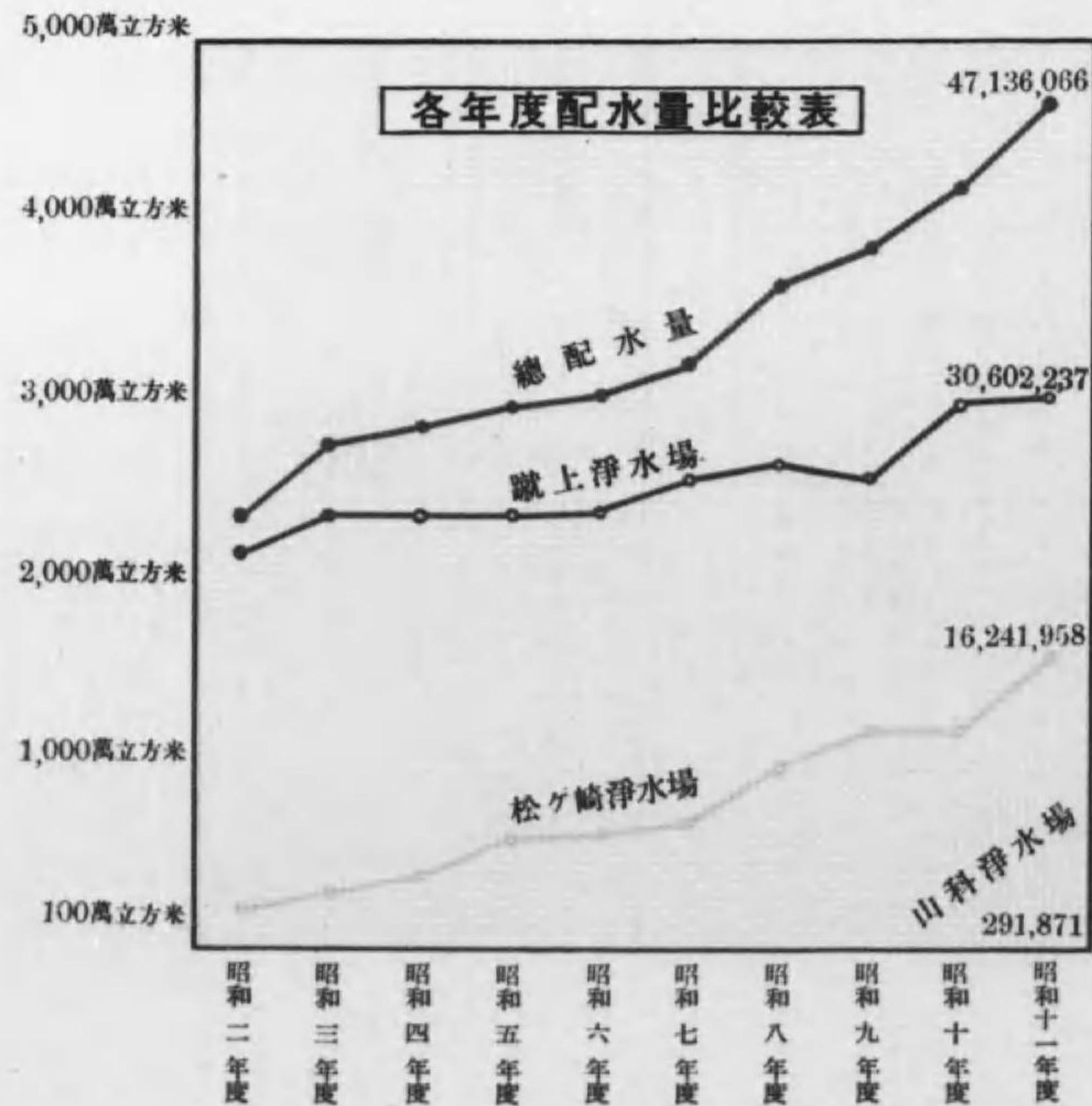
單位立方米



各年度配水管延長比較表



各年度配水量比較表



各年度配水管延長比較表

配水管延長 (m)	年度
28,044.88	昭和二年
11,808.81	昭和三年
13,808.41	昭和四年
18,032.2	昭和五年
22,242.00	昭和六年
18,882.00	昭和七年
12,588.00	昭和八年
4,122.00	昭和九年
7,822.22	昭和十年
11,012.11	昭和十一年

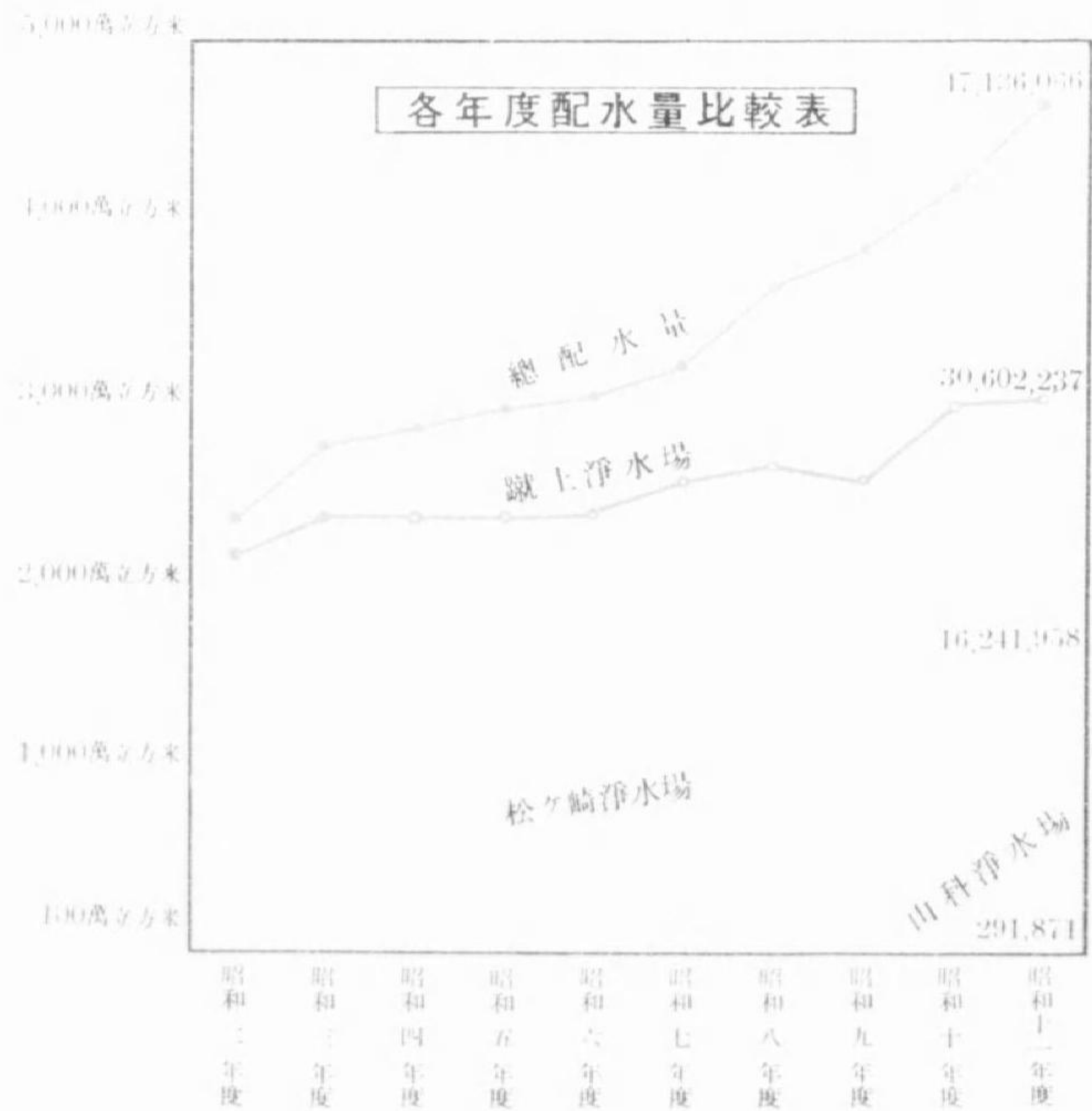
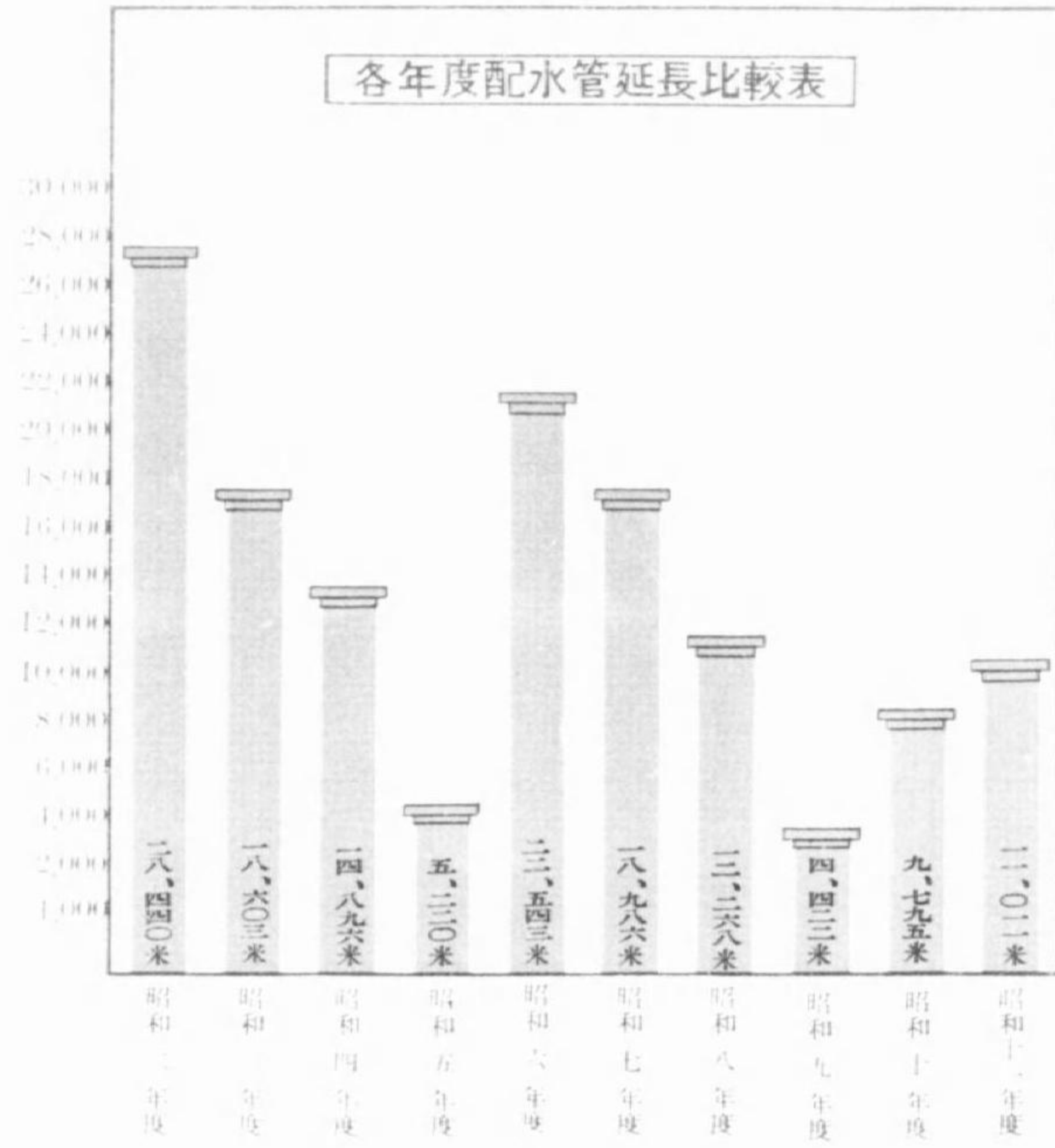
昭和十一年一月一日四時六分  
 (水戸市に属する)の  
 昭和十一年一月一日四時六分  
 (水戸市に属する)の

各年度配水管延長比較表

年度	山科浄水場 (10,000 m³)	三浦浄水場 (10,000 m³)	松ヶ崎浄水場 (10,000 m³)	合計 (10,000 m³)	年度
昭和二年	100	2,100	100	2,300	昭和二年
昭和三年	150	2,300	150	2,700	昭和三年
昭和四年	180	2,300	180	2,800	昭和四年
昭和五年	200	2,300	200	2,900	昭和五年
昭和六年	250	2,400	250	3,000	昭和六年
昭和七年	300	2,500	300	3,200	昭和七年
昭和八年	400	2,600	400	3,500	昭和八年
昭和九年	500	2,500	500	3,700	昭和九年
昭和十年	600	2,900	600	4,100	昭和十年
昭和十一年	1,624.1958	3,060.237	16,241.958	47,136.066	昭和十一年

米式立対單

露光量違いの為重複撮影



昭和二年

昭和三年

昭和四年

昭和五年

昭和六年

昭和七年

昭和八年

昭和九年

昭和十年

昭和十一年

昭和二年

昭和三年

昭和四年

昭和五年

昭和六年

昭和七年

昭和八年

昭和九年

昭和十年

昭和十一年

各年度一日配水量比較表

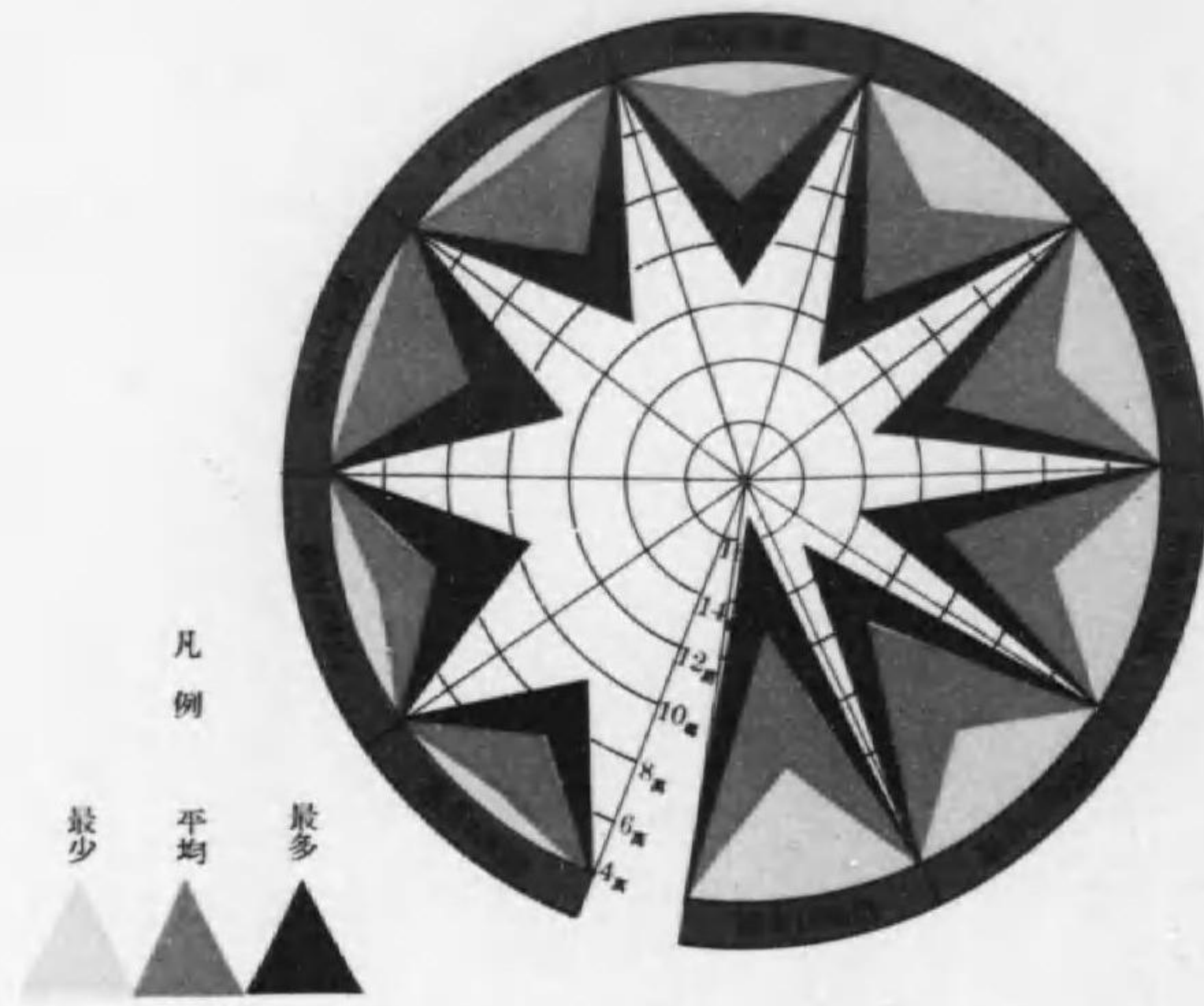
年度別	最大日量	平均日量	最少日量
昭和2年度	96,005	68,038	46,038
昭和3年度	102,825	76,845	50,163
昭和4年度	115,283	79,543	45,820
昭和5年度	116,701	84,266	46,960
昭和6年度	118,014	85,183	50,402
昭和7年度	131,660	91,630	74,910
昭和8年度	134,248	102,142	67,922
昭和9年度	140,694	107,148	74,225
昭和10年度	151,506	117,260	75,788
昭和11年度	170,519	129,139	85,306

單位立方米

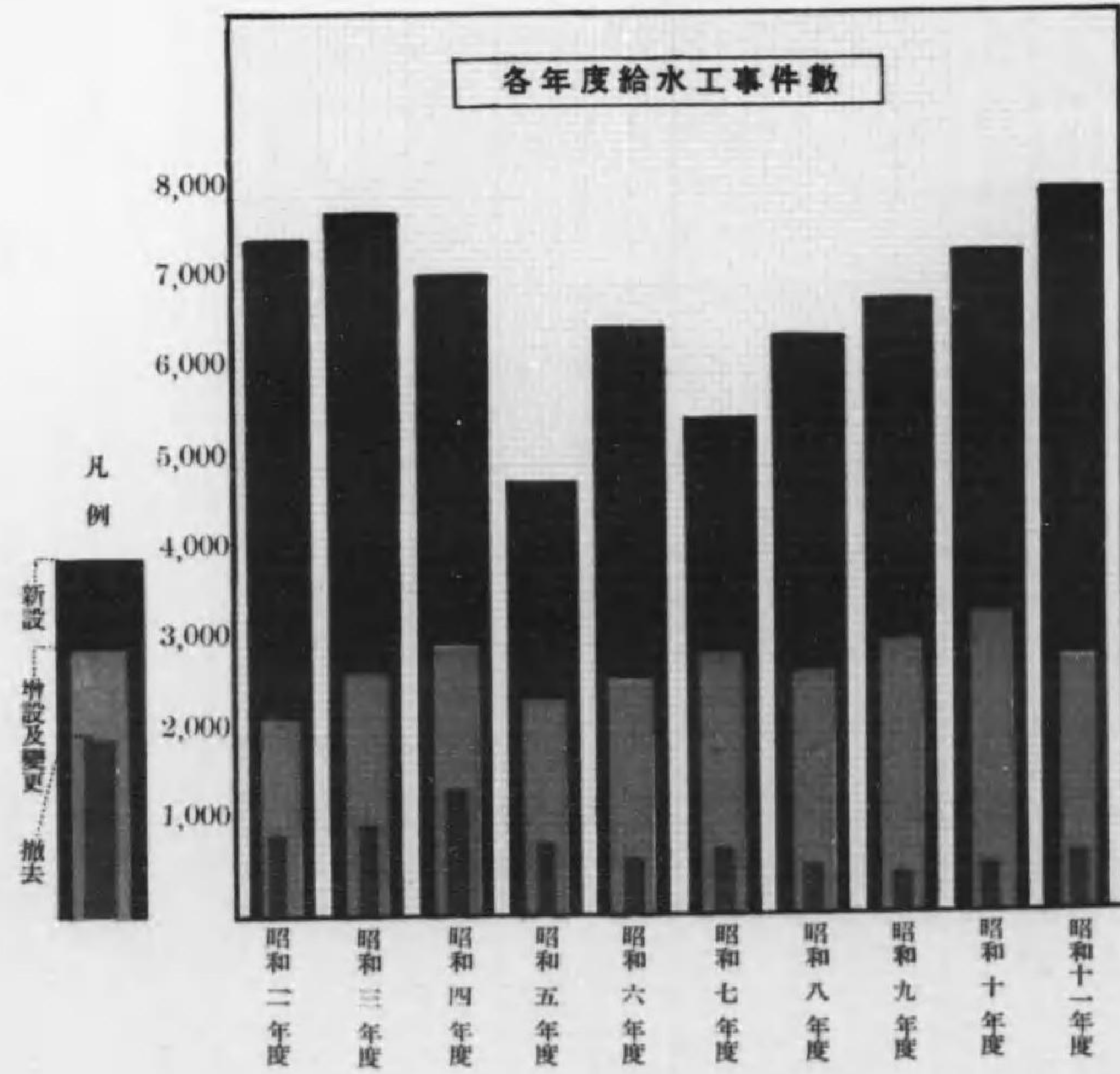
各年度給水工事件數比較表

年度別	新設	增設及變更	撤去
昭和2年度	7,565 <sup>件</sup>	2,341 <sup>件</sup>	932 <sup>件</sup>
昭和3年度	7,876	2,795	1,068
昭和4年度	7,112	3,036	1,474
昭和5年度	4,894	2,417	816
昭和6年度	6,503	2,603	628
昭和7年度	5,594	2,932	734
昭和8年度	6,485	2,730	534
昭和9年度	6,810	3,091	494
昭和10年度	7,313	3,352	584
昭和11年度	8,042	2,804	608

各年度一日平均配水量



各年度給水工事件数



各年度日平均出水量

年度	日最大量	日平均量	日最小量
昭和二年	170,210	130,120	82,700
昭和三年	171,200	117,200	72,200
昭和四年	140,200	107,140	74,220
昭和五年	124,240	102,140	67,220
昭和六年	121,000	91,000	74,210
昭和七年	118,014	87,180	50,400
昭和八年	116,701	84,200	46,200
昭和九年	112,220	79,240	42,200
昭和十年	102,220	76,240	50,100
昭和十一年	98,000	68,000	46,000

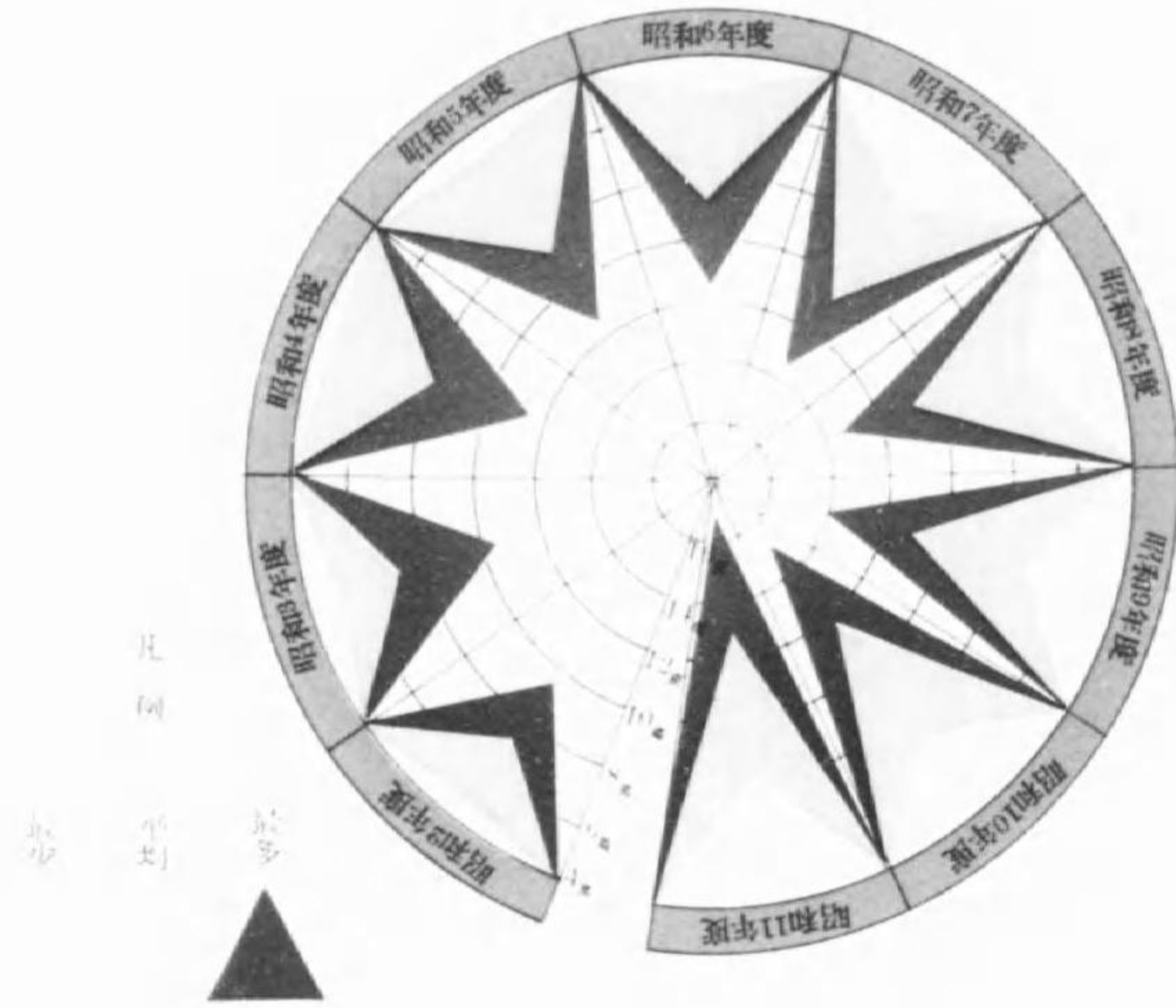
単位立米

各年度工事用水平均出水量

年度	平均出水量	工事用水	削減率
昭和二年	2,804	2,042	60%
昭和三年	3,222	2,312	60%
昭和四年	3,091	2,810	70%
昭和五年	2,720	2,482	70%
昭和六年	2,922	2,204	60%
昭和七年	2,602	2,202	60%
昭和八年	2,417	1,804	50%
昭和九年	2,020	1,474	50%
昭和十年	2,722	1,876	50%
昭和十一年	2,241	1,292	50%

# 露光量違いの為重複撮影

各年度一日平均配水量

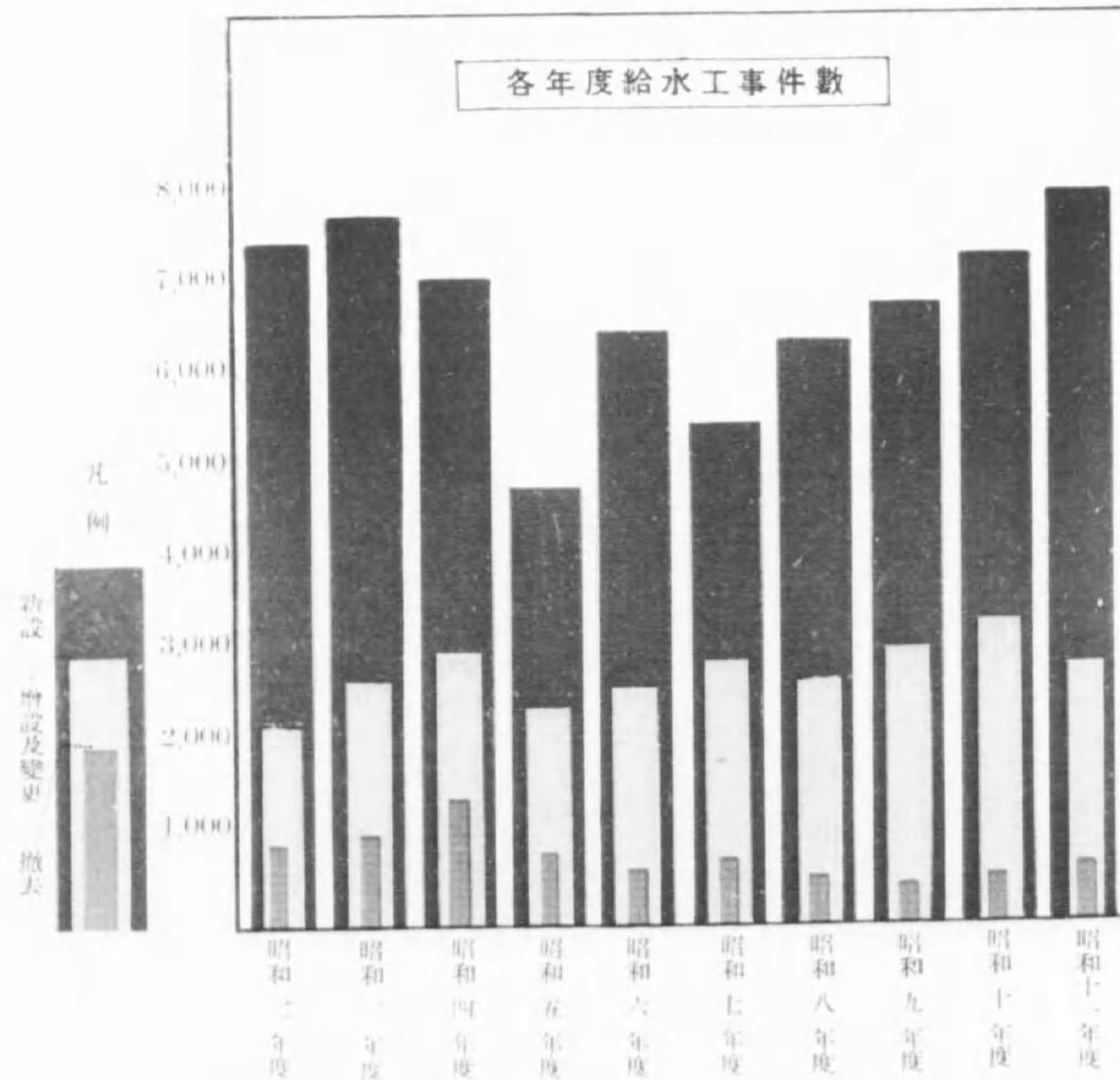


各年度一日平均配水量

量日少最	量日平均	量日大最	限取平
220,21	270,28	700,00	昭和2年度
201,00	240,07	550,50	昭和3年度
058,54	217,07	320,71	昭和4年度
000,01	300,12	107,01	昭和5年度
20,10	291,78	410,11	昭和6年度
010,17	000,10	000,11	昭和7年度
000,70	011,01	111,11	昭和8年度
200,17	211,70	400,14	昭和9年度
000,00	000,71	300,11	昭和10年度
000,00	011,01	110,11	昭和11年度

米式立列單

各年度給水工事件數



各年度給水工事件數

式	重	部	部	限
200	111,5	500,7		昭和2年度
200,1	200,5	300,7		昭和3年度
170,1	300,0	711,7		昭和4年度
010	711,5	100,1		昭和5年度
000	000,5	000,0		昭和6年度
100	000,5	100,7		昭和7年度
100	000,5	000,0		昭和8年度
100	100,0	000,0		昭和9年度
100	000,5	700,7		昭和10年度
000	000,5	000,0		昭和11年度

各年度給水使用戸数累計表

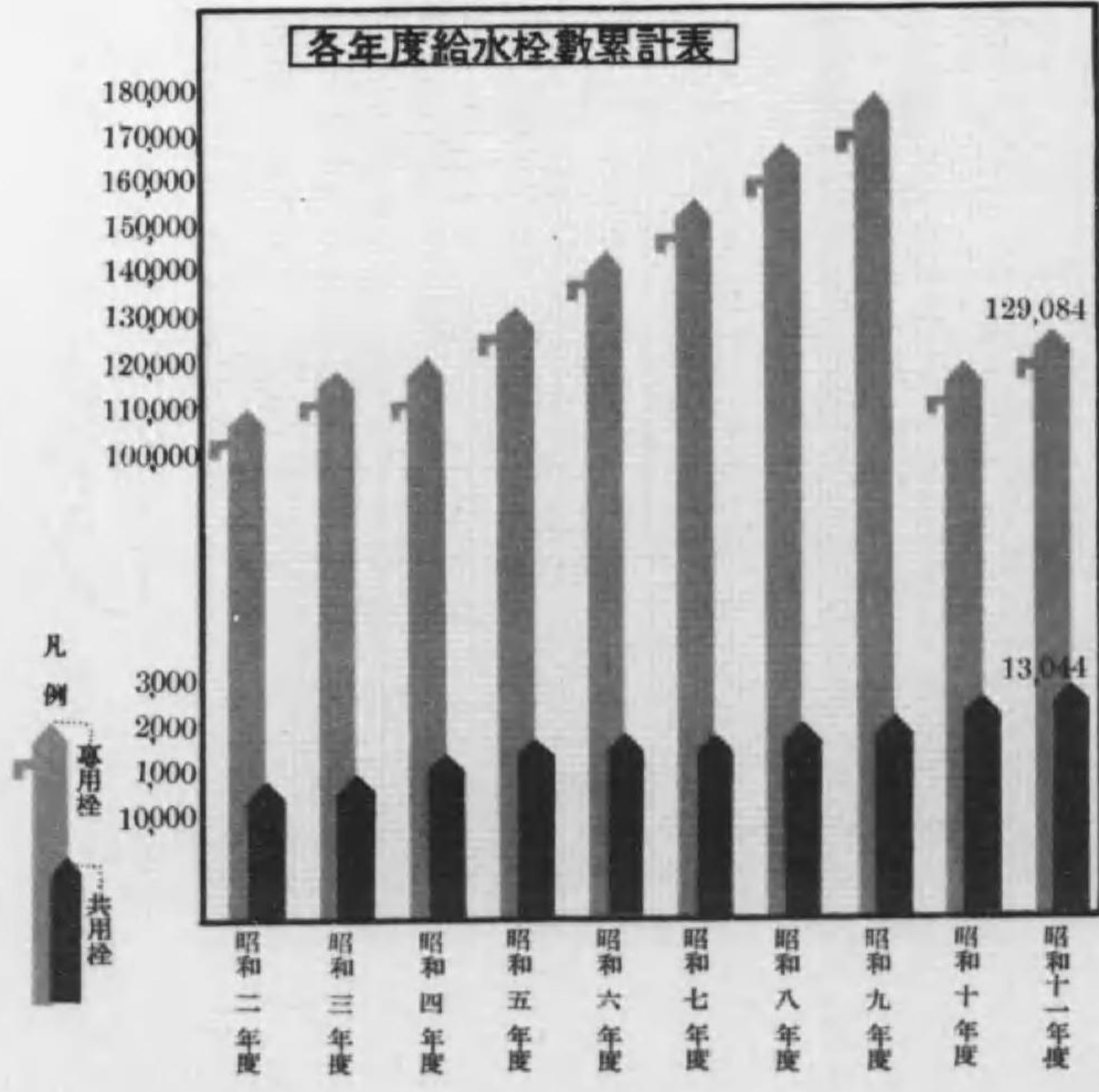
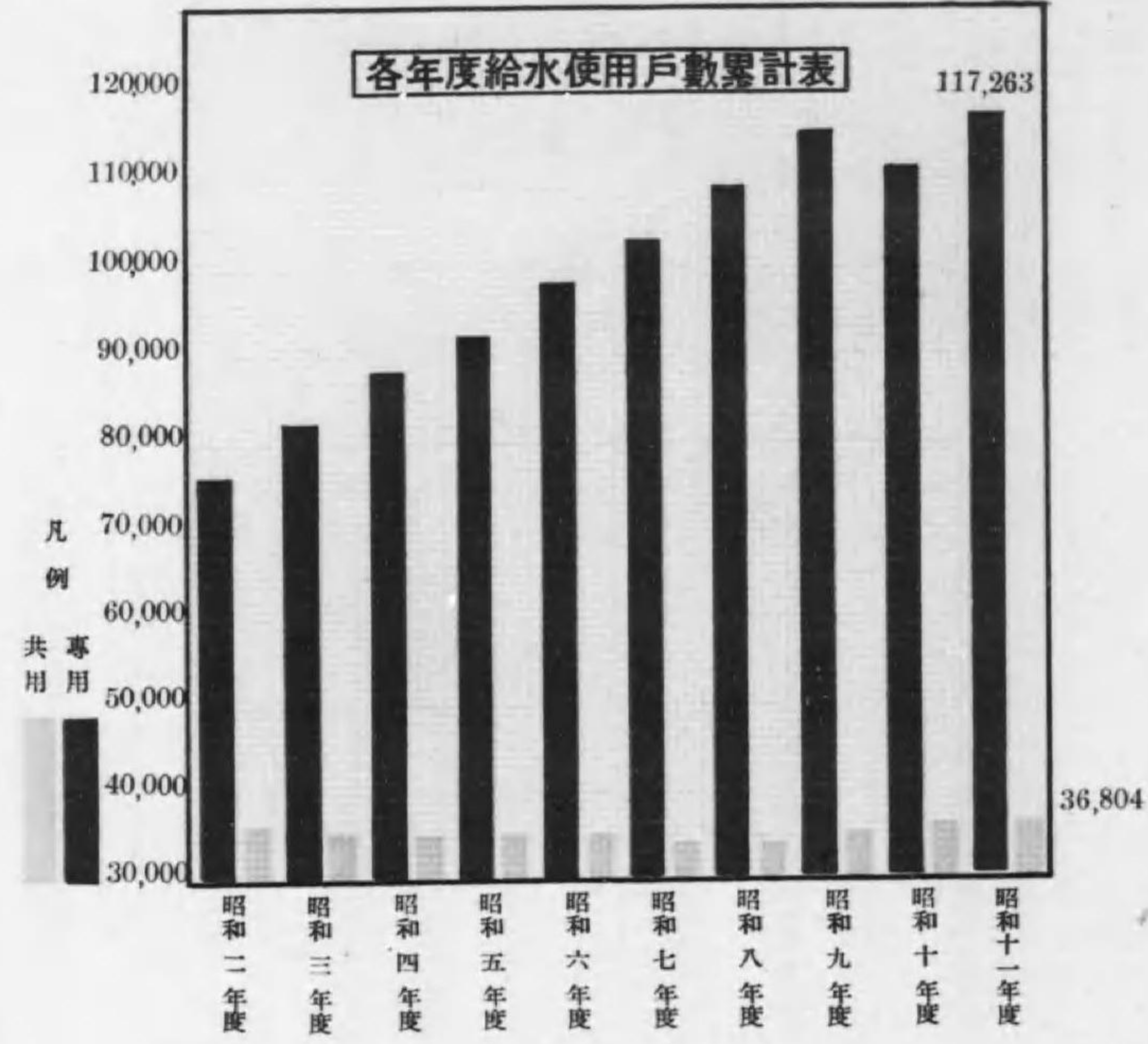
年度別	専用	共用
昭和2年度	76,588 <sup>戸</sup>	36,078 <sup>戸</sup>
昭和3年度	82,760	35,835
昭和4年度	88,054	35,741
昭和5年度	92,944	35,729
昭和6年度	98,937	35,482
昭和7年度	108,905	34,919
昭和8年度	109,507	34,955
昭和9年度	115,664	35,325
昭和10年度	111,078	36,036
昭和11年度	117,263	36,804

昭和9年度迄ハ(開、閉栓)合計戸数ヲ掲ゲタルモ10年度ヨリハ使用戸数(開栓)ノミニ改正セリ

各年度給水栓数累計表

年度別	専用栓	共用栓
昭和2年度	113,158 <sup>栓</sup>	11,023 <sup>栓</sup>
昭和3年度	121,042	11,270
昭和4年度	124,088	11,730
昭和5年度	135,958	11,913
昭和6年度	147,750	12,027
昭和7年度	158,938	12,009
昭和8年度	170,144	12,217
昭和9年度	181,750	12,467
昭和10年度	122,208	12,775
昭和11年度	129,084	13,044

昭和9年度迄ハカラン数ノ合計ヲ掲ゲタルモ10年度ヨリハ箇所数ノミニ改正セリ



各年度給水使用戸數累計表

共用	専用	合計
117,263	80,459	197,722
111,804	75,000	186,804
111,804	75,000	186,804
106,804	70,000	176,804
101,804	65,000	166,804
96,804	60,000	156,804
91,804	55,000	146,804
86,804	50,000	136,804
81,804	45,000	126,804
74,804	38,000	112,804

昭和十一年度末現在給水使用戸數は、専用給水使用戸數が80,459戸、共用給水使用戸數が117,263戸、合計197,722戸である。

各年度給水栓數累計表

共用	専用	合計
129,084	116,040	245,124
123,044	110,000	233,044
123,044	110,000	233,044
118,044	105,000	223,044
113,044	100,000	213,044
108,044	95,000	203,044
103,044	90,000	193,044
98,044	85,000	183,044
93,044	80,000	173,044
88,044	75,000	163,044
83,044	70,000	153,044
78,044	65,000	143,044
73,044	60,000	133,044
68,044	55,000	123,044
63,044	50,000	113,044
58,044	45,000	103,044
53,044	40,000	93,044
48,044	35,000	83,044
43,044	30,000	73,044
38,044	25,000	63,044
33,044	20,000	53,044
28,044	15,000	43,044
23,044	10,000	33,044
18,044	5,000	23,044
13,044	0,000	13,044

昭和十一年度末現在給水栓數は、専用給水栓が116,040個、共用給水栓が129,084個、合計245,124個である。

各年度總人口給水人口累計並總人口ニ對スル給水人口割合

年度別	總人口	給水人口	總人口ニ對スル給水人口割合
昭和2年度	717,100 <sup>A</sup>	579,103 <sup>A</sup>	80.7%
昭和3年度	736,000	613,136	83.3
昭和4年度	755,200	630,116	83.4
昭和5年度	765,142	645,938	84.4
昭和6年度	976,900	662,685	67.8
昭和7年度	1,000,170	670,714	67.0
昭和8年度	1,026,900	700,096	68.1
昭和9年度	1,052,500	713,337	67.7
昭和10年度	1,080,592	707,228	65.4
昭和11年度	1,107,400	745,560	67.3

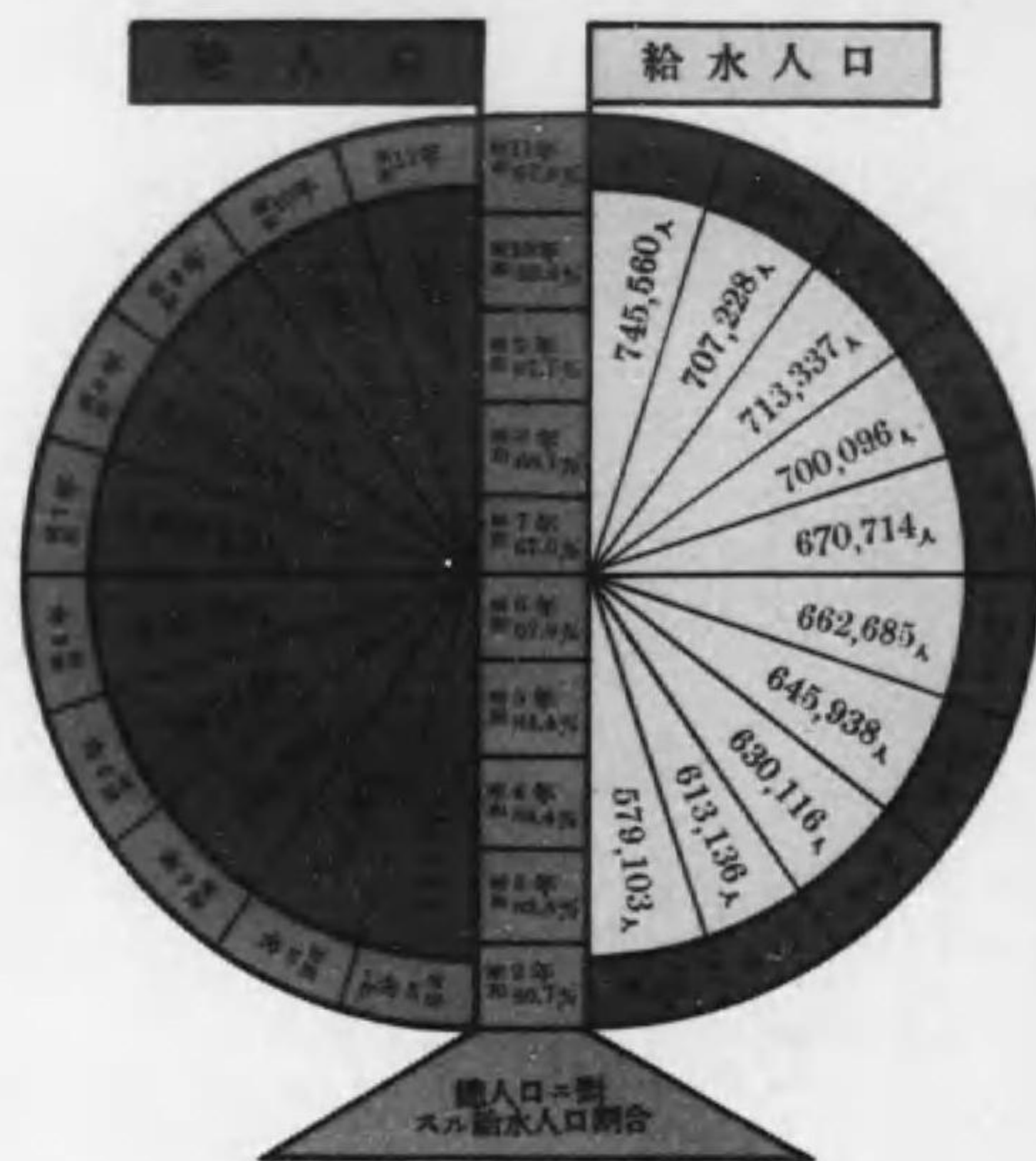
昭和9年度迄ハ給水使用戸數(開、閉栓)合計ヲ以テ算出シタルモ10年度ヨリ使用戸數(開栓)ノミニ改正セリ給水人口亦同シ

各年度給水使用料金比較表

年度別	専用栓	共用栓	防火栓
昭和2年度	1,051,979 <sup>円</sup>	148,024 <sup>円</sup>	4,425 <sup>円</sup>
昭和3年度	1,154,145	149,862	5,003
昭和4年度	1,198,041	148,043	5,289
昭和5年度	1,253,573	150,764	5,932
昭和6年度	1,222,336	145,744	6,000
昭和7年度	1,251,682	144,605	5,959
昭和8年度	1,310,395	146,213	6,454
昭和9年度	1,531,828	163,551	6,381
昭和10年度	1,484,847	147,934	6,427
昭和11年度	1,571,736	147,745	6,810



各年度総人口給水人口累計総人口ニ對スル給水人口割合

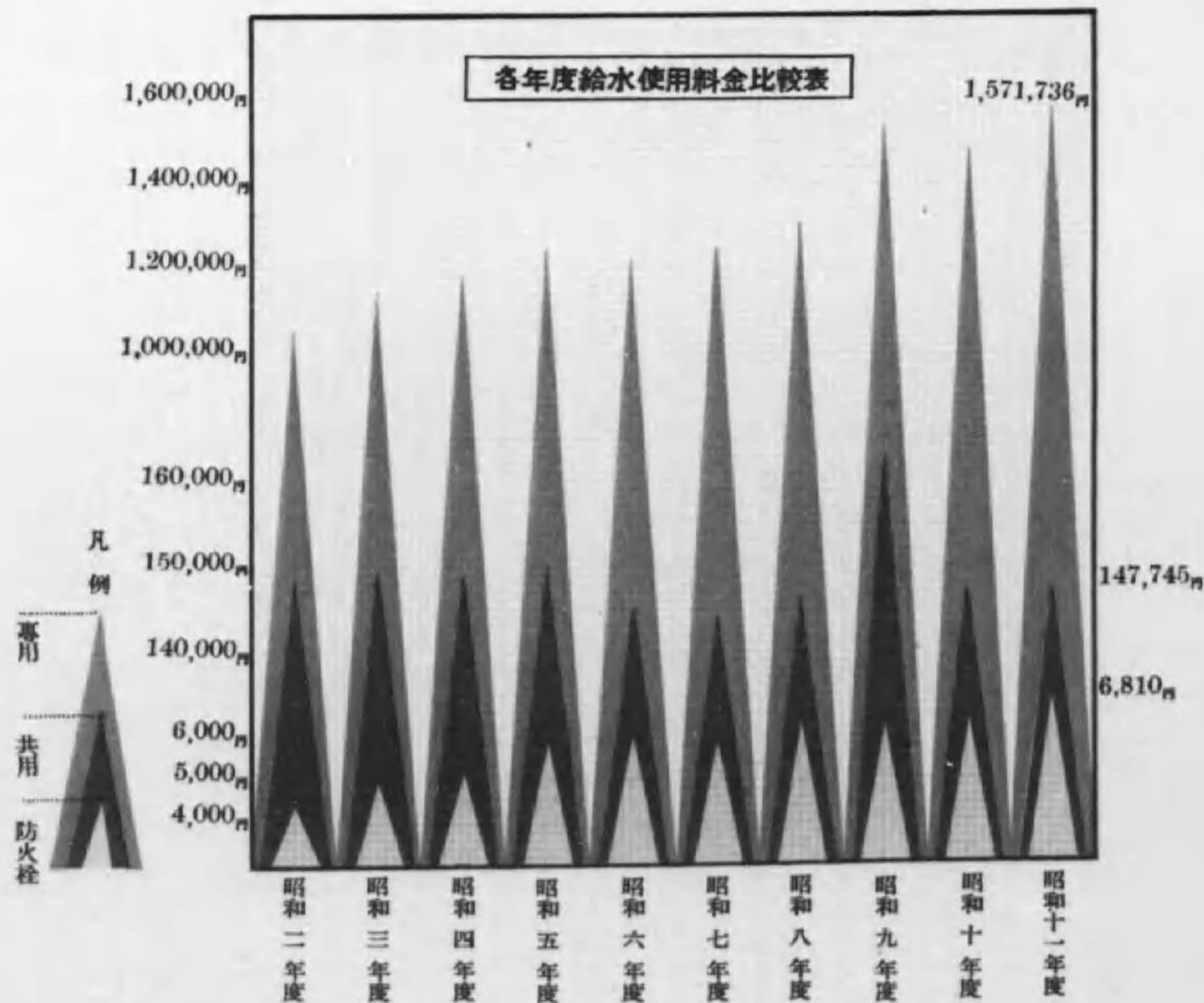


合請口人水給ハス種ニ口人總並積累口人水給口人總對テ各

年度	合請口人水給	口人水給	口人總	限費年
昭和二年	7,08	201,275	117,100	昭和二年
昭和三年	8,88	281,818	000,387	昭和三年
昭和四年	4,88	311,033	002,257	昭和四年
昭和五年	4,48	282,243	162,142	昭和五年
昭和六年	8,78	282,233	002,257	昭和六年
昭和七年	0,78	417,073	071,000,1	昭和七年
昭和八年	1,88	360,007	002,257	昭和八年
昭和九年	7,78	722,417	002,257,1	昭和九年
昭和十年	4,28	222,707	222,000,1	昭和十年
昭和十一年	8,78	142,243	104,700	昭和十一年

算マ以テ指合(録調)並積累口人水給ハ各費年ニ對テ出  
テテ五五ニシ(録調)並積累口人水給ハ各費年ニ對テ出  
ニ同テ口人水給

各年度給水使用料金比較表

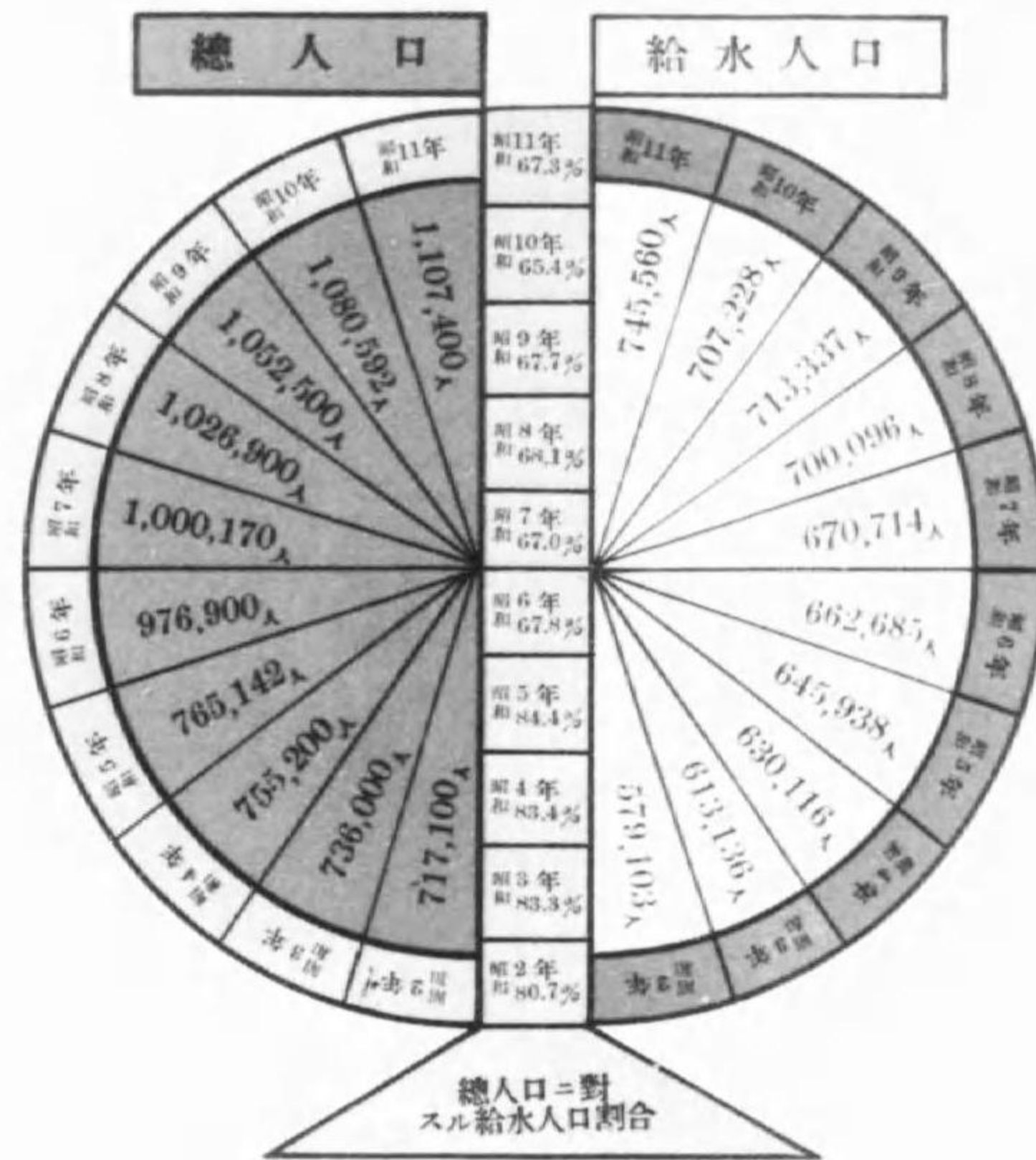


各費年以テ金種別給水給費表

年度	給水共	給水専	限費年
昭和二年	1,21,034	1,02,123	昭和二年
昭和三年	1,12,142	1,12,142	昭和三年
昭和四年	1,12,042	1,12,042	昭和四年
昭和五年	1,22,074	1,22,074	昭和五年
昭和六年	1,22,744	1,22,744	昭和六年
昭和七年	1,14,002	1,22,122	昭和七年
昭和八年	1,12,042	1,22,122	昭和八年
昭和九年	1,22,122	1,22,122	昭和九年
昭和十年	1,12,042	1,22,122	昭和十年
昭和十一年	1,12,042	1,22,122	昭和十一年

# 露光量違いの為重複撮影

各年度總人口給水人口累計總人口ニ對スル給水人口割合

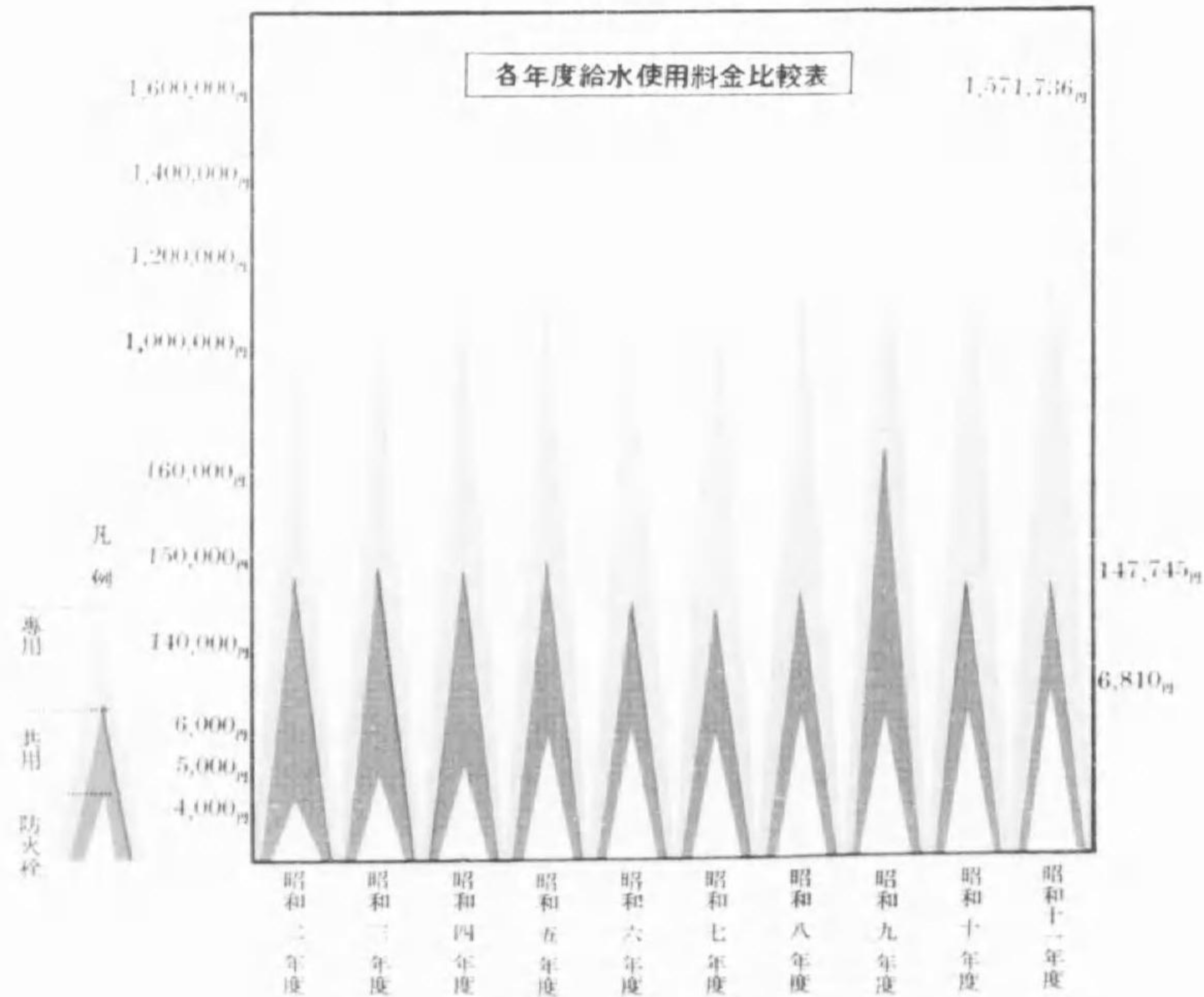


合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ

年度	合體人口水餘	人口總數	指票人口水餘	人口價額
昭和11年	391,070	991,317	391,070	昭和11年度
昭和10年	391,810	990,387	391,810	昭和10年度
昭和9年	391,950	990,567	391,950	昭和9年度
昭和8年	391,740	991,597	391,740	昭和8年度
昭和7年	390,250	990,670	390,250	昭和7年度
昭和6年	391,000	971,900	391,000	昭和6年度
昭和5年	390,000	990,590	390,000	昭和5年度
昭和4年	390,000	990,550	390,000	昭和4年度
昭和3年	390,000	990,550	390,000	昭和3年度
昭和2年	390,000	990,550	390,000	昭和2年度

昭和11年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和10年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和9年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和8年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和7年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和6年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和5年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和4年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和3年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ  
昭和2年合體人口水餘ハズニ人口總數指票人口水餘人口價額並キ

各年度給水使用料金比較表



各年度給水使用料金比較表

年度	費用 (円)	費用 (円)	費用 (円)
昭和11年	1,571,736	1,571,736	昭和11年度
昭和10年	1,571,736	1,571,736	昭和10年度
昭和9年	1,571,736	1,571,736	昭和9年度
昭和8年	1,571,736	1,571,736	昭和8年度
昭和7年	1,571,736	1,571,736	昭和7年度
昭和6年	1,571,736	1,571,736	昭和6年度
昭和5年	1,571,736	1,571,736	昭和5年度
昭和4年	1,571,736	1,571,736	昭和4年度
昭和3年	1,571,736	1,571,736	昭和3年度
昭和2年	1,571,736	1,571,736	昭和2年度

14.5  
679

目次

口繪寫真

第二疏水(洞門)

蹴上淨水場

蹴上淨水場濾過槽

松ヶ崎淨水場濾過池

松ヶ崎淨水場唧筒室

山科淨水場配水池

山科淨水場濾過池

口繪圖表

各年度配水管延長比較表

各年度配水量比較表

各年度一日配水量比較表

各年度給水工事件數比較表

各年度給水使用戶數累計表

各年度給水栓數累計表

各年度總人口給水人口累計並總人口ニ對スル給水人口割合

各年度給水使用料金比較表

第一章 總說

說

(一) 沿革

革

(二) 概要

要

(イ) 淨水場

(口)	配水量	四
(ハ)	配水管布設	五
(ニ)	給水使用戸數、栓數及給水人口	五
(ホ)	集金制實施	六
(ヘ)	使用料收入	六
(ト)	事業費豫算	六

第二章 水源及淨水設備

(一)	原水取入口	七
(二)	除砂井	七
(三)	沈澱池附屬井	八
(四)	沈澱池	八
(五)	濾過槽(急速濾過式)	九
(六)	硫酸礬土溶液裝置	九
(七)	濾過池(緩速濾過式)	一〇
(八)	鹽素滅菌裝置	一一

(九)	送水唧筒	一二
(六)	配水池	一三
(二)	各所水面ノ高サ	一三
(三)	計量裝置	一三
(三)	導水路及送水路	一四

第三章 淨水狀況

(一)	各淨水場月別濾過水量	一五
(二)	最多最少平均濾過日量	一六
(三)	濾過水量累年比較	一七
(四)	水質試驗	一八

(イ)	蹴上淨水場	一八
(ロ)	松ヶ崎淨水場	一三
(ハ)	山科淨水場	一六
(ニ)	市内給水栓	一九

第四章 配水工事

(一)	配水管延長	三〇
(二)	配水管工事	三二
(イ)	配水管敷設工事	三三
(ロ)	急設配水管工事	三四
(ハ)	配水管撤去工事	三五
(ニ)	配水管延長及工費合計	三五
(三)	配水幹線	三六
第五章 配水狀況		
(一)	各淨水場月別配水量	三七
(二)	最多最少平均配水日量	三六
(三)	配水量累年比較	三六
(四)	一日平均配水量累年比較	四〇
第六章 給水工事		
(一)	給水工事施行件數	四二
(イ)	總計	四二

(ロ)	直營工事	四三
(ハ)	請負工事	四三
(二) 工種別工費及一箇所平均工費		
	各年度別給水工事施行件數並工費	四四
(三)	各種別工事、件數累年比較	四五
(イ)	上半年期、下半年期別新設工事比率累年比較表	四五
(ロ)	上半年期、下半年期別新設工事比率累年比較表	四五
(四) 工事件數及工費		
(イ)	新設	四七
(ロ)	増設	四七
(ハ)	變更	四七
(ニ)	變更(無料)	四七
(ホ)	撤去	四八
(ヘ)	撤去(無料)	四八
(ト)	道路面給水管補助	四八
(チ)	新設置水器取付継手(無料)	四九
(五)	配水代用管工事	四九

(イ) 布設	四九
(ロ) 撤去	五〇
(六) 給水装置修繕工事	五〇
(イ) 各區別修繕工事施行件數	五〇
(ロ) 月別修繕工事施行件數及工費	五二
(七) 給水工事及修繕工事總工費	五三
第七章 量水器	五四
(一) 量水器取付及撤去個數	五四
(イ) 月別量水器取付個數	五四
(ロ) 月別量水器撤去個數	五五
(ハ) 量水器取付累計表	五五
(二) 量水器購入數	五六
(三) 月別量水器受檢數	五七
(四) 月別量水器作業個數	五八
(五) 量水器異狀取換月別表	五九

第八章 給水狀況

(六) 量水器取外異狀別計表	五九
(七) 量水器及給水工事用材料檢査數	六〇

第九章 使用料

(一) 給水使用戶數	六一
(二) 給水栓數	六二
(三) 給水使用戶數栓數累計及增加數	六三
(四) 開閉栓及其率	六四
(五) 各區別推定使用水量	六六
(六) 各區別給水普及率	六七
(七) 給水普及狀況累年比較表	六八
第九章 使用料	七〇
(一) 各區別推定使用料收入	七〇
(二) 使用料及手數料調定額及收入額對照	七一
(三) 月別使用料調定額收入額及收入率	七一

(四)	月別工費調定額収入額及收入率	七三
(五)	使用料収入額累年比較表	七三
(六)	使用料調定額及收入率累年比較表	七五
(七)	一箇所當り平均使用料累年比較表	七五
(八)	各年度使用料収入豫算決算對照表	七七
<b>第十章 收支決算</b>		
(一)	昭和十一年度水道事業經濟豫算	七九
(二)	昭和十年度水道事業經濟豫算及決算	七九
(三)	水道事業經濟歲入歲出決算累年比較表	八〇
(四)	水道事業建設費	八三
(五)	上水道關係公債一覽表	八四
(六)	水道事業經濟運用金明細表	八五
<b>第十一章 財産目錄</b>		
(一)	土地	八六

(二)	建物	八七
(三)	營造物	八二
(四)	基本財産及積立金	九五
(五)	器具及機械類	九五
(六)	圖書	九五
<b>第十二章 職制並職員</b>		
(一)	職制	九六
(二)	職員	九六
<b>第十三章 第二期擴張事業</b>		
(一)	概説	一〇〇
(二)	事業費内譯	一〇一
(三)	計畫概要	一〇二
(イ)	松ヶ崎浄水場擴張	一〇三
(ロ)	山科浄水場新設	一〇三

(ハ) 配水管増設.....104

(四) 施行状況.....104

(イ) 松ヶ崎浄水場擴張工事.....104

(ロ) 山科浄水場新設工事.....105

(ハ) 配水管敷設工事.....105

(五) 事業繰越.....105

第十四章 雑報.....107

(一) 六大都市配水量及使用水量比較表.....107

(二) 六大都市給水使用戸数総数及給水人口比較表.....108

(三) 六大都市給水普及率比較表.....109

(四) 六大都市使用料調定額収入額及収入率比較表.....110

(五) 六大都市給水一栓當り及一人當り使用料比較表.....111

(六) 六大都市使用料率比較表.....111

(イ) 各種別基本料金及超過料金比較.....111

(ロ) 専用家事用料金比較.....113

(七) 六大都市水道料金徴收制度一覽表.....114

(八) 六大都市水道事業經濟豫算額比較表.....115

附 録

水道條例.....116

京都市水道使用條例.....118

京都市水道使用條例施行細則.....124

京都市水道給水装置工事請負者公認ニ關スル規程.....127



# 昭和十一年度水道事業年報

## 第一章 總 說

### 革

本市水道事業ハ明治十八年京都府ニ於テ市内井水ノ水質検査ニ着手シタルニ胚胎ス、明治二十八年市會ニ於テ第一疏本ノ流量増加ト飲料水改良ノ議起リ、翌二十九年市參事會ハ先ヅ第一着手トシテ、全市内ノ井水試験ヲ行ヒタル結果、其ノ成績不良ノ爲、俄カニ上水道布設ノ議擡頭セリ。

其ノ後金盡漸ク進捗シ、明治三十九年十一月三大事業ノ一トシテ、四ケ年ノ繼續事業トシ工費三百萬圓及ビ、國庫補助金七十五萬圓ヲ以テ、蹴上淨水場及配水管工事ニ着手、同四十五年三月竣功シ、同年四月一日ヨリ給水ヲ開始セリ。

而シテ之ガ創設工事略テ完成セントスル明治四十四年、道路ノ擴築並ニ電氣軌道敷設工事ノ進捗ニヨリ、四十四、五兩年度ニ互リ、工費七十五萬圓ヲ以テ第一回配水管ノ擴張ヲ圖リ、大正二年五月約百七十二杆ノ延長工事ヲ完了セリ。

大正七年柳原町外十五ヶ村ヲ本市ニ編入スルヤ、人口九萬八千餘人ヲ激増シ、而モ此ノ地域ハ飲料水不良ニシテ、上水道ノ普及一日モ忽諸ニ附スベカラザル状態ニ在リシ爲、翌八年工費百八十萬圓ノ三ヶ年繼續事業トシテ、第二回配水管

擴張工事ニ着手、大正十二年延長約百十二軒ノ工ヲ竣レリ、大正三年以降ニ入ルヤ、歐洲大戰ノ影響ヲ蒙リ、本市ノ商工業モ異常ノ發展ヲ遂ゲ、人口ノ増殖ト給水需要ノ増加ハ既往ノ淨水能力ヲ遙カニ超過スルニ至リシ爲、茲ニ第一期擴張計畫ヲ樹立シ、大正十三年ヨリ四ヶ年繼續事業トシテ、工費二百五十萬圓ヲ以テ、松ヶ崎淨水場ノ新設工事ニ着手シ、昭和二年六月竣功セリ、斯クシテ、創業當時ニ於ケル給水人口五十萬人ノ計畫ハ、一躍シテ、六十五萬人トナリ、一人當リ給水量ハ九十七リットルヨリ百一十一リットルニ増加セリ。

市勢ノ駁々タル發展ハ昭和六年伏見市外二十六ヶ町村ノ編入トナリ、市域廣袤實ニ二百八十八方軒、人口百萬ニ垂ントスル大京都市ノ實現ヲ見ルニ及ビ給水需要量ハ遙カニ設計容量ヲ突破スルニ至レリ、茲ニ於テ昭和七年ヨリ五ヶ年ニ互ル工費三百七十萬圓餘ノ第二期擴張ヲ計畫シ、松ヶ崎淨水場ノ擴張、山科淨水場ノ新設並ニ配水管ノ延長工事ニ着手、昭和十一年八月山科淨水場ノ竣功ヲ見タル外、目下着々進涉中、本工事竣功ノ曉ハ給水人口九十二萬人、一人當リ給水量百二十五リットルニ達セントス。

本年創業滿二十五週年ヲ迎へ、更ニ第三期擴張ノ企畫ヲ擁シテ益々本事業發展ノ域ニ進ミツ、アリ。

## (二) 概 要

### (イ) 淨 水 場

蹴上淨水場ノ濾過方式ハ急速濾過法ジエエルロータイプグラビチ型ニシテ、滅菌方法ハ液化鹽素滅菌ニヨリ、レータ

ー式 OHS 型ヲ採用シ、本年中ニ於ケル濾過量三三、五五八、六九五立方米(二八五、九一五、一七〇石)ニシテ前年度中濾過量ニ比シ、二六七、三七〇立方米(一、四八一、二三〇石)ノ増加ナリ、松ヶ崎淨水場ノ濾過方式ハ緩速濾過法ニシテ、滅菌方法ハ液化鹽素滅菌ニヨリ、濕式シのく型ヲ採用シ、本年度中ニ於ケル濾過量一六、三二四、〇二五立方米(九〇、四三五、〇九八石)ニシテ、前年度ニ比シ、三、五一〇、三九一立方米(一九、四四七、五六六石)ノ増加ナリ、山科淨水場ノ濾過方式ハ緩速濾過法ニシテ、滅菌方法ハ液化鹽素滅菌ニヨリ、手働濕式ヲ採用シ、本年度中ニ於ケル濾過量二九四、一九六立方米(一、六二九、八四五石)ナリ。

而シテ蹴上淨水場配水池ノ低區配水池ハ海面上七五米四五、高區配水池ハ海面上一一〇米六一ノ個所ニ設置シ、又松ヶ崎淨水場配水池ハ西山ノ山嶺海面上二三三米ノ個所ニ設置シ、山科配水池ハ山科字髭茶屋高地基線上一一一米ノ個所ニ設置シ、何レモ自然流下法ニヨリ市内ニ配水ス。

基本計畫

區分	創設	第一期擴張	第二期擴張
給水人口	五〇〇,〇〇〇人	六五〇,〇〇〇人	九二〇,〇〇〇人
一人一日平均配水量	九七・三立	一一・二立	一二・五立
同 最 大 量	一三六・二立	一六六・八立	一八八・〇立
一日最大給水量	六八・一〇〇 <sup>立方</sup> 米	一〇八、四二〇 <sup>立方</sup> 米	一七二、九六〇 <sup>立方</sup> 米
備 考	藏上浄水場	藏上浄水場 四〇〇,〇〇〇人 松ヶ崎浄水場 二五〇,〇〇〇人	藏上浄水場 四〇〇,〇〇〇人 松ヶ崎浄水場〔從來〕 〔擴張〕 二五〇,〇〇〇人 山科浄水場 新設 二〇〇,〇〇〇人

備考 第二期擴張工事ハ昭和七年度ヨリ工事ニ着手シ目下施行中ニシテ本年度末ニ於ケル松ヶ崎浄水場擴張工事工程五割ヲ示シ山科浄水場〔緩速濾過法〕ハ昭和十一年八月十七日落成セリ。

(ロ) 配水量

本年度中ニ於ケル配水量ハ藏上浄水場ニ於テハ三〇、六〇二、三三七七立方メートル(一六九、五三六、三九三石)ニシテ、松ヶ崎浄水場ニ於テハ一六、二四一、九五八立方メートル(八九、九八〇、四四七石)、山科浄水場ニ於テハ二九一、八七一立方メートル(一、六一六、九六五石)ニシテ、合計四七、一三六、〇六六立方メートル(二六一、一三三、八〇五石)ナリ。

之ヲ前年度四二、九一七、三〇〇立方メートル(二三七、七六一、八四二石)ニ比スレバ、四、二二八、七六六立方メートル(二三、三七一、九六三石)ノ増加ニシテ、増加率百分ノ九ナリ、而シテ一日平均配水量ハ一二九、一三九立方メートル(七一五、四三〇石)前年度一一七、二六〇立方メートル(六四九、六二〇石)ニシテ、一日配水量ノ最も多カリシハ昭和十一年七月二十八日一七〇、五一九立方メートル(九四四、六七五石)、前年度昭和十年七月二十三日一五一、五〇六立方メートル(八三九、三四三石)、其ノ最も少カリシハ昭和十二年一月一日八五、三〇六立方メートル(四七二、五九五石)、前年度昭和十一年一月一日七五、七八八立方メートル(四一九、八六五石)ナリ。

(ハ) 配水管敷設

本年度中ニ於ケル配水管延長ハ各種口径一、〇一一米九六(二里二八町五六間三尺)前年度九、七九五米二二(二里一七町四七間二尺)ニシテ、本年度末ニ於ケル總延長六八六、七五九米〇四(一七四里三二町一七間二尺)ニ達セリ。

(ニ) 給水使用戸數、栓數及給水人口

昭和十一年度末現在ニ於ケル給水使用戸數一五四、〇六七戸、栓數一四九、四七〇栓、給水人口七四五、五六〇人、總人口ノ六七・三%ニシテ、之ヲ前年度ニ比スレバ使用戸數六、九五三戸(増)、栓數七、二六九栓(増)、給水人口三八、三三二人ノ増加ヲ示セリ。

(ホ) 集金制實施

給水使用料ハ從來需用家ヲシテ市金庫又ハ郵便局ニ納付セシムル所謂納付制ヲ採用シ來リシガ、各都市ニ於テモ電氣、水道、瓦斯等ノ使用料ハ集金員ヲ派遣シテ徴收スル集金制ヲ採用セルニ反シ、本市給水使用料ヲ納付制ニ依リ徴收スルハ社會ノ要求ヲ充足セザルモノニシテ、他面市民ノ市營事業ノ使用料ニ對スル納付觀念ノ變移ト共ニ使用料滯納額ハ年々増嵩スルノ傾向アリ、故ニ需用家ニ對スル(サーヴキス)ト使用料收入ノ圓滑ヲ圖スル目的ヲ以テ、昭和十一年十月一日ヨリ集金制ヲ實施セリ。

(ハ) 使用料收入

昭和十一年度ニ於ケル使用料調定額一、七六四、二二〇圓、收入總額一、七二六、二九二圓、收入率九七・八%ニシテ、前年度ニ比シ調定額一〇五、五四一圓(増)、收入額八七、〇八三圓(増)ヲ示セリ。

(ト) 事業費豫算

昭和十一年度ニ於ケル水道事業經濟歲入出豫算高ハ歲入二、九五九、七八六圓、歲出經常部一、〇〇二、〇三五圓、歲出臨時部一、九五六、七五一圓ニシテ前年度ニ比シ歲入二〇五、五一九圓(減)、歲出經常部一八〇、二九八圓(増)、歲出臨時部三八五、七一七圓(減)ヲ示セリ。

第二章 水源及淨水設備

(一) 原水取入口

淨水場名	取水方法	取入口名稱	取入口構造	取入口前面ノ水深
職上	自然流下法	第一 琵琶湖疏水 第二 琵琶湖疏水	第二疏水日岡隧道北端内壁ニ内徑九一四耗ノ鑄鐵鑽孔管二條ヲ取付ケ、一秒時一・一三立方米ノ水ヲ第一疏水路下ヲ横斷シテ職上船溜南側ニアル除砂井ニ導ク。	平時 三・〇三 渴水時 三・〇三
松ヶ崎	自然流下法	琵琶湖疏水分線	豫備トシテ第一疏水側壁ニ内徑七六二耗ノ鑄鐵鑽孔管二條ヲ取付ケ除砂井ニ連絡ス。	平時 一・七三 渴水時 一・七三
山科	自然流下法	第一第二 琵琶湖疏水	東山ノ麓ヲ巡ル疏水分線ノ流水ヲ、白川道横斷箇所ノ東部ニ堰堤ヲ設ケ平水位ヲ海面上七五・七五米ニ高メ西岸ニ設ケタル取入樹ニ導キ、之ヨリ内徑一・五二米ノ「鐵筋コンクリ」ト管ニテ引水ス。尙本導水管ハ將來毎秒二立方米ノ水ヲ引用スルコトヲ得ルモノトス。	山科四ノ宮柳山町ニ於テ第一第二疏水ノ中間ニ設ケ常時第一疏水ヨリ取水井ニ引水ス、引水サレタ水ハ井内ニ布設スル九百耗導水管二條ニヨリ濾過池着水井ヲ經テ導水管ニ流水ス

備考  
一、第一琵琶湖疏水ハ大津市三保ヶ崎ニ起リ、京都市職上ニ達スル延長八・七一耗ノ運河ニシテ毎秒ノ水量三百立方尺トス。遠ク明治十八年一月ノ起工、同二十三年三月ノ竣工ニ屬シ、工費貳百拾六萬壹千百餘圓ヲ要セリ。夙ニ本邦土木事業界ニ於ケル著名ノ工事トシテ周知ヲ得、所ナリ。  
二、第二琵琶湖疏水ハ明治四十一年十月起工、同四十五年三月ノ竣工ニ係リ、工費約四百參拾萬圓ヲ要シタリ。水路ハ第一疏水ト並行シ、延長七・四二耗、毎秒ノ水量五百五十立方尺ナリ。  
三、第一及第二琵琶湖疏水ハ職上ニ於テ合流八百五十立方尺トナリ、七百五十立方尺ヲ發電用ニ、百立方尺ヲ上下水道其ノ他ノ用ニ供セリ。

井數	一	内徑	短徑 四・五五 長徑 五・四六	深サ	五・四六	構造	形状ハ長圓形ニシテ全部鐵筋「コンクリート」ヨリ成リ、縱横ニ隔壁ヲ設ケ一半ノ掃除其他ノ便ニ供シ、又金屬製ノ芥除ヲ設ケ	造	大	要
躑上淨水場										

井數	二	長サ	八・八	幅	四・四	深サ	三・九	構造	鐵筋「コンクリート」造ニシテ、横ニ隔壁ヲ設ケ、注入セル硫酸「禁止」ノ混和ヲ充分ニス	造	大	要
躑上淨水場												

池數	上	長サ	六・五八	幅	一・八五	底	長サ	六・五八	幅	一・八五	平均總深	三・三六	有效水深	三・〇三	有效容積	三、〇八・六	構造	全部鐵筋「コンクリート」ニテ築造シ、中間ニ五個ノ導流壁ヲ設ケ、水位ヲ不變ニ保ツタメ入口鐵管ニ調節弁ヲ設置ス	造	大	要
	内	池	容	躑上淨水場																	

槽數	二	内徑	外槽 七・〇 内槽 六・四	總平均深	二・元	濾床ノ種類及厚サ	下層厚サ〇・一五米 六・四五平方糎ニ付十六孔 眼ノ篩ヲ通過シ同四十九孔 眼ノ篩ニ殘リタル砂 中層厚サ〇・〇八米 六・四五平方糎ニ付四十九 孔眼ノ篩ヲ通過シ同百孔眼 ノ篩ニ殘リタル砂 上層厚サ〇・九九米 六・四五平方糎ニ付五百七十 六孔眼ノ篩ヲ通過シ同千六 百孔眼ノ篩ニ殘リタル砂	濾床面積	〇・五三	濾床積	三二・〇四	一夜過 濾速度	一二・九	構造	大	要
躑上淨水場																

備考 濾過場ハ煉瓦造平家建(面積二、二二八平方米)

(六) 硫酸礬土溶液装置

蹴上浄水場

槽数	槽ノ内容		
	内径	深サ	容量
三	二・七九	三・二〇	一六・四
濾過場内ノ一部ニ之ヲ設ケ、溶液槽ハ鐵筋「コンクリート」製ニシテ、五馬力電動機附壓伸機ニ臺、馬力電動機附吸上唧筒ニ臺、グラブチーホック等ヲ備ヘ各交互ニ使用ス別ニ濾過場西方ニ溶液室ヲ設ケ各一九立方米ノ容量ヲ有スル二個ノ槽ヲ設置シ、自然流下ニヨリ送液スルノ設備ヲ有ス			

(七) 濾過池 (緩速濾過式)

浄水場名	池数	池ノ内容	
		上部	下部
松ヶ崎	五	四九・〇九	四九・〇九
		三六・三六	三六・三六
		二・四二	一・三二
		六・〇六	
底部ハ普通「コンクリート」周壁ハ鐵筋「コンクリート」トス、濾過池五個ノ内一個ハ豫備トシ、各池ニハ「オリベントチユーア」式ノ自動的濾過調節機ヲ備フ濾床ハ底部ノ厚サ〇・四五米ノ砂利ヲ敷キ、下部ヨリ上部ニ至ルニ從ヒ漸次其ノ粒ヲ小ナラシメ、其上層ニ厚サ〇・七六米ノ細砂ヲ敷ク、濾過シタル水ハ五〇八耗、六八六耗、七六二耗及九一四耗管ヲ通ジテ送水唧筒室内鹽素殺菌井ニ導ク			

(八) 鹽素滅菌装置

浄水場名	名	基數	一基ノ注入量	備
山科	三	二	四・〇〇	濾過場北側中央部ニ設置シ濾過場ヨリ來ル水ハ集合井ニ於テ液體鹽素ヲ注入ヲ受ケ良ク混和シ、一部唧筒井ニ入り他ハ低區配水池ニ入ル、二基ノ内一基ヲ豫備トス
松ヶ崎	米國ワールスエ	二	一八・二四	送水唧筒場内ノ一部ニ之ヲ設置シ、濾過池ヨリ來ル水ハ地下井ニ於テ液體鹽素ヲ注入ヲ受ケ、其ノ混和ヲ充分ナラシムル爲メニ設ケタル隔壁ノ間ヲ環流シテ唧筒井ニ入ル
蹴上	エルレイホルト	二	五〇・〇〇	送水唧筒場内ノ北寄ニ設置シ濾過池ヨリ來ル水ハ地下井ニ於テ自動的ニ鹽素ヲ注入シ、井中ニ設ケタル導流壁ニヨリ攪拌混和セラレ唧筒井ニ流入ス

山科	三	二	七・〇〇
池ハ全部鐵筋混泥土造ニシテ十六分ノ一ノ勾配ヲ有スル壁ヲ以テ圍繞シ中間ニ二個ノ隔壁ヲ設ケ三池ニ區分シ、之ニ接シテ幅二米、深二・三米ノ導水溝ヲ設ケ、而シテ池底混泥土ノ下ニハ厚二十五厘通ニ基礎玉石ヲ入レ充分搗固メ池内ハ總テ防水「モルタル」ヲ塗ニス濾過層ハ最下層多孔性「コンクリート」版(ボラスラア)厚八厘ノ上ニ小砂利層厚八厘、濾過砂層七〇厘ヲオク、池ノ南側ニ濾過調節機ヲ設ケ、ソノ中間ニ隔壁ヲ設ケ之ニ「ノツチ」ヲ取付ケ濾過速度ヲ調節ス濾過サレタル水ハ濾過井ニ集リ井ノ南側ニ數設スル三〇〇耗連絡管ニヨリ唧筒井ニ流入ス			

(九) 送水唧筒

浄水場名	臺數	能		馬力	備考
		揚程	ノ揚水量		
山科	二	四三〇〇	三〇〇〇	五〇	ボンプハ離心型ニシテ、三相交流誘導電動機ヲ直結ス。二臺ノ内一臺ヲ豫備トシ、五米ノ配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ木造平家建ニシテ其ノ面積ハ五八・五平方メートルナリ。
松ヶ崎	三	六〇〇〇	一五〇〇	三五〇	ボンプハ米國GE會社製三相交流誘導電動機ニシテ、三臺ノ内一臺ヲ豫備トシ、六米ノ高地ニアル配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ鐵筋「コンクリート」造ニ階及平家建ニシテ其ノ面積二九一・六七平方メートルナリ。
藏上	四	四二〇〇	二二六九	一六〇	ボンプハ電機直結「タービン」式ニシテ四臺ノ内一臺ヲ豫備トシ、三五米ノ高地ニアル高地配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ煉瓦造平家建ニシテ其ノ面積ハ一五九・五平方メートルナリ。

(二) 配水池

浄水場名	池數	池		水深	有效容積	構造ノ大要		
		長さ	幅					
山科	二	一三・一五	一〇・一五	一三・一五	一〇・一五	四・〇五	五三〇〇〇	全部鐵筋「コンクリート」ヨリ成リ中ニ九個ノ導流壁ヲ設ケケ上ニ鐵筋「コンクリート」ノ覆蓋ヲ造リ、厚サ〇・六一米ノ土ヲ覆フ。
松ヶ崎	二	四〇〇〇	三二・八二	四〇〇〇	三二・八二	三・七五	二七〇六	周壁及天井ハ鐵筋「コンクリート」底部ハ普通「コンクリート」ニシテ「アスハルト」層トシ中ニ二十一個ノ導流壁ヲ設ケ覆蓋ノ上ニ厚サ〇・四五米ノ土砂ヲ置ク。
藏上	四	三六・五八	二五・六〇	三六・五八	二五・六〇	四・五五	三九七・四五	全部鐵筋「コンクリート」ヨリ成リ中ニ導流壁二條ヲ交互ニ設ケ覆蓋ハ中央隔壁ヨリ百分ノ一ノ均配ヲ附シ上部ニ「アスハルト」防水工ヲ施シ眞砂土ヲ以テ之ヲ覆ヒ張芝ヲナス。

藏上浄水場（高區配水池）  
松ヶ崎浄水場（低區配水池）

(二) 各所水面ノ高さ

浄水場名	原水取入口満水面	沈澱池満水面	濾過槽（池）満水面	配水池満水面	配水池區域
藏上	第二疏水取入口 八二・六四	八〇・六二	七九・七九	高區 二二〇・六二 低區 七五・四五	最高 { 二二〇米 } 最低 { 二〇・六二米 }
松ヶ崎	北白川取入口 七五・七五	—	七三・〇三	一三三・三三	—
山科	第二疏水取入口 八三・〇〇	—	八三・七八	一一五・〇〇	—

(三) 計量装置

浄水場名	個數	名稱	種別	用途
藏上	五	英國「ジョーダ、ケント」會社製「ベンチユリーメーター」	六二〇耗 六六〇耗 四七〇耗	高區用 低區用 高區用
松ヶ崎	一	同右 (「オリベントチエア型」)	七六二耗	北部高地區用
山科	一	獨逸「ボックロイテル」會社製「ベンチユリーメーター」	四〇〇耗	山科醍醐用

### (三) 導水路及送水路

山科	松ヶ崎	導水路			送水路		
		種別	内径	延長	種別	内径	延長
鐵筋「コ トククリ」 管	「ニューヒ エー」 管	同	九四〇	五七・六八	同	一一三・九九	計 七九・五五 九六・六六
		同	七三六	三一・〇九	同	一〇九・九	
		同	四五七	一八六・五四	同	七三・九	
鐵管	鐵管	同	至自 第二疏水 取入口	同	共	同	計 七九・五五 九六・六六
		同	至自 第一疏水 取入口 除砂井(豫 備管)	同	共	同	
鐵管	鐵管	同	至自 沈澱池附 屬井 濾過集井	同	共	同	計 七九・五五 九六・六六
同	同	同	同	同	同		
計				六四・〇〇	六八・〇〇	一三六・〇〇	

### 第三章 淨水狀況

#### (一) 各淨水場月別濾過水量 (單位立方米)

月別	蹴上淨水場		松ヶ崎淨水場		山科淨水場		計
	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	
三月	二,六九九,三三三	二,四四一,四〇一	九七九,一一五	九六九,六七五	—	—	三,六七八,三五七
二月	三,〇四六,六七七	二,七三三,〇六八	一,〇九一,四七五	一,〇八八,八五〇	—	—	四,一三八,一五三
一月	三,〇九三,五六九	二,八〇一,二六四	一,三二〇,九〇〇	一,〇七五,五五〇	八,三三〇	—	四,四二二,八一九
十二月	三,五七五,八一四	三,二六九,六七七	一,七二四,八〇〇	一,三三〇,〇八四	二,一九〇五	—	四,八九四,五二九
十一月	三,二二三,三八一	三,〇七五,〇三三	一,九〇七,七〇〇	一,三五七,二二五	二七,九五三	—	五,〇五九,〇三四
十月	二,八七四,三四六	二,九九九,七五一	一,七九四,九二五	一,〇一七,三三三	二六,三〇〇	—	四,六九五,五七一
九月	二,五五五,七五九	二,九四三,六四五	一,七三三,二七五	一,〇八〇,四三〇	四三,〇六〇	—	四,三三三,〇九四
八月	二,四八三,六二九	二,六九一,五四二	一,三二四,九七五	九二九,〇七〇	三三,二二五	—	三,八九二,八三九
七月	二,七六五,五三三	二,六四四,五六二	一,二二四,〇七五	九三九,七五〇	三七,三七五	—	三,〇二六,七〇三
六月	二,五五七,六八〇	二,五四一,八四九	一,一四一,八七五	九五九,七〇〇	三四,三四九	—	三,七三三,九〇四
五月	二,三九六,一三〇	二,五〇八,六九五	一,〇二二,二〇〇	九六六,一八〇	三三,四二四	—	三,四四〇,七五四
四月	二,八〇五,一〇五	二,六五九,九八八	一,〇四〇,七五〇	九九六,九七五	二九,二六五	—	三,八七八,一七〇
三月	三,五五八,六九五	三,二九一,三三五	一,六三三,四二五	一二八,三三四	二九四,一九六	—	五〇,一七六,九二六
計							

備考 山科淨水場ハ六月十六日通水セリ



(二) 最多最少平均濾過日量

◎ハ最多 △ハ最少ヲ示ス (單位立方米)

昭和十一年度

月別	總量		最多日量	最少日量	平均日量
	昭和十一年度	昭和十年度			
四月	三、六七八、三五七	△ 三、四〇五、〇七六	一三三、七四三	一一四、〇七六	一三三、六二二
五月	四、二三八、一五二	三、八二二、九八八	一四五、四八二	一一九、三三二	一三三、四八八
六月	四、四二二、八一九	三、九九五、七二四	一六五、五八四	一二六、九〇六	一四七、〇九三
七月	四、八九四、五九九	◎ 四、五九六、七二二	一七六、八五二	一三三、七三三	一五七、八八七
八月	◎ 五、〇九九、〇三四	四、四二二、一五八	一七二、八二五	◎ 一四八、二六四	◎ 一六三、一九四
九月	四、六九五、五七一	四、四〇六、九七六	一七五、二〇〇	一三二、四四三	一五九、五二九
十月	四、三三七、〇九四	四、〇四一、九五五	一四五、九七〇	一三〇、四九〇	一五九、九〇六
十一月	三、八九一、八九九	三、六〇五、六二二	一三六、四七六	一一四、一七六	一三九、七二七
十二月	四、〇二六、七三三	三、六〇四、三三二	一五四、四一八	一一八、四一〇	一三九、五七一
一月	三、七三三、九〇四	三、五〇一、五〇九	△ 二九、九六一	△ 九五、五六三	△ 二二〇、四四八
二月	△ 三、四四〇、七五四	三、五〇四、八七五	二〇〇、四九四	一三三、三七五	二二二、八八四
三月	三、八七八、一七〇	三、六五六、九六三	二〇〇、三三六	△ 二二四、六九五	二二五、一〇三
計	五〇、一七六、九一六	四六、〇四一、九五九	二〇〇、三三六	一二七、六二二	二二七、四七一

(三) 濾過水量累年比較

(單位立方米)

年度別	藏上淨水場	松ヶ崎淨水場	山科淨水場	計	最多日量	最少日量	平均日量	
								昭和十一年度
昭和十年度	三三、一九一、三五五	一三、八二二、六三四		四六、〇四一、九五九	一六〇、〇九七	八二、七一一	二五、六六九	二五、六六九
昭和九年度	二八、八六八、六九七	一一、六九九、〇三六		四一、五六七、七三三	一四八、四〇〇	八三、三三六	二一、八八四	二一、八八四
昭和八年度	三〇、一六五、一〇六	一〇、二九三、七二七		四〇、四五八、九三三	一四三、七一九	八六、七三三	二〇、八四六	二〇、八四六
昭和七年度	二九、四七六、九五七	七、四〇〇、八四〇		三六、八七七、七九七	一三九、六七六	七〇、六九六	一〇、〇六四	一〇、〇六四
昭和六年度	二七、五三二、〇三三	六、四六一、一〇〇		三三、九三三、一三三	一三二、二六六	六二、六三四	九、二八七	九、二八七
昭和五年度	二六、三六〇、一四六	六、四九五、〇〇〇		三二、八〇五、一四六	一二〇、八〇六	五〇、六三九	九、〇二四	九、〇二四
昭和四年度	二六、四〇〇、八九八	五、〇七二、〇〇〇		三二、四六二、八九六	一二五、三九〇	四八、八三九	八、六二三	八、六二三
昭和三年度	二六、九五五、四五五	三、一一七、八七五		三〇、〇七三、三三〇	一〇七、七九〇	五〇、九二二	八、二、六七	八、二、六七
昭和二年度	二五、〇九四、一二七	二、一一三、三三三		二七、二〇七、四六〇	一〇二、四五二	五〇、六六五	七、四、八八	七、四、八八
昭和元年度	二五、五〇九、六四六			二五、五〇九、六四六	九七、二六六	五二、五九三	六、九、八八	六、九、八八
大正十四年度	二二、五五八、一三四			二二、五五八、一三四	八三、九三三	四〇、四〇六	六、二、八〇	六、二、八〇
大正十三年度	二二、三六五、六二六			二二、三六五、六二六	八一、八九五	三七、八七七	五、八、五三	五、八、五三
大正十二年度	一九、六八〇、三五五			一九、六八〇、三五五	七四、七七七	三三、六六八	五、三、七二	五、三、七二
大正十一年度	二〇、三三四、五五五			二〇、三三四、五五五	八二、〇九九	三三、七八二	五、五、四三	五、五、四三
大正十年度	一八、六三〇、六二五			一八、六三〇、六二五	七六、五〇四	三三、四四〇	五、〇、四三	五、〇、四三

(四) 水質試験

(イ) 蹴上浄水場

試験項目	度					採 回 数	試 回 数	試 日 数	月 別
	低 配 池	高 配 池	濾 過 槽	沈 澱 池	源 水				
透明度	透明	透明	透明	二、三	二、三				四月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				五月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				六月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				七月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				八月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				九月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				十月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				十一月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				十二月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				一月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				二月
	透明	透明	透明	二、三	三、三				三月

昭和十一年度

酸 硫					ル ー ロ ク					應 反					味 臭				
低 配 池	高 配 池	濾 過 槽	沈 澱 池	源 水	低 配 池	高 配 池	濾 過 槽	沈 澱 池	源 水	低 配 池	高 配 池	濾 過 槽	沈 澱 池	源 水	低 配 池	高 配 池	濾 過 槽	沈 澱 池	源 水
痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	五、七六九	五、八五七	五、五七一	五、五三七	五、五〇二	微弱 性	微弱 性	微弱 性	微弱 性	微弱 性	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
〃	〃	〃	〃	〃	五、五四六	五、五四六	五、四九四	五、二一〇	五、〇三三	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、七五五	五、五七七	五、三九二	五、一九四	五、一五〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、四六八	五、五五一	五、二九二	五、三七二	五、二八五	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、一五四	五、二二一	五、〇六五	五、〇二六	五、二一一	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、二五二	五、三二二	五、一八三	五、一四三	五、二八	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、三二三	五、四八八	五、〇四六	五、〇三二	五、三六七	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、四四二	五、三八五	五、一九九	五、三二二	五、三四四	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、四六九	五、五四七	五、五四七	五、四二八	五、三七四	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、四二二	五、三九〇	五、三六六	五、三七八	五、三七八	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、二九八	五、二七三	五、二二一	五、二三〇	五、二四七	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	五、一七九	五、一八〇	五、二〇四	五、一七九	五、二〇五	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃



酸 硫	ル ー ロ ク	應 反	味 臭
北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ 池池室池井口
痕跡 痕跡 痕跡 痕跡 痕跡	五、三三三 五、七三三 五、六三〇 五、四九四 五、二六五 五、〇三二	微弱 微弱 微弱 微弱 微弱 微弱 性 性 性 性 性	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ
〃〃〃〃〃〃	五、三八五 五、三二八 五、四三九 五、三九三 五、〇四二 五、〇三二	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、五四六 五、五〇〇 五、九四四 五、八三九 五、六二九 五、二五三	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、五二三 五、五二八 五、三六五 五、四九八 五、一九九 五、一七〇	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、四一八 五、三三三 五、三二四 五、二二二 五、二四三 四、九八七	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、三三四 五、三二八 五、一四七 五、一七八 五、一〇〇 五、〇三二	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、四六九 五、五五八 五、四一七 五、三〇四 五、三三七 五、二〇〇	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、四六〇 五、三三九 五、三三九 五、三三三 五、四二五 五、四四六	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、五五五 五、六二五 五、三六五 五、三九四 五、三九一 五、二九九	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、三七八 五、三四五 五、三三一 五、三三二 五、三三三 五、二九八	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、一五四 五、二四三 五、二九九 五、二六九 五、四七八 五、二九〇	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	五、二七三 五、二八二 五、二二九 五、二四七 五、二二八 五、一九七	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃

度 濁	度 色	探 試 試	試 驗 項 目
北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ 池池室池井口	酌 驗 驗 回 回 日 數 數 數	月 別
透 明	無 色	四 四 四	四 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	五 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	六 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	七 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	八 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	九 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	十 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	十 一 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	十 二 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	一 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	二 月
〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃	三 月

(口) 松ヶ崎浄水場

細菌落數	カマムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ ンガムリ	固形物總量
北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口
七四四九四六	二、四〇九 二、四一七 二、四三〇 二、四三九 二、四四七	三、三六七 三、三四七 三、三六九 三、三六九 三、三六九
三五五五四	二、四一七 二、四二八 二、四三〇 二、四三三 二、四三七	三、一八六 三、二四六 三、二四六 三、二四六 三、二四六
三三三二四	二、二九一 二、三〇九 二、三〇九 二、三二七 二、三二七	三、一〇〇 三、一〇九 三、一〇九 三、一〇九 三、一〇九
三三三七	二、四〇〇 二、三九八 二、三九八 二、四〇〇 二、四〇〇	三、〇七三 二、九七五 二、九七五 二、九七五 二、九七五
三三三八	二、一八二 二、二〇〇 二、二〇〇 二、二〇七 二、二〇七	二、八二三 二、七七二 二、七七二 二、七七二 二、七七二
六七七七	一、八六九 一、八六九 一、八六九 一、八六九 一、八六九	二、八三三 二、八四三 二、八四三 二、八四三 二、八四三
三三七	二、三九九 二、三九九 二、三九九 二、三九九 二、三九九	三、二七三 三、四一七 三、四一七 三、四一七 三、四一七
四三二四	二、二二六 一、九二六 一、九二六 一、八八三 一、八八三	二、七六九 二、七五四 二、七五四 二、七五四 二、七五四
二一	一、八〇〇 一、八〇〇 一、八〇〇 一、八〇〇 一、八〇〇	二、六九三 二、六五二 二、六五二 二、六五二 二、六五二
八八六七	一、八七五 一、八六六 一、八六六 一、八六六 一、八六六	二、六八〇 二、五六一 二、五六一 二、五六一 二、五六一
一一八九	二、〇二二 一、九〇四 一、九〇四 一、九二二 一、九二二	二、八九一 三、一三五 三、一三五 三、〇九九 三、〇九九
六八五六	二、三二〇 二、二〇七 二、二〇七 二、二〇七 二、二〇七	二、七八七 二、八三四 二、八三四 二、八三四 二、八三四

硬度	アニモンア	酸 硝 亞	酸 硝
北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口	北南ホ濾着取 配配ン過水入 水水プ過水入 池池室池井口
一、一三五	不檢出	不檢出	不檢出
一、一三五	不檢出	不檢出	不檢出
一、一三八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一五〇	不檢出	不檢出	不檢出
一、一五〇	不檢出	不檢出	不檢出
一、一五〇	不檢出	不檢出	不檢出
一、一五〇	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出
一、一八八	不檢出	不檢出	不檢出

(八) 山科浄水場

味 臭	度 濁	度 色	採 試 試 酌 驗 驗 回 回 日 數 數 數	試 驗 項 目
				月 別
配ホ濾着 水ン過水 池室池井	配ホ濾着 水ン過水 池室池井	配ホ濾着 水ン過水 池室池井		四月
				五月
ナシ	透明	無色	10	六月
ナシ	透明	無色	10	七月
ナシ	透明	無色	10	八月
ナシ	透明	無色	10	九月
	透明	無色	10	十月
	透明	無色	10	十一月
	透明	無色	10	十二月
	透明	無色	10	一月
	透明	無色	10	二月
	透明	無色	10	三月

酸 硝 亞	酸 硝	酸 硫	ル ー ロ ク	應 反
配ホ濾着 水ン過水 池室池井	配ホ濾着 水ン過水 池室池井	配ホ濾着 水ン過水 池室池井	配ホ濾着 水ン過水 池室池井	配ホ濾着 水ン過水 池室池井
不檢出	不檢出	痕跡	5.137	微弱
不檢出	不檢出	痕跡	5.107	微弱
不檢出	不檢出	痕跡	5.100	微弱
不檢出	不檢出	痕跡	5.095	微弱
			5.083	
			5.063	
			5.045	
			5.029	
			5.011	
			5.001	
			4.983	
			4.968	
			4.951	
			4.935	
			4.919	
			4.903	
			4.887	
			4.871	
			4.855	
			4.839	
			4.823	
			4.807	
			4.791	
			4.775	
			4.759	
			4.743	
			4.727	
			4.711	
			4.695	
			4.679	
			4.663	
			4.647	
			4.631	
			4.615	
			4.599	
			4.583	
			4.567	
			4.551	
			4.535	
			4.519	
			4.503	
			4.487	
			4.471	
			4.455	
			4.439	
			4.423	
			4.407	
			4.391	
			4.375	
			4.359	
			4.343	
			4.327	
			4.311	
			4.295	
			4.279	
			4.263	
			4.247	
			4.231	
			4.215	
			4.199	
			4.183	
			4.167	
			4.151	
			4.135	
			4.119	
			4.103	
			4.087	
			4.071	
			4.055	
			4.039	
			4.023	
			4.007	
			3.991	
			3.975	
			3.959	
			3.943	
			3.927	
			3.911	
			3.895	
			3.879	
			3.863	
			3.847	
			3.831	
			3.815	
			3.799	
			3.783	
			3.767	
			3.751	
			3.735	
			3.719	
			3.703	
			3.687	
			3.671	
			3.655	
			3.639	
			3.623	
			3.607	
			3.591	
			3.575	
			3.559	
			3.543	
			3.527	
			3.511	
			3.495	
			3.479	
			3.463	
			3.447	
			3.431	
			3.415	
			3.399	
			3.383	
			3.367	
			3.351	
			3.335	
			3.319	
			3.303	
			3.287	
			3.271	
			3.255	
			3.239	
			3.223	
			3.207	
			3.191	
			3.175	
			3.159	
			3.143	
			3.127	
			3.111	
			3.095	
			3.079	
			3.063	
			3.047	
			3.031	
			3.015	
			3.000	

試験項目	月別											
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
試験回数	四	二	五	四	四	四	四	四	七	七	六	八
採色回数	四	二	五	四	四	四	四	四	七	七	六	八
濁度	無色	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明
臭度	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味
反臭	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味
ケル	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱
硫酸	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡
硝酸	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
亜硝酸	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アモニウム	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
硬度	11.2	11.9	10.9	10.5	10.4	10.8	10.6	10.6	10.2	10.4	10.2	10.5
固形物	47.0	46.9	48.5	48.6	48.7	47.9	49.5	48.5	47.3	49.4	47.5	47.8
カルシウム	25.5	28.9	27.0	25.5	21.5	19.3	21.4	19.2	17.5	19.8	23.8	19.8
細菌	2	2	3	9	4	17	4	3	6	4	6	5

(二) 市内給水栓

試験項目	月別											
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
試験回数	四	二	五	四	四	四	四	四	七	七	六	八
採色回数	四	二	五	四	四	四	四	四	七	七	六	八
濁度	無色	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明
臭度	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味
反臭	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味	無味
ケル	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱	微弱
硫酸	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡
硝酸	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
亜硝酸	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アモニウム	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
硬度	11.5	11.4	11.3	11.2	11.1	11.0	11.1	11.2	11.0	11.1	11.0	11.1
固形物	48.4	48.0	48.9	49.2	49.8	49.5	49.7	49.7	48.0	49.5	49.3	49.2
カルシウム	24.9	23.9	24.1	26.3	23.4	19.6	24.6	23.2	18.1	23.4	27.2	24.0
細菌	4	3	5	7	3	15	3	2	1	3	4	4

### 第四章 配水工事

#### (一) 配水管延長 (單位米)

口徑別	鐵管別	鐵管		鋼管		計
		昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	
七五〇耗 (三〇吋)		八七六・三六	八六六・三六			八七六・三六
六五〇耗 (二六吋)		二、五七・二七	二、五七・二七			二、五七・二七
六〇〇耗 (二四吋)		一五、二六三・二二	一五、二六三・二二			一五、二六三・二二
五五〇耗 (二二吋)		四、一四一・五四	四、一四一・五四			四、一四一・五四
五〇〇耗 (二〇吋)		三、四〇一・八七	三、四〇一・八七			三、四〇一・八七
四五〇耗 (一八吋)		五、三七四・三八	五、三七四・三八			五、三七四・三八
四〇〇耗 (一六吋)		三、〇七一・〇七	三、〇七一・〇七			三、〇七一・〇七
三五〇耗 (一四吋)		一、三九三・五二	一、三九三・五二			一、三九三・五二
三〇〇耗 (一二吋)		三三、九四七・一〇	三三、九四七・一〇			三三、九四七・一〇
二五〇耗 (一〇吋)		七、二四六・五三	七、二四六・五三			七、二四六・五三
二二五耗 (九吋)		六、四八一・八四	六、四八一・八四			六、四八一・八四
二〇〇耗 (八吋)		二九、九四八・六五	二九、九四八・六五			二九、九四八・六五
一五〇耗 (六吋)		一一、九五七・九七	一一、九五七・九七			一一、九五七・九七
一二五耗 (五吋)		三六、二七・〇一	三六、二七・〇一			三六、二七・〇一
一〇〇耗 (四吋)		二〇六、六九三・一一	一九八、六〇・八二	五、四〇六・五七	五、四〇六・五七	二二二、〇九九・六八

#### (二) 配水管工事

##### (イ) 配水管敷設工事

昭和十一年度

敷設場所	管徑	敷設延長	敷設工費	着手年月日	竣功年月日
四條西大路西入	一五〇	八六・五〇	五二、四七	二、六、五	二、六、六
東第一地區第一號線東大路 自茶山至瀨電	一〇〇	七五・三三	三、八二・三三	二、六、二	二、一〇、二五
右京區山陰街道新京阪西入上ル	一〇〇	三五・三三	二、四七・九三	二、六、二	二、六、三〇
右京區鳴瀧音戸山宇多野ヨリ北嵯峨ニ至ル街道	一〇〇	九・五八	二八・二三	二、六、二	二、六、三〇
伏見區東竹田 自竹田出橋	一〇〇	九一・五五	三七・八七	二、七、二	二、七、二
東高瀬川左岸 至竹田城南宮道	一〇〇	五五・六〇	二、五七・五四	二、九、二	二、一、二五
高倉通 自七條—至鹽小路	一〇〇	三七・四〇	七・二六	二、一、五	二、一、八
宇多野阿彌陀常盤地内鳴瀧常盤線	一〇〇	二六・八九	一、六五・二三	二、九、一六	二、九、三

敷設場所	管徑	敷設延長	敷設工費	着手年月日	竣功年月日
八八耗 (三吋半)	八、三〇・一七	一六、三五・三三	一六二、三八五・三三	一六九、五三四・七一	一六九、六九二・四九
七五耗 (三吋)	一一、二五・五三	八〇三・七三	八〇三・七三	一一〇、一八・二六	一一、〇八・二六
計	四八九、九五〇・三五	一八六、八八・八九	一八六、八〇八・六九	六六六、七五九・〇四	六七五、七四七・〇八



左京區吉田神樂岡町	一五〇	二六六・〇〇	一、六二八・二	二、一〇、一九	二、一〇、三〇
下京區河原町七條下ル	一〇〇	四七・〇〇	一、五九・四三	二、一〇、三九	二、一〇、三〇
下京區南大路通本町西入	一〇〇	一一九・六〇	七四六・五七	二、一〇、一〇	二、一〇、一〇
南第二地區內衣笠御朱雀院塚東通	一〇〇	二八五・〇〇	一、三〇〇・一九	二、一〇、二六	二、一〇、二八
右京區太秦西條ヶ岡	一〇〇	五二九・二〇	二、五三三・七三	二、一〇、一六	二、一〇、二二
右京區鳴瀧常盤谷線	一五〇	四九六・〇〇	二、七五八・三四	二、一〇、二〇	二、一〇、二一
西寺區畫整理組合地内	一〇〇	九二〇・六七	四、一四五・四三	二、一〇、二六	二、一〇、二八
西ノ京藤ノ木町地内	一〇〇	五八四・六〇	二、八〇九・五七	二、一〇、一九	二、一〇、二〇
西ノ京月輪町地内	一〇〇	三三三・〇〇	一、五二七・九八	二、一〇、一八	二、一〇、二二
右京區花園裏通太秦安井西裏町	一〇〇	三二六・七〇	一、〇二五・八五	二、一〇、一九	二、一〇、二二
右京區安井辻ノ内奥畑町地内	一〇〇	四六二・五九	二、〇九四・二六	二、一〇、二七	二、一〇、三〇
四條通天神川東入西院四條畑町	一〇〇	四八四・二〇	二、二八九・四九	二、一〇、二五	二、一〇、二六
右京區春日通 自佛光寺——至五條	一〇〇	一六二・三〇	七六七・八二	二、一〇、一五	二、一〇、一六
右京區五條通 自西大路——至春日通	一〇〇	四八八・八〇	二、三五六・〇三	二、一〇、一九	二、一〇、二二
西第二地區衣笠花山陵東道	一〇〇				

京都病院南通三筋目	一〇〇	三六一・五〇	一、七六一・〇〇	二、一〇、二〇	二、一〇、二〇
東竹田地内城南宮道竹田街道西入上	一五〇	三七六・九二	二、四九〇・四九	二、一〇、二六	二、一〇、二〇
下京區七條通 自間ノ町——至高倉	一〇〇	四六・〇〇	一、二三八・七	二、一〇、二二	二、一〇、二二
下京區鹽小路 自河原町——至須原通	一〇〇	一六九・〇〇	六二六・二〇	二、一〇、二二	二、一〇、二二
左京區松ヶ崎街道鞍馬街道交叉點	三〇〇	一〇、〇〇	一、六九・九六	二、一〇、二二	二、一〇、二二
左京區上高野池ノ内町地内	一〇〇	一一・二〇	三、五七・七七	二、一〇、二六	二、一〇、二七
左京區下鴨半木町及下鴨北岡町	一五〇	七五・七〇	三、三一・六八	二、一〇、二九	二、一〇、二二
下京區九條小學校前	八八	五四・〇〇	二、六四・六〇	二、一〇、二〇	二、一〇、二〇
下京區東九條下札ノ辻町竹田街道東入	八八	九九・七六	一、四四・九一	二、一〇、二五	二、一〇、二七
西七條土地區畫整理組合地内	一〇〇	九八・二二	二、七六・六九	二、一〇、二五	二、一〇、二七
南第二地區内十條通 自大宮	一〇〇	六〇・〇〇	二、九八・六三	二、一〇、二四	二、一〇、二五
南第二地區内十條通 至油小路	一〇〇	一八三・〇九	七、八四・四一	二、一〇、二四	二、一〇、二五
計	一〇〇	四一〇・二〇	三、二四・七八	二、一〇、二九	二、一〇、二七
	一〇〇	四四・三五	二、九二・三四	二、一〇、二九	二、一〇、二七
	一〇〇	一〇、九六・三三	五、四一・六六・九九		

(口) 急設配水管工事

昭和十一年度

敷設場所	出願人住所氏名	管徑	延長	工費	着手年月日	竣工年月日
右京區太秦森ヶ東町四番地内 右京區西口土地區畫整理組合 地内桂巽町川島寺田町 東山區粟田口三條坊町地内 計	右京區花園伊町七ノ一八合地 伊藤芳太郎 右京區桂學區代表者 大八木治一郎 西口土地區畫整理組合長 澤田長治郎 大阪市北區老町三丁目一六 高木藤吉 東京市芝區新橋七丁目 堀口金太郎	100 100 100 100 計	184.00 585.00 180.00 949.00	1,065.00 2,750.00 1,040.00 4,855.00	二、五、一八 二、六、二七 二、八、一五	二、五、一九 二、七、一 二、八、三一

(ハ) 配水管撤去工事

昭和十一年度

撤去場所	管徑	撤去延長	撤去工費	工事着手年月日	工事竣工年月日
上京區今小路小松原東入 下京區菊濱小學校東橋高瀬通 左京區吉田神樂岡町 東第一地區内第一號線東大路茶山報電間 下京區南大路本町西入	125 88 100 100 計	144.00 111.00 266.00 283.00 433.00	83.85 137.71 400.85 83.81 746.81	二、九、二 二、七、一 二、二、一 二、六、二四 二、六、二〇	二、九、三 二、七、一 二、二、二 二、一〇、二五 二、二、一

種別	管徑	撤去延長	撤去工費	工事着手年月日	工事竣工年月日
左京區下鴨半木町及下鴨北園町 下京區東九條下札ノ辻町竹田街道東入 南第二地區内十條通 計	88 100 100 計	150 88 100 338	57.00 82.24 19.00 158.24	二、二、二九 二、三、二五 二、一〇、二九 二、三、二七	二、二、二 二、三、七 二、三、二七 二、三、二七

(ニ) 配水管延長及工費合計

昭和十一年度

種別	管徑	敷設		撤去		差引
		延長	工費	延長	工費	
八八耗	米	153.76	409.52	332.54	234.33	175.29
		8.54	21.98	3.06	8.03	38.96
100耗	米	85.54	216.88	482.29	306.53	175.29
		1.00	2.54	1.00	2.54	0.00
125耗	米	2.00	5.08	1.00	2.54	0.50
		1.00	2.54	0.00	0.00	0.50
150耗	米	2.00	5.08	1.00	2.54	0.50
		1.00	2.54	0.00	0.00	0.50
200耗	米	7.00	17.70	5.00	12.70	2.00
		1.00	2.54	0.00	0.00	0.50
300耗	米	1.00	2.54	0.00	0.00	0.50
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
計	米	218.76	559.22	875.27	668.69	58.53

(三) 配水幹線

浄水場名	配水幹線名	配水幹線敷設場所
高上	高區北部幹線	計量室ヨリ出テ、廣道、丸太町、東大路、東一條、河原町、今出川、及元誓願寺ヲ經テ御前通ニ至ル
	高區南部幹線	計量室ヨリ出テ、廣道、南禪寺、仁王門、二條、烏丸、丸太町、新町及下立賣ヲ經テ御前通ニ至リ、北部幹線ト連絡ス
松ヶ崎	第一幹線	計量室ヨリ出テ、應天門、圓山公園、四條及東大路ヲ經テ泉涌寺前ニ至ル
	第二幹線	計量室ヨリ出テ、三條、東白川、古門前、大和大路及四條通ヲ經テ大宮ニ至ル
山科	配水幹線	計量室ヨリ出テ、三條、東白川、四條、大和大路、五條、本町通及七條ヲ經テ大宮ニ至リ北部幹線ト連絡ス
	日ノ岡幹線	計量室ヨリ出テ、松ヶ崎、鞍馬、兩街道交叉點ニ於テ二幹線ニ分岐ス
山科	醍醐幹線	分岐點ヨリ鞍馬街道ヲ南下、農林學校前ヲ西進シテ川端ニ出テ、鴨川左岸ニ沿ヒ、元奏橋附近ニテ鴨川ヲ横斷シ、今出川ニ出テ、高區北部幹線ニ連絡ス
	音羽幹線	分岐點ヨリ植物園北側ヲ西進シ、鴨川ヲ横斷、新町通ヲ南下シ、疏水分線右岸及鞍馬口ヲ西進シ、金關寺前、今小路ヲ經テ、北野神社鳥居前ニテ高區北部幹線ニ連絡ス
山科	醍醐幹線	計量室ヨリ出テ、舊三條街道ヲ西へ安祥寺川交叉點ニテ二幹線ニ分岐ス
	音羽幹線	分岐點ヨリ舊三條通ヲ西ニ進ミ御陵進道町ヲ經テ京津國道ヲ西へ日ノ岡ニ至ル
山科	醍醐幹線	分岐點ヨリ南進シ、東野、大塚、小野ヲ經テ醍醐一言寺ニ至ル
	音羽幹線	四ノ宮大將軍町ニ於テ配水幹線ヨリ分岐シ南進シ音羽ヲ經テ大塚ニ於テ醍醐線ト合ス
山科	醍醐幹線	御陵御廟野町ニ於テ日ノ岡線ヨリ分岐シ南進シ厨子奥ヲ經テ西野ニ至リ東進シ竹鼻大手洗ニ於テ醍醐線ト合ス
	音羽幹線	

第五章 配水狀況

(一) 各浄水場月別配水量 (單位立方米)

昭和十一年度

月別	高上		低淨水		小場		松ヶ崎浄水場		山科浄水場		合計	
	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度
四月	一、三五、〇〇六	一、〇六、八二八	一、四二、三三三	一、一七、七五一	二、四六、六九九	二、一五、三六九	九八、三七八	九五、三七一			三、四五、〇〇七	三、四八、四四〇
五月	一、三六、〇〇一	一、三〇、二六三	一、四六、九九二	一、二九、九九〇	二、七八、四六三	二、五二、二四三	一、〇七、四三七	一、〇五、六三二			三、八五、八九九	三、五五、八七四
六月	一、三六、〇〇一	一、三〇、二六三	一、四六、九九二	一、二九、九九〇	二、七八、四六三	二、五二、二四三	一、〇七、四三七	一、〇五、六三二			三、八五、八九九	三、五五、八七四
七月	一、一九、四五七	一、四五、五〇三	一、七〇、三八二	一、五八、二二四	二、八五、四五四	二、六三、三三〇	一、八八、三六八	一、〇四、八七七			四、〇八、六五三	三、六〇、一四七
八月	一、〇七、〇四九	一、二六、六九七	一、七九、四九三	一、五五、四二二	二、八九、六五四	二、八二、三三六	一、九四、〇〇七	一、三六、七九八			四、七六、八二二	四、二九、九七三
九月	一、〇八、三〇〇	一、三四、七五四	一、六四、八六七	一、三六、〇〇三	二、六三、〇八七	二、六八、七五七	一、七九、二五二	一、〇八、九九〇			四、七八、七〇九	四、四一、三三六
十月	九、〇〇、四五五	一、三六、三〇一	一、四五、五〇三	一、三六、七六六	二、三六、七六一	二、四九、〇八八	一、七三、五七〇	一、〇五、〇四九			四、四一、八八一	四、一六、一九三
十一月	一、〇〇、二二二	一、二四、九〇一	一、三四、〇六三	一、二六、九六七	二、三五、三七四	二、四九、〇八八	一、七三、五七〇	一、〇五、〇四九			四、一六、一九三	三、七四、〇七七
十二月	一、五八、七七七	一、一〇、三三四	一、三二、三三三	一、一〇、五三三	二、四九、〇八八	二、四九、〇八八	一、七三、五七〇	一、〇五、〇四九			三、七三、二七七	三、五八、四三六
一月	一、〇〇、四〇〇	一、一四、七三二	一、三二、九九八	一、一五、九九〇	二、三六、三八八	二、三六、三八八	一、三三、三四三	九〇、〇三三			三、七三、二七七	三、三七、四六五
二月	九、二、四九九	一、一三、四三三	一、三六、六六一	一、一四、九六一	二、二二、三三一	二、一七、五七四	一、〇二、〇一〇	九七、六九九			三、一六、六六一	三、一五、七五四
三月	一、〇三、八六四	一、〇七、二五七	一、二二、七〇二	一、一〇、一四二	二、一五、五六六	二、四〇、三九九	一、〇二、〇一〇	九八、七〇〇			三、一六、六六一	三、一五、七五四
計	一三、四九、二五二	一四、八六、〇〇三	一七、〇四、二二二	一五、四九、六九三	二〇、六二、三三〇	一九、三七、三〇〇	一六、二四、九八二	一五、五三、六五二			四七、二六、〇六四	四七、二九、三〇〇

(二) 最多、最少、平均配水日量 (單位立方米) (◎ハ最多ヲ示ス △ハ最少ヲ示ス)

月別	總量		昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度
	昭和十一年度	昭和十年度								
四月	三、四四五、〇〇七	△ 三、四八八、五四〇	二四、〇九九	二九、九九一	一〇五、〇三九	九四、三二一	二四、八三三	二四、八三三	△ 二〇四、九五一	
五月	三、八五五、八九九	三、五七五、八四四	一三、三七二	二五、九三六	一一〇、六六六	九六、二九二	二四、六三三	二四、六三三	二四、六三三	
六月	四、一四八、六三三	三、六八〇、四一七	一五、三四七	一四七、六〇〇	一〇四、七六四	一〇四、七六四	一六、六三八	一六、六三八	一六、六三八	
七月	四、六六六、八三三	◎ 四、二九九、九七一	一七、〇五九	一五、五〇六	一一六、三三三	一一一、三二一	一五、〇八五	一五、〇八五	◎ 一三、七〇八	
八月	◎ 四、七八七、七〇九	四、一四一、三六	一六、三四八	一四九、六八三	一三八、八七六	一一二、六三三	一四、九四三	一四、九四三	◎ 一三、七〇八	
九月	四、四四一、八八一	三、七〇七、七四七	一六、一七五	一四三、五六〇	一二四、七二四	一二二、六三三	一四、九四三	一四、九四三	◎ 一三、七〇八	
十月	四、二二二、一九一	三、七〇七、〇七	一四、〇六二	一八、八三八	一二五、七三三	一〇八、九六五	一四、九四三	一四、九四三	◎ 一三、七〇八	
十一月	三、七三三、二七七	三、三五八、四六	一三、四八三	△ 一六、四八九	一二六、七三六	一〇八、六八	一四、九四三	一四、九四三	△ 一三、七〇八	
十二月	三、七九九、九四四	三、三七七、四六五	一四、一五〇	一三〇、二二四	一一一、四九一	九五、六五三	一四、九四三	一四、九四三	△ 一三、七〇八	
一月	三、三九九、七二七	三、二五七、五七四	一七、〇五五	一二、四七八	八五、〇〇六	七五、七八八	一四、九四三	一四、九四三	△ 一三、七〇八	
二月	△ 三、一三三、六九	三、一四〇、二三三	一一、九六四	一二、六〇七	一〇六、七〇〇	一〇〇、八〇七	一三、九八八	一三、九八八	一一、七三三	
三月	三、五八七、三五	三、三九三、〇九九	一二、四七七	二六、六八五	一〇八、九三三	一〇二、六六	一二、九二九	一二、九二九	一〇、四五五	
計	四七、一三六、〇六	四二、九七三、〇〇	—	—	—	—	—	—	—	

(三) 配水量累年比較 (單位立方米)

年度別	賦上淨水場				松ヶ崎淨水場	山科淨水場	合計	最 多 日 量	最 少 日 量	平 均 日 量
	高 區	低 區	小 計	小 計						
昭和十一年度	一三、四九九、二五	一七、一〇四、一三	三〇、六〇三、三七	一六、二四一、九五八	—	四七、一三六、〇六	一七〇、五二九	八五、三〇六	一一九、一三九	
昭和十年度	一四、八九六、〇〇三	一五、四九八、六九	三〇、三九四、六九	一二、五三三、六五	—	四二、九二七、三〇〇	一五一、五〇六	七五、七八八	一一七、一六〇	
昭和九年度	一一、八四五、四五四	一四、七九八、一九	二六、五五三、一四	一一、五三三、七六	—	三九、〇八六、九〇	一四〇、六九四	七四、二二五	一一〇、七二八	
昭和八年度	一一、二八九、四六五	一四、九七三、三三	二六、二六二、七九	一〇、七五五、三二	—	三七、〇一八、一〇	一三四、二四八	六七、九九三	一一〇、二四二	
昭和七年度	一一、六四四、一一〇	一三、五五九、二九	二五、二〇三、四〇	七、五五四、〇〇	—	三三、四四四、四三	一三一、六六〇	七四、九九一	九一、六三〇	
昭和六年度	一一、三〇七、二七七	一一、七三三、一五	二三、〇四〇、四二	六、三五六、六四	—	三二、一七二、一六	一一八、〇二四	五〇、四〇三	八五、一八三	
昭和五年度	一一、六七六、五六四	一一、七七八、七五〇	二三、四六五、三二	六、二九一、六七	—	三〇、七五六、九九	一一六、七〇一	四六、九六〇	八四、二六六	
昭和四年度	一一、八五五、八七三	一一、五五一、〇五二	二三、三六六、九二	四、八二六、一四	—	二九、〇三三、〇六	一一五、二八三	四四、八二〇	七九、五四三	
昭和三年度	一一、七二六、五六〇	一一、八四九、九九	二三、五七六、五五	三、一四七、三二	—	二八、〇四八、七〇	一一〇、八三六	五〇、一六三	七六、六三三	
昭和二年度	一一、七三三、四一六	一一、五七七、六〇二	二三、三一一、〇一	二、〇二一、〇四七	—	二四、九〇二、〇六	九六、〇〇五	四六、〇一一	六八、一三五	
昭和元年度	一一、九三八、二二	一一、〇八六、一九〇	二三、〇七四、四一	—	—	二三、〇七四、四一	八八、九九八	四九、八九三	六六、〇三	
大正十五年度	一一、九〇〇、一一〇	一一、〇八六、一九〇	二三、〇七四、四一	—	—	二三、〇七四、四一	八〇、三六〇	三八、〇八一	五八、七〇四	
大正十四年度	一一、〇六六、三六七	一一、〇三六、六八八	二二、一〇三、七九	—	—	二二、一〇三、七九	八〇、三六〇	三七、九四一	五八、〇三八	
大正十三年度	一〇、六五三、三六七	一〇、四九三、九三五	二〇、一四七、七〇	—	—	二〇、一四七、七〇	七八、九九八	三七、九四一	五八、〇三八	
大正十二年度	一〇、〇五三、〇〇四	八、九二二、八六四	一八、九七五、八六	—	—	一八、九七五、八六	七八、九九八	三七、九四一	五八、〇三八	
大正十一年度	一〇、三二二、二六	九、三五三、四二二	一九、六七五、六八	—	—	一九、六七五、六八	七八、九九八	三七、九四一	五八、〇三八	
大正十年度	九、三三四、五六三	八、八四七、二一六	一八、一九九、七六	—	—	一八、一九九、七六	七二、九九八	三二、六四一	五二、九七二	

(四) 一日平均配水量累年比較

年度	一日配水量			給水人口一人當			水栓箇所數ニ對スル一日平均配水量			設計容量ニ對スル配水量割	設計容量ニ對スル給水人口割	全市人口ニ對スル給水人口割
	平均	最多	最少	平均	最多	最少	平均	最多	最少			
昭和十一年度	二九、三九 <sup>立方米</sup>	一七〇、五九 <sup>立方米</sup>	八五、三〇 <sup>立方米</sup>	〇・一七三 <sup>立方米</sup>	〇・三二八 <sup>立方米</sup>	〇・一二四 <sup>立方米</sup>	〇・八六三 <sup>立方米</sup>	一・一四四 <sup>立方米</sup>	〇・五七〇 <sup>立方米</sup>	一七、四三	一一、二二	六、七三
昭和十年度	二二、二六〇	一五一、五〇六	七五、七八八	〇・一六五	〇・二三四	〇・一二七	〇・八三五	一・〇六六	〇・五三三	一六、二五	一〇、八八	六、五三
昭和九年度	一〇、七、四八	一四〇、六九四	七四、三三三	〇・一五一	〇・一九八	〇・一〇四	〇・八二六	一・〇六六	〇・五三三	一四、八一	一〇、九	六、七七
昭和八年度	一〇、一、四三	一三三、二四八	六七、九三三	〇・一四六	〇・一九一	〇・〇九七	〇・八三六	一・一〇一	〇・五五八	一四、一五	一〇、六六	六、八一
昭和七年度	九、六、三〇	一三一、六六〇	七四、九二〇	〇・一三六	〇・一九五	〇・〇八三	〇・七三〇	一・一三六	〇・四八二	一三、二五	一〇、三三	六、七〇
昭和六年度	八、五、八三	一一八、〇〇四	五〇、四〇一	〇・一二七	〇・一七五	〇・〇七五	〇・七七七	一・〇六三	〇・四四四	一一、七八	一〇、三四	六、七八
昭和五年度	八、四、六六	一一六、七〇一	四六、六六〇	〇・一二二	〇・一八一	〇・〇七五	〇・八三三	一・一一一	〇・四四七	一一、五六	九、九二	八、四四
昭和四年度	七、九、五四三	一一五、二六三	四五、八二〇	〇・一二五	〇・一八一	〇・〇七三	〇・七九七	一・一五五	〇・四九九	一一、〇〇	九、七四	八、三四
昭和三年度	七、八、四五	一一〇、八五	五〇、一六三	〇・一二二	〇・一六〇	〇・〇七	〇・八七	一・〇九三	〇・五三三	一〇、六三	九、七二	八、三三
昭和二年度	六、八、〇三八	九六、〇〇五	四六、〇三八	〇・一一四	〇・一六二	〇・〇七	〇・七七	一・〇九六	〇・五二五	九、四〇	九、一六	八、〇七
昭和元年度	六、五、二〇七	八八、九九九	四九、八九三	〇・一一六	〇・一六〇	〇・〇八九	〇・八五	一・〇九六	〇・六二六	九、〇一	九、六三	七、八一

第六章 給水工事

(一) 給水工事施行件數

(イ) 總計

昭和十一年度

月別	新設						増設			變更			撤去			計
	専用栓	共用栓	臨時栓	防火栓	撤水栓	計	増設	變更	撤去	計	増設	變更	撤去	計		
四月	五七六	三五	二二	二	一	六三六	六三	一七三	四八	九一〇	六	一、〇六六	一、〇六六	九一〇		
五月	六一五	四〇	二〇	一	一	六八六	六九	三二七	八三	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
六月	八〇〇	五三	二四	一	一	八九九	五九	二四八	七二	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
七月	八〇九	六八	二八	一	一	九〇〇	七〇	一八一	四六	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
八月	六〇八	四四	一六	一	一	六七一	五三	一八九	五二	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
九月	五五四	六四	二一	一	一	六三〇	七三	一八九	五二	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
十月	五八二	三五	二七	一	一	六四五	六三	一八四	五二	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
十一月	六三九	二八	九	一	一	六八二	四九	一七〇	六八	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
十二月	八三三	四八	一四	一	一	八九三	四七	一六三	三二	一、〇六六	一、〇六六	九一〇	九一〇			
計	七、六、三	四九八	一九五	五五	二二	八、〇四三	六八〇	二、二三四	六〇八	一一、四五四	一一、四五四	九一〇	九一〇			

計	月別												計
	三	二	一	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	
五、五三三	五四八	二四三	一六三	六七七	四八九	四三九	四三五	四三三	五五三	五九一	四八六	四五六	計
二七七	一八	二四	二二	元	三	二	元	二	三	三	二	一四	新
五八	四	一		四	二	五	五	九	一〇	一〇	六	二	新
三	二	一	四	八	五	一	三	二	四		一	二	設
													設
五、九〇〇	五七三	二五八	一七八	七八	五二七	四六九	四八一	四八五	六〇二	六三三	五二四	四七四	計
三八八	二六	二	三六	三三	三	三	五	二	四	二九	四三	三三	增
九七八	九二	三六	五九	七三	七九	七〇	一〇三	九三	一〇〇	一一	九九	六二	變
六三	三	四	八	六	三	四		六		一三	一〇	六	撤
七、三三九	六六	三三	二八一	八〇〇	六三〇	五七七	六三五	五九六	七四三	七八五	六六五	五七三	計

(ハ) 請負工事

昭和十一年度

計	月別												計
	三	二	一	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	
一、七五〇	一八九	七五	五八	一四五	一五〇	一四三	一一九	一五五	二五六	二〇九	二二九	二二三	計
三三三	二〇	七	一三	一九	七	二	二六	三	三	三	九	二	新
一七	二	一	三	五	〇	七	三	七	七	八	一四	九	新
三		三	一	一		七	五	一		一	三		設
三													設
二、四四二	三三〇	九八	七	一七五	一六四	一八三	一五八	一八六	三〇八	二四七	一七四	一五二	計
二九二	二九	一五	八	一四	一八	二九	二	四	二九	三〇	二七	三	增
一一、四六六	一一四	三六	四	九〇	九二	一一四	一〇四	九六	八二	一三七	二八	二二	變
五四五	二九	八	五六	二五	六五	六二	三七	四六	四六	五八	七三	四二	撤
四、二二五	三九三	一五九	一八一	三〇四	三三八	四八七	三三〇	三六九	四六四	四七一	四〇一	三三七	計

(ロ) 直營工事

昭和十一年度

(二) 工種別工費及一個所平均工費

工種別	工費	昭和十一年度		備考	
		直營工事	請負工事		
		計	一個所平均工費		
新設	七五、五〇三・二四八	四三、五八〇・〇三〇	二九、〇二・一七六	三五・六六五	請負工事ハ道路面接續工事費ナリ
増設	二四、八〇二・二五五	一、一〇五・四三三	二五、九三三・七八	八五・三三二	
變更	二九、三六六・六三七	三、九六・五二五	三三、三六五・一五三	四三・六〇九	
撤去	五九四・三九八	二二・六七〇	六一七・〇六八	一七・一六一	
計	一三〇、二六六・四三六	四八、六七九・六六八	一七八、九六六・二六六	三・二四八	
變更	三、四四四・二六		三、四四四・二六	一二・二七三	
撤去	八〇〇・〇七		八八・四三三	四・八七八	
道路補助費	二、七八三・〇八		九、七六六・六四八	二・九九三	
量水器繼手費	二、七七二・二五		五、六九〇・八三三	一・三六一	
門標燈	一一、五〇〇	三三三・二五〇	三三三・二五〇	二・五〇	
鋪裝	四、七九・九四		四、七九・九四	一・九〇六	
工事關係	六五、四〇・九三		六五、四〇・九三	八八・七四三	
配水代	一、六五五・六三		一、六五五・六三	七五・〇七七	
管敷	八、四〇〇・四二	一〇、一八七・八九四	九、一五八・八三二		
計	一一、六六六・八五九	五八、八六七・五七二	二七〇、五五四・四三一		
無事					
總計					

昭和十一年度

(三) 各年度別給水工事施行件數並工費

(イ) 各種別工事件數累年比較

工種別	年度	昭和十一年度		昭和十年度		昭和九年度		昭和八年度		昭和七年度		
		新設	變更	撤去	計	新設	變更	撤去	計	新設	變更	撤去
新設	昭和十一年度	八、〇四三	六八〇		七、三三三	六、八二〇		六、四八五		五、五九四		五、五九四
	昭和十年度	二、二二四	六〇八		七五七	二、二二四		六九五		二、〇三三		二、〇三三
變更	昭和十一年度	一七、〇六七	一、六〇八		一八、六八六	一八、〇二九		一九、六〇四		一九、六〇四		一八、二一九
	昭和十年度	四〇、四五〇	六〇八		四一、〇五八	二二、〇三三		二〇、三三三		二〇、三三三		二〇、三三三
撤去	昭和十一年度	六八、九七一			六八、九七一	一四九、四四四		一八七、四九七		一八七、四九七		一八七、四九七
	昭和十年度	一六八、八三三			一六八、八三三	一四九、四四四		一八七、四九七		一八七、四九七		一八七、四九七
計	昭和十一年度	八、〇四三	六八〇	六八、九七一	七、三三三	六、八二〇	六、四八五	五、五九四		五、五九四		五、五九四
	昭和十年度	二、二二四	六〇八	一六八、八三三	七五七	二、二二四	六九五	二、〇三三		二、〇三三		二、〇三三
新設	昭和十一年度	八、〇四三	六八〇		七、三三三	六、八二〇		六、四八五		五、五九四		五、五九四
	昭和十年度	二、二二四	六〇八		七五七	二、二二四		六九五		二、〇三三		二、〇三三
變更	昭和十一年度	一七、〇六七	一、六〇八		一八、六八六	一八、〇二九		一九、六〇四		一九、六〇四		一八、二一九
	昭和十年度	四〇、四五〇	六〇八		四一、〇五八	二二、〇三三		二〇、三三三		二〇、三三三		二〇、三三三
撤去	昭和十一年度	六八、九七一			六八、九七一	一四九、四四四		一八七、四九七		一八七、四九七		一八七、四九七
	昭和十年度	一六八、八三三			一六八、八三三	一四九、四四四		一八七、四九七		一八七、四九七		一八七、四九七
計	昭和十一年度	八、〇四三	六八〇	六八、九七一	七、三三三	六、八二〇	六、四八五	五、五九四		五、五九四		五、五九四
	昭和十年度	二、二二四	六〇八	一六八、八三三	七五七	二、二二四	六九五	二、〇三三		二、〇三三		二、〇三三

(ロ) 上半期下半期別新設工事比率累年比較表

昭和十一年度	年度別	種別	昭和十一年度		昭和十年度		昭和九年度		昭和八年度		昭和七年度	
			上半期	下半年期	上半期	下半年期	上半期	下半年期	上半期	下半年期	上半期	下半年期
專用水	種別	防共用水	七、四八九	四、〇八七	四、〇八七	五、〇五七	五、〇五七	三、四〇三	四、〇八七	三、四〇三	四、〇八七	四、〇八七
			四九八	三〇四	三〇四	六一〇四	六一〇四	一九四	三、四〇三	三、四〇三	三、四〇三	三、四〇三
計	種別	防共用水	八、〇四三	四、四一三	四、四一三	五、〇五七	五、〇五七	四、四一三	三、六二九	四、四一三	四、四一三	四、四一三
			五五	二二	二二	三九・九九	三九・九九	三三	六〇・〇一	六〇・〇一	六〇・〇一	六〇・〇一

昭 和 十 年 度	昭 和 九 年 度	昭 和 八 年 度	昭 和 七 年 度	五 ヶ 年 間 平 均
防共 計 火	防共 計 火	防共 計 火	防共 計 火	防共 計 火
用 用 用	用 用 用	用 用 用	用 用 用	用 用 用
六、七、二六 五、四二 四、五	七、三三 六、三三 五、五	六、一〇 四、五二 五、九	六、三〇六 五、三〇六 二、五二 三、六	六、八四九 四、七 三、七九
三、六五二 三、四〇 二、一	四、〇三 三、〇八 二、二	三、八三九 三、〇八 三、三	二、八九八 一、五二 一、五	三、四八三 二、七三 二、二
五、四、二九 六、二、七三 四、六、六六	六、〇、九三 六、八、二九 五、四、三三	四、九、二二 五、八、〇五 三、九、〇二	五、四、六六 五、九、九二 四、二、六六	五、四、一七 四、四、六八 五、五、一七
三、〇、四 一、〇、一 二、四	二、四、六 一、四、三 二、七	三、〇、五三 一、九、八 二、五	二、〇、八 一、〇、一 二、二	三、〇、六九 二、六 二、二
四、五、七二 三、七、二七 五、三、三四	三、九、〇七 三、二、七一 四、五、七七	五、〇、七九 四、一、九五 六、〇、九八	四、五、三九 四、〇、〇八 五、〇、二二	四、四、八三 三、七、九三 五、五、三三

(四) 工事件數及工費

年 次 種 別	工 事 名	施 行 件 數	工 費 收 件 數	工 費
昭 和 十 年 度	請 直 計 營 工 事	二、二、五	二、二、二	六、三、三
昭 和 九 年 度	請 直 計 營 工 事	五、一、七	五、一、四	一、七、六
昭 和 十 一 年 度	請 直 計 營 工 事	八、〇、四	八、〇、二	二、二、八

年 次 種 別	工 事 名	施 行 件 數	工 費 收 件 數	工 費
昭 和 十 年 度	請 直 計 營 工 事	二、九、九	二、九、九	二、八、一、八〇
昭 和 九 年 度	請 直 計 營 工 事	四、四、三	四、四、三	一、八、五、八〇
昭 和 十 一 年 度	請 直 計 營 工 事	二、九、二	二、九、二	二、四、八、〇三

(イ) 新設

(ロ) 増設

年 次 種 別	工 事 名	施 行 件 數	工 費 收 件 數	工 費
昭 和 十 年 度	請 直 計 營 工 事	一、一、三	一、一、三	一、一、七、九
昭 和 九 年 度	請 直 計 營 工 事	二、一、五	二、一、五	一、九、一、五
昭 和 十 一 年 度	請 直 計 營 工 事	一、八、六	一、八、六	一、九、〇、七九

年 次 種 別	工 事 名	施 行 件 數	工 費 收 件 數	工 費
昭 和 十 年 度	請 直 計 營 工 事	三、三	三、三	一、七、四、二八
昭 和 九 年 度	請 直 計 營 工 事	三、三	三、三	一、七、四、三、七八
昭 和 十 一 年 度	請 直 計 營 工 事	二、七、九	二、七、九	三、四、四、二六



年次	種別	管		鋼		合金鉛管		件數	布設工費	
		鑄鐵管	エタニツトパイプ	五〇耗	四〇耗	二五耗	二〇耗			二五耗
昭和七年度		七五耗	七五耗	五〇耗	四〇耗	二五耗	二〇耗	二五耗	三〇九	二四、三四・七四
昭和八年度				四、八一・九二	六、四九・一一	四七・四			三七	三四、八一・〇四
昭和九年度				六、六二・二	六、七九・二九	一七三・〇			三八	三五、八一・〇八
昭和十年度				一〇、二八三・七	一〇、五五三・〇	三五・二			四八	五五、九八・〇八
昭和十一年度				九、六〇九・七	一一、四七三・四	八九七・五	二・六		六七	五五、八〇・五九
		八四・〇	三三・〇	八、三〇七・四	一六、三五三・三	一、二〇三・六			七三	六五、四〇・九二

(イ) 布設 (五) 配水代用管工事

四九

年次	種別	件數	工費
昭和九年度		六、六七〇	四、八二三・九八〇
昭和十年度		七、〇七九	四、九六四・〇四〇
昭和十一年度		七、九二四	五、六九〇・八三三

(チ) 新設置水器取付継手 (無料)

年次	種別	純鉛管		合金鉛管		亜鉛引鋼管		件數	工費
		一三耗	二〇耗	一三耗	二〇耗	一三耗	二〇耗		
昭和九年度		四三三・〇二	一三四・二	一三耗	二〇耗	一三耗	二〇耗	二、八九六	六、四九九・七三
昭和十年度			三一・一	一五三・三	一九五・五	二八・九	二・三	二、二二	七、六四八・七〇
昭和十一年度				三・三	六、六七・五	四六・六	四・三	三、二二	九、七六六・六八
				六、七四六・七	一〇〇・三	七五・七	九・八	三、五九九	

備考 二米以上市費負擔給水管

(ト) 道路面給水管補助

年次	種別	工事名	施行件數	工費計	工費
昭和九年度		請負工事	三六	二〇、九七九	一、一九八・八三
昭和九年度		直管工事	二〇	二、七四九	四、五八・六六
昭和十年度		請負工事	三六	三、七七八	一、一六五・五七
昭和十年度		直管工事	二〇	三、九七九	九、〇八・四三
昭和十一年度		請負工事	一八	三、五九三	一、〇〇・〇一
昭和十一年度		直管工事	一九	五、九四三	四、八〇・〇一
				六、七〇七	二、八〇・四六

(ホ) 撤去

(ハ) 撤去 (無料)

四八

(口) 撤去

年次	種別 口径	亞鉛引鋼管		合金鉛管	件數	撤去工費
		五〇耗	四〇耗			
昭和九年度		四九六・〇	四六六・〇	一九〇・〇	二七・一	七七九・〇〇九
昭和十年度		八四〇・〇	九四二・二	二六六・六	—	一、三五九・三二二
昭和十一年度		一、〇八四・三	四〇八・三	四二五・二	三・六	一、六五一・六八二

(六) 給水装置修繕工事

(イ) 各區別修繕工事施行件數

昭和十一年度

月別	工事名	上京區	左京區	中京區	東山區	下京區	右京區	伏見區	計	合計
五月	無料工事	一、一八六	六〇九	六五五	二八四	三七五	一一四	一〇四	三、三三七	四、八五五
四月	有料工事	一、〇四四	四六七	六〇八	三二九	三六八	一一〇	一四〇	三、〇七四	四、二九四
三月	無料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二月	有料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一月	無料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二月	有料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一月	無料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十月	有料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	無料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	有料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七月	無料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六月	有料工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		一、一八六	六〇九	六五五	二八四	三七五	一一四	一〇四	三、三三七	四、八五五

月別	無料工事	有料工事	合計
五月	一、一八六	四八二	一、六六八
四月	一、〇四四	四六七	一、五一一
三月	—	—	—
二月	—	—	—
一月	—	—	—
十二月	—	—	—
十一月	—	—	—
十月	—	—	—
九月	—	—	—
八月	—	—	—
七月	—	—	—
六月	—	—	—
合計	一、一八六	四八二	一、六六八

合計	三月	
	有料工事	無料工事
	二八九	一六二
	七六六	四五六
	二,五〇〇	二,五〇〇
	五,三九九	三,九〇二
	一三,八六〇	八,二五六
	一九,〇九九	一二,二五八
	九,一七二	五,七六〇
	二,九二二	二,七三九
	四,五九九	四,〇二六
	二,七五九	二,七五九
	三,七九	四,九八三
	二,五	一,一八八
	二,五	四,二二
	三三	一,四六五
	一,〇九一	一,四六五
	三,七九九	一,九八六
	五七,五二七	一,九八六

(口) 月別修繕工事施行件數及工費

昭和十一年度

月別	施行件數		工費	
	有料工事	無料工事	有料工事	無料工事
四月	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇
五月	一,五三八	三,三三七	四,八五五	一,八〇〇
六月	一,八二二	三,九七一	五,七八三	二,三三三
七月	一,九七七	四,三六五	六,三六三	二,〇三六
八月	一,九九二	四,二九一	六,二八三	二,二五九
九月	一,九五四	四,一七七	六,一三二	二,〇二一
十月	一,四五七	三,六四七	五,一〇四	一,六八一
合計	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇
	一,五三八	三,三三七	四,八五五	一,八〇〇
	一,八二二	三,九七一	五,七八三	二,三三三
	一,九七七	四,三六五	六,三六三	二,〇三六
	一,九九二	四,二九一	六,二八三	二,二五九
	一,九五四	四,一七七	六,一三二	二,〇二一
	一,四五七	三,六四七	五,一〇四	一,六八一
合計	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇
	一,五三八	三,三三七	四,八五五	一,八〇〇
	一,八二二	三,九七一	五,七八三	二,三三三
	一,九七七	四,三六五	六,三六三	二,〇三六
	一,九九二	四,二九一	六,二八三	二,二五九
	一,九五四	四,一七七	六,一三二	二,〇二一
	一,四五七	三,六四七	五,一〇四	一,六八一
合計	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇
	一,五三八	三,三三七	四,八五五	一,八〇〇
	一,八二二	三,九七一	五,七八三	二,三三三
	一,九七七	四,三六五	六,三六三	二,〇三六
	一,九九二	四,二九一	六,二八三	二,二五九
	一,九五四	四,一七七	六,一三二	二,〇二一
	一,四五七	三,六四七	五,一〇四	一,六八一
合計	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇
	一,五三八	三,三三七	四,八五五	一,八〇〇
	一,八二二	三,九七一	五,七八三	二,三三三
	一,九七七	四,三六五	六,三六三	二,〇三六
	一,九九二	四,二九一	六,二八三	二,二五九
	一,九五四	四,一七七	六,一三二	二,〇二一
	一,四五七	三,六四七	五,一〇四	一,六八一
合計	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇
	一,五三八	三,三三七	四,八五五	一,八〇〇
	一,八二二	三,九七一	五,七八三	二,三三三
	一,九七七	四,三六五	六,三六三	二,〇三六
	一,九九二	四,二九一	六,二八三	二,二五九
	一,九五四	四,一七七	六,一三二	二,〇二一
	一,四五七	三,六四七	五,一〇四	一,六八一
合計	一,一三〇	三,〇七四	四,一九四	一,四〇〇

種別	有料工事		無料工事		合計
	件數	工費	件數	工費	
十一月	一,一三六	三,二二九	四,三六五	一,三三三	二,五五二
十二月	一,一三三	三,〇三三	四,一四五	一,三六三	二,四〇七
一月	九三九	二,二六六	三,三三五	一,三八三	二,四九七
二月	八六九	二,三三三	三,一九一	一,二二二	三,六三六
三月	一,〇九一	二,七〇八	三,七七九	一,四六四	二,九九九
合計	一,七〇六	四,〇四五	五七,五二七	二〇,一九四	三六,九九六

(七) 給水工事及修繕工事總工費

昭和十一年度

種別	有料工事		無料工事		合計
	件數	工費	件數	工費	
給水工事	一七八	一七八,九六六	九	九,五八八	一七〇,五五四
修繕工事	二〇	一九四,七八〇	一六	一六,〇三三	二〇六,九八八
合計	一九八	三,八九六	二五	二五,六二一	四,一七三

第七章 量水器

(一) 量水器取付及撤去個數

(イ) 月別量水器取付個數

月別	口徑		計	撤去數	計(取付數)	三	二	一	十	九	八	七	六	五	四	月
	七	一三														
△	二	二														
七〇三〇	八七	七八五七														
△	六	六														
二二	三九	一六〇														
二二	二九	二四二														
一五二	一五	一六六														
八〇	二八	三二二														
二二	二五	二一一														
一	一	一														
七、四三八	一、〇〇〇	八、四六八														

備考 △印ハ取付減ヲ示ス

昭和十一年度

(ロ) 月別量水器撤去個數

昭和十一年度

月別	口徑		計	三	二	一	十	九	八	七	六	五	四	月
	七	一三												
△	二	二												
八二七	六五	三三												
△	六	六												
三九	三	一四												
二二	二九	二四二												
一五二	一五	一六六												
八〇	二八	三二二												
二二	二五	二一一												
一	一	一												
八〇	九四	一〇七												

(ハ) 量水器取付累計表

年 度	口 徑	
	七 耗	一 三 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	一、九七〇	二、六三二
昭和十一年度	△ 二	△ 六
累 計	一、九七二	二、六三八
年 度	口 徑	
	一 六 耗	二 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	六三二	五、二二三
昭和十一年度	△ 六	二二
累 計	六三八	五、二四五
年 度	口 徑	
	二 五 耗	四 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	四、八四七	一、六九九
昭和十一年度	一一二	一五二
累 計	四、九五九	一、八五一
年 度	口 徑	
	五 〇 耗	六 五 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	二〇五	一
昭和十一年度	二八	一
累 計	二三三	二
年 度	口 徑	
	七 五 耗	一 〇 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	六	七二
昭和十一年度	三	七
累 計	九	七九
年 度	口 徑	
	一 〇 〇 耗	一 二 五 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	七二	四
昭和十一年度	一	一
累 計	七三	五
年 度	口 徑	
	一 二 五 耗	一 五 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和十一年度	四	一
昭和十一年度	一	一
累 計	五	二
年 度	口 徑	
	一 五 〇 耗	計
自明治四十四年度 至昭和十一年度	一	一四九、〇九九
昭和十一年度	一	六、三三三
累 計	二	一五五、四三二

備考 △印ハ取付減ヲ示ス

(二) 量水器購入数

年 別	口 徑	
	七 耗	一 三 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	二、〇〇〇	二、〇〇〇
昭和十年度	六、〇〇〇	六、〇〇〇
昭和十一年度	六、〇〇〇	六、〇〇〇
計	二、〇〇〇	二、〇〇〇
年 別 <th colspan="2">口 徑</th>	口 徑	
	一 六 耗	二 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	一、九六六	六、二六〇
昭和十年度	一、九六六	六、二六〇
昭和十一年度	一、九六六	六、二六〇
計	一、九六六	六、二六〇
年 別 <th colspan="2">口 徑</th>	口 徑	
	二 五 耗	四 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	六、三〇〇	一、三四四
昭和十年度	一〇〇	一〇〇
昭和十一年度	一〇〇	一〇〇
計	六、三〇〇	一、三四四
年 別 <th colspan="2">口 徑</th>	口 徑	
	五 〇 耗	六 五 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	二四三	一
昭和十年度	一五	一
昭和十一年度	一五	一
計	二七三	二
年 別 <th colspan="2">口 徑</th>	口 徑	
	七 五 耗	一 〇 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	六	八六
昭和十年度	一五	三
昭和十一年度	一五	三
計	三六	九二
年 別 <th colspan="2">口 徑</th>	口 徑	
	一 〇 〇 耗	一 二 五 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	八六	二
昭和十年度	四	一
昭和十一年度	四	一
計	九四	四
年 別 <th colspan="2">口 徑</th>	口 徑	
	一 二 五 耗	一 五 〇 耗
自明治四十四年度 至昭和九年度	二	一
昭和十年度	一	一
昭和十一年度	一	一
計	四	三

(三) 月別量水器受検数

昭和十一年度

受検月日	口 徑											
	七 耗	一 三 耗	二 〇 耗	二 五 耗	四 〇 耗	五 〇 耗	七 五 耗	一 〇 〇 耗	一 二 五 耗	一 五 〇 耗	計	
四月		二、一〇〇									二、一〇〇	
五月		七〇									七〇	
六月		一、八〇〇									一、八〇〇	
七月		一、一〇〇									一、一〇〇	
八月		一、一〇〇									一、一〇〇	
九月		一、〇〇〇									一、〇〇〇	
十月		一、〇〇〇									一、〇〇〇	
十一月		二、〇〇〇									二、〇〇〇	
十二月		四〇〇									四〇〇	
一月		一、三〇〇									一、三〇〇	
二月		一、三〇〇									一、三〇〇	
三月		一、三〇〇									一、三〇〇	
計	二、六〇〇	二、一〇〇	一、九〇〇	六、三〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	三〇	九〇	二〇	二〇	二、一〇〇	

備考 各項受検数ノ左側数字ハ其ノ不合格数ヲ示ス 合格率平均九九%  
此ノ外委託修履檢定九件五、六五〇個

(四) 月別量水器作業個數

昭和十一年度

作業別	月別												計
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
分解數	一、五二七	一、六九三	一、五二四	一、五五五	一、六〇〇	一、八八九	一、八三三	一、八七九	一、五八二	一、七九九	一、五二〇	一、九七二	一九、七三三
組立數	一、五九七	一、七一九	一、七四四	一、六二五	一、八八八	一、六二五	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、八九二	二、〇三三	一、九四七	二、三二九	三三、四五九
試驗數	四、一九一	五、九三三	五、〇三三	五、七〇三	五、二五一	五、九〇〇	六、八九九	五、〇三五	七、三三四	五、一九七	六、五二二	七、五三七	六九、三六四
整調數	二、六〇七	一、九九九	一、八九二	一、六〇三	一、九九九	一、八七六	二、〇七〇	二、〇〇四	一、三三六	二、二六二	二、二六二	二、七五五	二四、九三二
取換數	一、三三五	一、七三三	一、九六二	一、六三七	一、八九九	二、二〇〇	一、九四四	二、〇三九	二、三三四	一、七五三	一、七七八	二、〇三三	二二、七四六

備考 取換數へ檢定及異狀取換ノ合計トス

(五) 量水器異狀取換月別表

昭和十一年度

口径別	月別												計
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
七〇	八	九	一四	七	二二	一〇	一七	六	四	五	六	九	一〇六
一三〇	九五二	六八一	七六五	八四〇	九八	一〇八九	一、〇一四	七六六	九二	七四〇	七九八	七〇七	一〇、一八一
一六〇	五	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
二〇〇	三九	二二	二二	三六	五三	五〇	五五	二七	三七	二七	四七	六四	四七七

備考 總計中ニハ工事係ニ依ル引揚個數及ビ引揚後調査ノ結果異狀認メ難キモノヲ合シテ一、三九五個ヲ含ム

(六) 量水器取外異狀別計數

裝置總數	異狀取外總數	異狀別						裝置數ニ對スル異狀率	備考
		遲緩	亂行	不進行	指針異狀	文字破損	其他		
一四三、〇一四	一、〇七九	三、三二二	一〇九	三、七六一	一、三三二	一四九	一、六八八	七%	異狀量水器使用期間平均六ヶ月

計	異狀別												
	遲緩	亂行	不進行	指針異狀	文字破損	其他	裝置數ニ對スル異狀率	備考					
二五〇	二六	三八	五六	四二	三三	三〇	四〇	四六	二八	二七	四九	五四	四六八
四〇〇	二二	一八	一三	一六	一四	八	八	六	三	二	一四	四九	一八四
五〇〇	二	三	三	六	四	一	一	一	三	二	二	三	二二
七〇〇	一	二	一	二	一	一	一	一	二	一	一	一	九
一〇〇〇	一	二	一	四	二	一	一	三	二	一	一	一	一三
一二五〇	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
一五〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二

(七) 量水器及給水工用材料検査數

昭和十一年度

六〇

検査材料名	検査數量		備考
	市購入材料	私工事人購入材料	
鉛管	一五、八〇〇疋	五〇、四五三米	合金鉛管及純鉛管、改造鉛管ヲ含ム 屬具ハD級曲管、サドル、キヤツプ、キボルトジョイント、消火栓用管、一鈎短管等 エルボ、ニツプル、チーズ、ソケツト、ユニオン等 〔接合管、止水栓、専用栓、自在給水栓、撤水栓、ストップバルブ、逆制弁、クランプ、屋内外防火栓、セツトパイプ、カッブリング、水栓弦、専用栓上部、止水栓上部、チユーブナツトケレツプ等〕 撤水栓、防火栓、止水栓、量水器鐵蓋等 共用栓鍵、押鐵、フランゲ、ホルト、シヤロ、錫、鉛、鋼管用座金、埋金、引拔鎖鑰等 各種各口徑ヲ含ム ダイヤル及ドライビングウオーク用 文字板支柱、及ドライビングウオーク止ネザ類ストレーナーホルト、ナツト類 スタフイングホックス、指示針、丸硝子、ストレーナー等
亞鉛鍍鋼管	六七、二六米	三、五七五・〇四米	
エタニツトパイプ及其ノ屬具	二〇〇米		
鋼管繼手類	四六個		
栓類及其ノ屬具	五、二八九個	一四二個	
鐵蓋類	四三、六六個	三、三七個	
其ノ他類	二、五〇三個	五、三四九個	
量水器部分品類計	二、七五五點	六點	
內譯	三三、七〇點		
商車類	七、三五個		
文字板類	一四、〇六枚		
翼車	二、八〇〇個		
ビホツト	九、八二〇個		
支柱及捻子ビス類	二八、八〇〇個		
其他	七〇、八六〇點		

第八章 給水狀況

(一) 給水使用戶數

昭和十一年度

使用種別	使用種別別							計
	上京區	左京區	中京區	東山區	下京區	右京區	伏見區	
家事營業用	三三、五五五	一五、六六八	二四、八九七	一一、五四六	三〇、三四四	四、六三二	五、四八一	一三六、一七三
官公署用	八七	六九	四七	四六	一一	一四	一八	三九二
學校及病院用	七七	四八	三七	三四	五〇	一九	八	二七三
湯屋用	一一〇	四五	七六	五三	一九	一五	一六	四二五
原動力用	〇	一	〇	一	一	一	一	四
噴水泉池	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其他娛樂用	(二六)	(九)	(七)	(八)	(八)	(二)	(一)	(六〇)
計	三三、八六〇	一五、八五〇	二五、〇五六	一一、六七八	三〇、六二五	四、六七九	五、五三三	一三七、二六三
共同家事營業用	一一、七〇四	二、九五八	五、二八五	六、一九二	六、四六二	一、八〇九	二、三九六	三六、八〇四
合 計	四五、五六四	一八、八〇八	三〇、三四三	一七、八六九	二七、〇七六	六、四八八	七、九二九	一五四、〇六七

備考 別檢ハ括弧ヲ附シタリ(合計欄ニ含マズ)

六一

昭和十一年度

(二) 給水栓數

合	防火栓 私公 設置	特別 用途 公共 用	撒水 街 用	共用 一栓 當り 使用 戶數	共用 家事 營業 用	專用						計								
						計	噴 水 池	原 動 力 用	湯 屋 用	學校 及 病 院 用	官 公 署 用		家事 營業 用	使用 種別 區別						
															計	其他 娛樂 用	噴 水 池	原 動 力 用	湯 屋 用	學校 及 病 院 用
計	四、七六八	四、四八八	(四)	(四)	(二、九四九)	三六、一八四	(一八)	(一)	二七	八四	一〇八	三五、八七四	上京區	一九、三〇一	二九、五三三	一五、〇〇八	二七、三五〇	五、九七六	七、三四〇	一四九、四七〇
左京區					(二、九四九)	一七、七五〇	(一)		五七	七六	一七、五五九	一六、六四六	中京區	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四
中京區					(二、九四九)	一、〇四二	(一)		五七	六二	一、六六六	一、五五九	東山區	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四
東山區					(二、九四九)	一、〇四二	(一)		五七	六二	一、六六六	一、五五九	下京區	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四
下京區					(二、九四九)	一、〇四二	(一)		五七	六二	一、六六六	一、五五九	右京區	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四
右京區					(二、九四九)	一、〇四二	(一)		五七	六二	一、六六六	一、五五九	伏見區	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四
伏見區					(二、九四九)	一、〇四二	(一)		五七	六二	一、六六六	一、五五九	計	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四
計	四、七六八	四、四八八	(四)	(四)	(二、九四九)	三六、一八四	(一八)	(一)	二七	八四	一〇八	三五、八七四	計	六、一八五	一、九二一	(二、八〇〇)	二六、八三〇	二、四一六	二、八〇五	二二、七九四

備考 一、公設防火栓ハ各區境界ニ於ケルモノアルヲ以テ其ノ總計ノミヲ掲グ 二、別栓ハ括弧ヲ附シタリ(合計欄ニ含まズ)

(三) 給水使用戶數、栓數累計及增加數

昭和十一年度

月別	種別	使用戶數累計		使用戶數增加數		栓數累計		栓數增加數	
		專用	共用	專用	共用	專用	共用	專用	共用
四月	月	一一、六〇〇	三六、〇四四	四七、六四五	五二二	一一、七二二	五三七	一一、七二二	五二二
五月	月	一一、〇六一	三六、一三四	四八、九九五	四六一	一一、三三一	五五〇	一一、三三一	四六一
六月	月	一一、二四二	三六、二四九	四九、九九一	六八一	一一、三九七	五五〇	一一、三九七	六八一
七月	月	一一、三六〇	三六、三七七	四九、六六七	七八一	一一、四六六	五五〇	一一、四六六	七八一
八月	月	一一、三八九	三六、四〇八	五〇、三二七	八二一	一一、五三二	五五〇	一一、五三二	八二一
九月	月	一一、四二五	三六、五〇九	五〇、九四四	八二一	一一、五九九	五五〇	一一、五九九	八二一
十月	月	一一、五五九	三六、七〇二	五一、八二〇	七四四	一一、六六六	五五〇	一一、六六六	七四四
十一月	月	一一、六三二	三六、七七四	五一、三六三	四三三	一一、七五〇	五五〇	一一、七五〇	四三三
十二月	月	一一、九六二	三六、七七一	五一、八三九	一五八	一一、九〇八	五五〇	一一、九〇八	一五八
一月	月	一二、一〇〇	三六、八七九	一一、〇八三	一五八	一二、〇六〇	五五〇	一二、〇六〇	一五八
二月	月	一二、八八五	三六、七五二	一一、六二七	一五八	一二、二一八	五五〇	一二、二一八	一五八
三月	月	一二、二六三	三六、八〇四	一一、四〇七	一五八	一二、〇八〇	五五〇	一二、〇八〇	一五八
計		一一、六〇〇	三六、〇四四	四七、六四五	五二二	一一、七二二	五三七	一一、七二二	五二二



(四) 開閉栓及其率

昭和十一年度

使用種別	栓 用 專										
	計	噴水	噴水	噴水	噴水	噴水	噴水	噴水	噴水	噴水	
別	開	閉	開	閉	開	閉	開	閉	開	閉	
上京區	三、八六〇	二、三三四	九三%	(六)	(一〇)	二二〇	七七	三七	三、五五五	二、二八九	九三%
左京區	一、五八五〇	一、九〇〇	八九%	(九)	(一)	二四五	四八	九九	一、五八八	一、八七二	九三%
中京區	二、五〇五八	一、七三三	九三%	(七)	(三)	五七	三七	四七	二、四八七	一、七四九	九三%
東山區	二、一六七八	一、〇一一	九二%	(八)	(一)	三	八	四六	二、一五四	一、〇〇〇	九三%
下京區	二、〇、六二五	三、四七七	八五%	(八)	(一)	二〇九	五〇	四一	二、〇、三三四	三、四六一	八五%
右京區	四、六七九	五、一七	九〇%	(一〇)	(一)	六五	一九	一四	四、六三二	五、〇九	九〇%
伏見區	五、五三三	八〇	八七%	(三)	(一)	三六	七八	一八	五、四八一	八〇	八七%
計	二七、二六	一一、八二	九〇%	(六)	(三)	四三	三六	四九	二六、一七	一一、六八	九〇%

合 計	防 火 栓		特 別 栓					共 用 事 業 用 事	
	開	閉	アール用	途上公衆用	街 厠 用	撒 水 用	開	閉	
率	率	率	率	率	率	率	率	率	
三、七、九二四	二、四〇六	九三%	(四)	(三)	(三)	(三)	九八%	三、九〇	
一、六、八八八	一、九七二	八九%	(五)	(五)	(二)	(二)	九五%	九九九	
二、七、〇〇七	一、八四〇	九三%	(四)	(二)	(六)	(一)	九七%	一、八六八	
一、三、六二九	一、〇五九	九二%	(一)	(一)	(八)	(二)	九九%	一、九〇二	
二、三、〇三二	三、七二四	八六%	(一)	(三)	(四)	(六)	九三%	二、三三四	
五、三七四	五、五三	九〇%	(二)	(一)	(一)	(七)	九五%	六九二	
六、四三三	八七三	八八%	(一)	(一)	(一)	(七)	九五%	八七七	
一、〇、一三八	二、四二七	九二%	(四)	(二)	(八)	(二)	九六%	二、六三二	

備考  
 一、公設防火栓ハ各區境界ニ於ケルモノアルヲ以テ其ノ總計ノミヲ掲ケ  
 二、防火栓ハ合計欄ヨリ控除セリ  
 三、別栓ハ括弧ヲ附シタリ(合計欄ニ合マズ)

(五) 各區別推定使用水量 (單位立方米)

使用種別	各區別										
	上京區	左京區	中京區	東山區	下京區	右京區	伏見區	計	專用	共用家事營業用	特別撤水用
家事營業用	九、二八、三六八	四、三九、二〇〇	六、九二、四三三	三、四五、一四二	五、三八、七六一	八、三九、五九〇	一、二〇、八七三〇	三〇、七六、二一九	—	—	—
官公署用	二九、八八九	一六、五三三	一五八、三三八	一一、六六八	二九八、一四三	三、〇五六	二七、九五二	一、〇八、八四七	—	—	—
學校及病院用	四〇〇、五三九	九七、三三八	二〇七、五三六	一六九、一九八	二六二、一三八	六、二二八	三、七六八	二、〇七〇、七七八	—	—	—
湯屋用	四六六、三七九	一六、九六三	三三三、六六一	二三三、四六六	四六八、三七九	六五、六六〇	五六、九〇八	一、八二二、三三五	—	—	—
原動力用	二、六六六	—	二、一八〇	—	一五、三〇三	—	—	一〇、〇九九	—	—	—
噴水泉池用	—	—	—	一、六四三	三三八	一六六	—	—	—	—	—
其他娛樂用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一〇、五〇、四六六	五、四六、一五九	七、六〇、三六八	三、六五、二九五	六、三三、〇六一	九九七、六〇〇	一、三六、五二二	三五、七六、四〇一	一、七五七、八八一	—	—
共用家事營業用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別撤水用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別街路用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別工用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	一一、二七、八二二	五、九六、六四二	八、四七、七二〇	四、五七、四二二	七、四三、一九四	一、二四一、〇九〇	一、五九、八五四	四一、四三、七九一	—	—	—

昭和十一年度

(六) 各區別給水普及率

昭和十一年度

區別	市内總戶口		給水使用戶口		普及率	
	戶數	人口	戶數	人口	普及率	普及率
上京區	五五、二六〇	二六、九〇〇	四五、五六四	二二、五九七	八二・四%	八二・四%
左京區	二七、五三三	一一、四〇〇	一八、八〇八	八七、〇三四	六八・三%	六八・三%
中京區	三四、七〇五	一八、五、一〇〇	三〇、三四三	一六、八一九	八七・四%	八七・四%
東山區	二六、四八八	一一、九〇〇	一七、八六九	八〇、八五七	六七・六%	六七・六%
下京區	四八、六八八	一四、〇〇〇	二七、〇七六	一三、七〇一	五五・六%	五五・六%
右京區	一七、八四九	八、九〇〇	六、四八八	二九、七六六	三六・三%	三六・三%
伏見區	一九、八四六	九、四〇〇	七、九一九	三六、四六六	三九・九%	三九・九%
計	二二〇、二六八	一、一〇一、七〇〇	一五四、〇六七	七四、五、六六〇	六六・九%	六六・九%

備考 總人口ハ昭和十一年十月一日現在調、内閣統計局發表全國推計人口ヲ基礎トシ總戶數ハ六大都市協定ノ推計方法ニ依ル  
世帯數ヲ基礎トス  
給水使用戶口ハ昭和十一年度末現在調

(七) 給水普及状況累年比較表

年度別	種別		給水戸数			給水人口	普及率	
	市内	總戸口	專用	共用	計		戸数	人口
昭和十一年度	二二〇,二三八	一,一〇七,四〇〇	一一七,二六三	三六,八〇四	一五四,〇六七	七四五,五六〇	六六・九%	六三・三%
昭和十年度	二二四,六六三	一,〇八〇,五九二	一一一,〇七八	三六,〇五六	一四七,一三四	七〇七,三三八	六五・四%	六三・四%
昭和九年度	二二四,三一九	一,〇五二,五〇〇	一一五,六六四	三五,三三五	一五〇,九九九	七二二,三三七	六七・三%	六三・七%
昭和八年度	二二八,六七五	一,〇二六,九〇〇	一二〇,五〇七	三四,九五五	一四四,四六二	七〇〇,〇九六	六六・〇%	六二・一%
昭和七年度	二〇七,〇三三	一,〇〇〇,一七〇	一〇三,九〇五	三四,九一九	一三八,八二四	六七〇,七二四	六七・〇%	六三・〇%
昭和六年度	一九六,五九三	九七六,九〇〇	九八,九三七	三五,四八二	一三四,四一九	六六一,六八五	六八・三%	六三・八%
昭和五年度	一五一,三〇四	七六五,一四二	九二,九四四	三五,七二九	一二八,六七三	六四五,九三八	八四・四%	八四・四%
昭和四年度	一四八,二八一	七五五,一〇〇	八八,〇五四	三五,七四一	一二三,七九五	六三〇,一一六	八三・四%	八三・四%
昭和三年度	一四二,一八七	七三六,〇〇〇	八二,七六〇	三五,八三五	一二八,五六五	六一三,二二六	八三・四%	八三・三%
昭和二年度	一三九,四九二	七二七,〇〇〇	七六,五八八	三五,〇七八	一一一,六六六	五七九,〇三三	八〇・七%	八〇・七%
昭和元年度	一三五,九九九	六九八,四〇〇	七〇,〇六六	三五,四五二	一〇六,五二八	五四六,四三七	七八・三%	七五・四%
大正十四年度	一三三,二七二	六七九,九六三	六三,六三六	三五,二一七	九九,八五三	五二二,七八一	七八・四%	七五・四%
大正十三年度	一二五,〇〇五	七二〇,〇〇〇	五六,五五一	三五,八七五	九二,四二六	五二五,二七九	七三・九%	七三・九%

大正十二年度	一一〇,九五二	六九〇,三〇〇	四二,二九二	三五,三三三	八四,六二四	四八二,二九九	六九・九%	六九・八%
大正十一年度	二六,五九九	六七〇,八二七	四二,三三四	三三,二一八	七五,五〇二	四三四,一三六	六四・七%	六四・七%
大正十年度	一一,一七〇	六五一,九二二	三六,四五〇	二九,七三三	六六,一七一	三八七,七六二	五九・五%	五九・四%
大正九年度	二五,一八〇	六四三,二四二	三三,〇〇四	二七,六二五	六〇,六二九	三二一,〇七八	四八・三%	四八・三%
大正八年度	二八,五六三	六九〇,五〇三	三二,二六一	二六,四〇七	五七,五六八	三〇九,七二五	四四・七%	四四・八%
大正七年度	一一三,一四五	六六八,九〇〇	二九,四九九	二四,八〇〇	五四,〇六九	二九五,七五七	四四・二%	四四・一%
大正六年度	九七,九七八	五六二,八四七	二七,五四六	二二,六六四	五〇,二二〇	二九三,九四五	五一・二%	五一・二%
大正五年度	九六,〇〇〇	五四九,七七〇	二五,六三五	二一,六四九	四七,二八四	二七〇,四六四	四九・二%	四九・一%
大正四年度	九三,八六四	五二九,一五三	二二,八六五	一七,七一一	四〇,五七六	二三三,九七六	四三・二%	四四・〇%
大正三年度	九一,五五八	五二七,三三四	一七,九〇七	一三,一九三	三一,一〇〇	一七五,七二五	三三・九%	三三・九%
大正二年度	九一,一〇五	五七七,九一九	九,二六六	八,一〇四	一七,三六〇	九六,六九五	一九・〇%	一九・〇%
大正元年度	九一,〇四三	四九五,二九四	三,九八四	二,八〇四	六,七九二	三七,八八〇	七・五%	七・六%

備考 給水戸数ハ昭和九年度迄ハ開閉檢合計ヲ掲ゲタルモ昭和十年度ヨリ之ヲ開檢ノミニ改正セリ、給水人口亦同シ

第九章 使用料

(一) 各區別推定使用料收入 (單位圓)

使用種別	上京區		左京區		中京區		東山區		下京區		右京區		伏見區		計
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	
家事營業用	四二〇,七〇九	一八九,二三四	三〇九,七六〇	一四〇,九三三	三九,九〇三	三七,八五七	五四,四四	一,六二,六九八	四四,一三七	一,二二〇	一,一七〇	一,一七〇	一,一七〇	一,一七〇	一,一七〇
官公署用	九,九五六	六,九六七	六,八六二	四,八五一	二,九二四	一,三四五	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇	一,二二〇
學校及病院用	一五,〇〇九	三,九六一	七,四五六	六,〇八三	九,四一七	二,一九五	一,一七七	一,一七七	一,一七七	一,一七七	一,一七七	一,一七七	一,一七七	一,一七七	一,一七七
湯屋用	一四,〇〇四	六,二六九	一〇,五六八	八,一〇二	一四,九〇六	二,〇〇〇	一,八三三	一,八三三	一,八三三	一,八三三	一,八三三	一,八三三	一,八三三	一,八三三	一,八三三
原動力用	二〇八	—	一七四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
噴水泉池	二〇八	—	一七四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他娛樂用	二二九	二六三	九五	四〇七	八四	四二	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	四五一,〇一七	二三五,六〇四	三三四,九三五	一六〇,三六五	二七八,四五四	四三,五二八	五八,六六三	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五	一,五五二,五八五
共用家事營業用	四九,四四二	二二,二六七	二二,二九一	二四,九六五	二五,〇八二	六,二二八	七,四八〇	一,四七,七四五	一,四七,七四五	一,四七,七四五	一,四七,七四五	一,四七,七四五	一,四七,七四五	一,四七,七四五	一,四七,七四五
特別撒水用	九〇七	四九五	六八三	二九七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七	一,四三七
街廁用	一八二	八七	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
特別用	七七七	六九八	八七八	—	一,六九九	二九二	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私設防火栓	一,一六一	一,二三三	一,七七六	九五	一,五四〇	六四	—	—	—	—	—	—	—	—	—
演習使用料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	五〇三,四八六	二五〇,三六三	三六〇,六八八	一八六,七〇三	三〇八,二六四	五〇,二六七	六六,四〇二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二	一,七三六,二九二

昭和十一年度

(二) 使用料及手數料調定額及收入額對照

昭和十一年度

種類	種類別	調定額		收入額		收入率	
		件數	金額	件數	金額	件數	金額
專用栓	七〇〇,九三三	一,六〇四,三六〇,〇八〇	六九四,九五二	一,五七一,七三六,八三〇	九九・一%	九七・九%	
共用栓	六九,四四三	一五二,六三九,五〇〇	六七,〇五八	一四七,七四五,六二〇	九六・九%	九六・七%	
防火栓	一,〇〇九	七,一一〇,五〇〇	九四四	六,八一〇,〇〇〇	九三・五%	九三・六%	
手數料	五六,七七一	一六,八三五,八八〇	五一,〇九四	一五,五八三,〇八〇	九〇・〇%	九一・五%	
過年度使用料及手數料	三三,五三四	六八,三六五,〇〇〇	八,三三四	三三,七二二,〇〇〇	四七・五%	三三・二%	

(三) 月別使用料調定額收入額及收入率

昭和十一年度

月別	調定額		收入額		收入率	
	專用栓	共用栓	專用栓	共用栓	專用栓	共用栓
七月	一三二,六四五,五〇〇	一三,三五八,七二〇	一〇七,四八六,七二〇	九,六四六,八〇〇	八一・六%	七二・七%
六月	一一五,七七七,〇〇〇	一一,一〇一,〇〇〇	九七,九四八,〇五〇	一〇,〇五七,八二〇	七七・八%	八九・七%
五月	一一四,八四二,六二〇	一一,二六二,二四〇	九四,一四三,九九〇	八,四〇一,七九〇	八一・九%	七四・八%
四月	一一六,七九三,五八〇	九,八六一,五〇〇	二四,一三五,〇七〇	八,〇三二,八三〇	二〇・六%	一八・三%

種別	調定額		収入額		収入率	
	即納金	年賦金	即納金	年賦金	即納金	年賦金
八月	一三八,九九・二八〇	一五二,三九五・六五〇	一〇八,五二六・八四〇	一一,六九八・四四〇	七八・三	八七・九
九月	一五二,三九五・六五〇	一六,二二七・七六〇	一四八,五七四・九一〇	一三,七六〇・〇五〇	九七・四	八四・八
十月	一五三,六二六・九八〇	一五,四三三・六四〇	一三〇,七六一・一八〇	一九,〇七五・九七〇	一五二・一	一三三・七
十一月	一四四,三三〇・九六〇	一五,〇六〇・三三〇	一四四,〇三五・六九〇	一四,四七四・九〇〇	九九・八	九六・一
十二月	一三九,一六三・三三〇	一五,五二六・一〇〇	一六七,三六四・八七〇	一八,一七九・七九〇	一三〇・一	一四四・一
計	一三五,〇一九・三〇〇	一四,一一一・五〇〇	一四一,〇〇〇・〇〇〇	一八,八五二・〇〇〇	九九・三	九七・八
三	一三三,〇七〇・九二〇	一〇,九七二・〇三〇	一三一,六六九・五九〇	一一,四二二・〇四〇	九七・四	一〇四・一
二	一三二,二五二・一一〇	一一,四九九・六〇〇	一三六,二二五・〇二〇	一八,三七四・二九〇	一〇〇・〇	一〇四・一
一	一六〇,四三〇・〇八〇	一五,二六三・九五〇	一五七,七三六・八三〇	一四,七四五・六二〇	九七・九	一〇四・一

備考 十月一日ヨリ集金制實施

(四) 月別工費調定額収入額及収入率

昭和十一年度

種別	調定額		収入額		収入率	
	即納金	年賦金	即納金	年賦金	即納金	年賦金
八月	二〇,六〇九・七三〇	五・九〇〇	一〇,〇九四・六三〇	五・九〇〇	四八・九	一〇〇・〇
九月	二七,四九九・〇〇〇	三五・八四〇	一四,四二四・九〇〇	一六・九〇〇	五二・四	四一・二
十月	三六,〇三〇・〇一〇	三一・五〇〇	一九,八六五・四七〇	一五・二一八	五五・〇	三九・五
十一月	二八,八二二・〇一〇	—	二七,三三四・〇〇〇	二,五〇〇・〇〇〇	五九・三	二七・一
十二月	二五,五九三・三七〇	—	一三,四五二・四〇〇	—	五二・五	—
計	一三〇,六〇九・七三〇	九二・一四〇	一〇〇,九四一・六三〇	一五,二七四・〇〇〇	四八・九	一〇〇・〇

種別	調定額		収入額		収入率	
	即納金	年賦金	即納金	年賦金	即納金	年賦金
九月	二七,三二二・七九〇	—	一九,六三三・七五〇	三三九・五五〇	七二・八	八四・五
十月	二七,〇二五・七四〇	—	二二,三〇〇・四三〇	—	八二・一	—
十一月	二五,四七四・八八〇	一七・一八九	一八,八二六・四〇〇	五七・一八〇	七三・九	—
十二月	二二,九九二・一九〇	—	二二,九九〇・三三〇	—	一〇〇・〇	—
一	二〇,七九八・八三〇	—	一九,〇三九・〇五〇	一,七五八・八九〇	九二・六	—
二	一八,〇三八・六三〇	—	一五,五六四・〇〇〇	二,四八八・七三〇	八五・〇	—
三	△二五,四九九・六六〇	△二五・五五〇	七,六六七・九〇〇	—	—	—
計	一五三,九八一・二七〇	九一・一八〇	一五三,九八一・二七〇	九〇・一八〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

(五) 使用料収入額累年比較表

年度別	種別	專用使用料	共用使用料	私設防火栓	合計
昭和十一年度	種別	一、五七二・七六・八三〇	一、四七七・七四五・六三〇	六、八〇〇・〇〇〇	一、七六六・二九二・四六〇
昭和十年度	種別	一、四八四・八四七・三七〇	一、四七七・九五四・三四〇	六、四三七・五〇〇	一、六三九・一〇九・二二〇
昭和九年度	種別	一、五三二・八八・九八〇	一、六三三・五五一・二八〇	六、三三八・〇〇〇	一、七〇一・七六二・二六〇
昭和八年度	種別	一、三二〇・三九五・一四〇	一、四四六・二二八・一〇〇	六、四五四・五〇〇	一、四六三・〇六三・四四〇
昭和七年度	種別	一、二五一・六八二・〇三〇	一、四四四・六〇五・四五〇	五、九九九・五〇〇	一、四〇二・三〇六・九八〇
昭和六年度	種別	一、三三二・三六六・二六〇	一、四五七・七四四・一七〇	六、〇〇〇・〇〇〇	一、三七四・一三〇・四三〇
昭和五年度	種別	一、二五三・五七三・九三〇	一、五〇七・七六四・四六〇	五、九三二・八〇〇	一、四一〇・二七二・一九〇
昭和四年度	種別	一、一九八・〇四一・九二〇	一、四八〇・〇四三・〇〇〇	五、二八九・六〇〇	一、三五一・三七四・五二〇

年度別	調定額	収入額	収入率
昭和三年度	一、五五四、四四〇	一四九、八六三、六〇〇	一、〇〇九、〇一一、四六〇
昭和二年度	一、〇五一、九七九、七六〇	一四八、〇四九、九〇〇	一、〇〇四、四九九、六七〇
昭和元年度	一、〇〇八、五六九、五八〇	一四九、〇〇九、九〇〇	一、〇六一、七六八、四三〇
大正十四年度	九二八、一五八、九七〇	一四七、九七一、〇〇〇	一、〇六九、九〇七、〇七〇
大正十三年度	八七、六六一、三七〇	一三五、六七四、五九〇	九六七、〇五〇、〇六〇
大正十二年度	七一、三四五、〇〇〇	一一、五九、〇〇〇	八三六、〇五九、二六〇
大正十一年度	六四〇、〇二八、三五〇	一〇四、九九五、八五〇	七四七、九八六、七〇〇
大正十年度	五二九、八八一、〇〇〇	八九、三三六、六四〇	六二二、七六三、六四〇
大正九年度	四四六、五九五、三六〇	七七、五六〇、〇八〇	五三六、二二二、九四〇
大正八年度	三二〇、五〇七、七〇〇	五五、九〇九、八〇〇	三六八、〇四〇、五〇〇
大正七年度	二六〇、四五三、四七〇	五一、四〇〇、七九〇	三二二、七五五、二六〇
大正六年度	二三四、六〇三、八六〇	四八、七七一、四四〇	二七五、一六八、三三〇
大正五年度	二〇二、四五九、五四〇	四二、七七八、四五〇	二四六、六三三、九九〇
大正四年度	一七一、七七二、七五〇	二五、五八八、九〇〇	一九八、八五五、五三〇
大正三年度	一四三、六九三、〇七〇	一七、六七八、三六〇	一六三、四九九、四三〇
大正二年度	八八、五三三、九六〇	八、九七三、〇四〇	九七、一〇八、〇〇〇
大正元年度	四二、二八五、二五〇	一、四六五、一五〇	四三、一六八、四〇〇

(六) 使用料調定額及収入率累年比較表

年度別	調定額	収入額	収入率
昭和十一年度	一、七六四、二二〇 <sup>円</sup>	一、七三六、二九二 <sup>円</sup>	九七・五 <sup>%</sup>
昭和十年度	一、六五八、五七九	一、六三九、〇〇九	九八・八
昭和九年度	一、七四三、二四五	一、七〇一、七六一	九七・六
昭和八年度	一、四七七、五二三	一、四六三、〇六一	九九・〇
昭和七年度	一、四三三、六〇〇	一、四〇〇、四四六	九七・八
昭和六年度	一、四〇〇、七九九	一、三七四、二〇〇	九八・〇
昭和五年度	一、四三三、七九二	一、三四四、三三五	九三・七
昭和四年度	一、三六六、六八〇	一、二九三、六七五	九三・二

備考 昭和五年度迄ハ市外給水ヲナシタルモ本表中ニハ之ヲ含マズ

(七) 一箇所當り平均使用料累年比較表

年度別	種別	装置箇所数	調定額	一ヶ所平均額	収入額	一ヶ所平均額
昭和十一年度	専用	二二九、〇八四	一、六〇四、三六〇 <sup>円</sup>	二二、四二八 <sup>円</sup>	一、五七一、七三六 <sup>円</sup>	二二、一七六 <sup>円</sup>
	共用	一三、〇四四	一五二、六六九	一一、七〇一	一四七、七四五	一一、三二六
	私設防火栓	二、六三四	七、二二〇	二、七〇三	六、八一〇	二、五八五



昭 和 十 年 度	昭 和 九 年 度	昭 和 八 年 度	昭 和 七 年 度	昭 和 六 年 度	昭 和 五 年 度	昭 和 四 年 度
私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用	私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用	私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用	私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用	私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用	私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用	私 共 專 設 防 火 栓 用 用 用
三三、〇〇八 二二、七七五 二、四九二	二五、六六四 二二、四六七 二、三七〇	一〇九、五〇七 二二、二二七 二、二八九	一〇三、九〇五 二二、〇〇九 二、一九八	九六、九七七 二二、〇二七 二、一三三	八九、六七六 二一、〇五〇 一、九四五	八五、三四七 二一、〇六〇 一、七三三
一、五〇一、六六五 一、五〇、六九九 六、七二四	一、五六八、九三三 一、六七、六〇六 六、七〇六	一、三三二、四八九 一、四八、四六八 六、五五六	一、二七七、三五七 一、四八、八七一 六、三六二	一、二四五、七一九 一、四八、八八五 六、一九五	一、二七三、六四三 一、五四、〇〇八 六、二二〇	一、二二七、一〇三 一、五四、一四四 五、四三三
二二、二八三 二一、七九六 二、六九五	一三、五六四 一三、四四三 二、八二九	二二、〇七六 二二、一五三 二、八六四	二二、二九三 二二、三九六 二、九〇三	二二、五九一 二二、三七九 二、九〇六	二四、二〇三 一三、九三九 五、二四六	二四、三七七 一三、九七七 三、一五三
一、四八四、八四七 一、四七、九三四 六、四一七	一、五三二、八二八 一、六三、五五二 六、三八二	一、三三〇、三九五 一、四六、二二三 六、四五四	一、二五一、六八二 一、四四、六〇五 五、九五九	一、三二二、三八六 一、四五、七四四 六、〇〇〇	一、一九八、〇〇四 一、四〇、三六九 五、七四三	一、一四九、二七三 一、三九、二八九 五、二二三
二二、一五〇 二一、五七九 二、五八〇	一三、二四三 一三、一八 二、六九三	一一、六六六 一一、九六八 二、八一九	二二、〇四六 二二、〇四一 二、七一一	二二、一八四 二二、一八 二、八一四	二二、三六二 二二、七〇三 二、九五三	二二、四六五 二二、五九三 二、九六八

備考 昭和五年度迄市外給水ノ分ヲ含まズ

(八) 各年度使用料收入豫算決算對照表

年 度 別	豫 算 額	決 算 額	差 引 増 減
昭 和 十 一 年 度	一、七六八、九七七	一、七二六、二九二	△ 四二、六八四
昭 和 十 年 度	一、六五四、二三八	一、六三九、〇九二	△ 一五、〇三八
昭 和 九 年 度	一、五六〇、八三五	一、七〇一、七六一	△ 一四〇、九六六
昭 和 八 年 度	一、五二三、〇二四	一、四六三、〇六三	△ 四九、九六〇
昭 和 七 年 度	一、四四四、四八九	一、四〇二、二四六	△ 四二、二〇二

備考 昭和八年度迄ハ三期制九年度ヨリ六期制ヲ實施セリ

第十章 收支決算

(一) 昭和十一年度水道事業經濟豫算 (單位圓)

歳入	財産ヨリ生ズル収入	1,772,750
	使用材料及手数料	39,473
	工費	1,000
	國庫補助	10,361
	府補助	4,981
	寄附	492,825
	繰入金	397,745
	繰越金	9,474
	雑収入	2,999,786
合計		3,999,786

歳出	事務費	28,084
	營業費	76,621
	淨水費	110,033
	配水管維持費	41,037
	給水工費	331,644
	水量給水費	157,751
	特別給水費	2,260
	雜費	33,811
	豫備費	16,441
	計	1,003,035
合計		1,956,751

(二) 昭和十年度水道事業經濟豫算及決算

歳入	財産ヨリ生ズル収入	2,477,000
	使用材料及手数料	1,633,933
	工費	371,910
	國庫補助	1,000,000
	府補助	10,361
	寄附	6,200,000
	繰入金	833,000,000
	繰越金	265,041,000
	雑収入	4,830,000
合計		3,152,005,000

歳出	營業費	79,690
	淨水費	209,330
	配水管維持費	41,411
	給水工費	309,666
	水量給水費	149,494
	特別給水費	2,600
	雜費	5,594
	豫備費	15,561
	計	1,000,000
合計		830,668,090



(三) 水道事業經濟歲入歲出決算累年比較表

歲入 (單位圓)

種別	大正		昭和		昭和		昭和		昭和		昭和		昭和		昭和	
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	
財產收入	四、六七〇	二	三三	六八	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
生ズル收入	九四、二四二	一、七四〇	二、七〇八	三、八五二	三、六五五	六、九九二	四、三五一	三、九〇〇	六、三五一	四、九八〇	八、八六一	四、八六一	七、七三二	六、六三二	四、九八〇	
手数料	二〇八、五四三	一九二、九五	二二六、〇八八	二〇四、二八八	三〇六、九三三	三〇〇、八〇四	二二八、五六六	一九二、五〇六	一七〇、五三〇	一七九、五二〇	一九九、九六三	二八二、〇八一	一九九、九六三	二八二、〇八一	一九九、九六三	二八二、〇八一
工費收入	一一、五六六	四、七六〇	五、五八三	三、二九一	五、三二七	五、九三三	八、〇三三	二、六四〇	四、一八〇	四、一〇六	四、一〇六	四、一〇六	四、一〇六	四、一〇六	四、一〇六	四、一〇六
寄附金	三、四九二	五九八、九八八	六二、三五六	五五九、九九九	六七二、七六六	六二四、八五二	六二五、八五一	七五〇、八七三	六四四、四七五	八二六、一九〇	八七四、〇〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	八八、五〇〇	八八、五〇〇	八八、五〇〇
繰入金	二七〇、〇〇〇	八九五、〇〇〇	七五二、〇〇〇	二九八、〇〇〇	二九八、〇〇〇	三六、六七七	五二、四二二	三三、三二七	七五、五〇〇	八七四、〇〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇
繰入金	二五、〇〇〇	一九、四九〇	一四、一二二	一一、〇三四	一九、〇七	三六、六七七	五二、四二二	三三、三二七	七五、五〇〇	八七四、〇〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇
雜收入	二五、〇〇〇	一九、四九〇	一四、一二二	一一、〇三四	一九、〇七	三六、六七七	五二、四二二	三三、三二七	七五、五〇〇	八七四、〇〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇	四三〇、五〇〇
財產賣拂代																
國庫補助金																
補償金																
府補助金																
計	一、八三六、六〇〇	二、七六八、七五三	三、七六五、五八三	三、九四四、四九三	三、七〇四、二四六	二、五二二、二五三	三、三八〇、〇三三	三、四三三、一八二	一、九七四、六九〇	三、四三三、一八二	三、四三三、一八二	三、四三三、一八二	三、四三三、一八二	三、四三三、一八二	三、四三三、一八二	三、四三三、一八二

歲出 (經常部) (單位圓)

種別	大正		昭和		昭和		昭和		昭和		昭和		昭和		昭和	
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	
營業費	二四、六三三	二二、八四四	二七、四三八	三一、七七一	三五、五三二	四五、二九二	四八、九五二	五五、一八八	五七、九三三	六〇、〇二六	六五、九九八	七二、三八七	六五、九九八	七二、三八七	六五、九九八	七二、三八七
淨水費	九七、四三三	一〇四、一八三	一一〇、四三四	一二七、二六六	一五七、七八一	一五〇、七四二	一七二、〇〇三	二六八、〇五七	二七二、二〇一	二八二、九九三	二九二、五三四	二九二、五三四	二九二、五三四	二九二、五三四	二九二、五三四	二九二、五三四
配水管	四、九九一	三〇、五四三	三八、三九九	三三、二九八	三三、三四一	二二、五七一	二二、三〇三	三六、三三七	三七、〇二六	三七、二八三	三七、二八三	三七、二八三	三七、二八三	三七、二八三	三七、二八三	三七、二八三
維持費	二六八、八六四	二四四、四九九	二六六、七七〇	二七二、一七七	三四一、五六九	二九二、二四五	二〇四、六二〇	一九四、八〇五	二五二、六三五	二三四、九八七	二三四、九八七	二三四、九八七	二三四、九八七	二三四、九八七	二三四、九八七	二三四、九八七
給水工事費	一三五、三五九	一〇〇、四七七	一三二、一四五	一三〇、九五五	一四八、三五〇	一三五、四三三	一〇二、五九九	九二、一〇五	一一〇、〇〇八	一一四、一〇〇	一一四、一〇〇	一一四、一〇〇	一一四、一〇〇	一一四、一〇〇	一一四、一〇〇	一一四、一〇〇
量水器費	一九、二二一	三、八九九	四、〇三六	二、九五三	五、三四一	六、八四九	二、一三四	八、七九九	七、四五四	六、三八九	六、三八九	六、三八九	六、三八九	六、三八九	六、三八九	六、三八九
管繕費	二、七九六	二、九二二	二、二八三	四、五〇五	三、七四二	三、三二二	四、一五六	四、二九〇	四、七〇三	六、一九九	八、二九七	八、二九七	八、二九七	八、二九七	八、二九七	八、二九七
特別給與金	八、六二九	三、七七三	五、五六八	八、〇二〇	八、一〇一	一一、七六六	一一、一五八	一七、三六三	一六、〇七二	一五、七二二	一七、五七五	一七、五七五	一七、五七五	一七、五七五	一七、五七五	一七、五七五
雜支出	六〇一、八九六	六三三、六二九	五九七、五三三	六〇八、九三五	七三二、七五五	六六七、〇八七	五七七、九二四	五七六、八四四	六五八、三四二	六四七、六七八	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七
計	六〇一、八九六	六三三、六二九	五九七、五三三	六〇八、九三五	七三二、七五五	六六七、〇八七	五七七、九二四	五七六、八四四	六五八、三四二	六四七、六七八	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七	七二九、六九七



(五) 上水道關係公債一覽表

種別	起債目的	起債額	利率	起債年月	償還年限	未償還額	元支拂期金	利拂期	借入先及引受先
上水道擴張 事業公債	上水道擴張 事業費	二〇〇,〇〇〇・〇〇	二厘分	昭和二十年	至昭和二十六年	三〇〇,〇〇〇・〇〇	二月一日	二月一日	大藏省預金部
		八五〇,〇〇〇・〇〇	三厘分	昭和三十年	至昭和三十一年	八五〇,〇〇〇・〇〇	三月一日	三月一日	藤本ビルプロ 式會社
		一四〇,〇〇〇・〇〇	二厘分	昭和二十一年	至昭和二十二年	一四〇,〇〇〇・〇〇	二月一日	二月一日	大藏省預金部
		五七六,〇〇〇・〇〇	四厘分	昭和二十一年 五月二十五日	至昭和三十年	五七六,〇〇〇・〇〇	三月一日	三月一日	住友信託 株式會社
公債	號整理 舊債低利 換	三〇〇,〇〇〇・〇〇	二厘分	昭和十一年	至昭和十五年	一六四,〇〇〇・〇〇	二月一日	二月一日	大藏省預金部
		八七五,〇〇〇・〇〇	三厘分	昭和十一年	至昭和十二年	八七五,〇〇〇・〇〇	三月一日	三月一日	住友信託 株式會社
		三六六,八三三・〇〇	四厘分	昭和十一年	至昭和十二年	三六六,八三三・〇〇	三月一日	三月一日	第一銀行
		一七〇,〇〇〇・〇〇	二厘分	昭和十一年	至昭和十二年	一七〇,〇〇〇・〇〇	三月一日	三月一日	日本生命 保險株式會社
小計	一,七七一,〇〇〇・〇〇				一,七七一,〇〇〇・〇〇				

昭和十一年度末

(六) 水道事業經濟運用金明細表

昭和十一年度末

種別	費用	用途	運用金限度	運用金	未運 濟額	未填 濟額	填補未 濟金	利率
水道事業減損補足積立金	給水工事費並水量 器購入費ニ運用		四,〇〇〇,〇〇〇・〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	—	—	—	五・〇分
罹災填補金	災害上水道復舊費		三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	—	—	—	三・七分
計			五,四八二,五〇〇・〇〇	五,四八二,五〇〇・〇〇	—	—	—	—

第十一章 財産目録

(一) 土地

昭和十一年度

所在地	種別	坪数	筆数	見積価格	備考
東山区粟田口華頂町	水道用地	五、八一 <sup>坪</sup> ・八〇	一六	三九、六三・〇〇	
東山区東小物座町	同	七七五・四六	三	五、一五〇・〇〇	
東山区山科、厨子奥	同	八、四四・〇〇	三三	三七、九八・〇〇	
左京区松ヶ崎、森本町外八箇町	同	三四、四五・〇〇	一七〇	四三七、四〇・三五	
上京区日暮丸太町上ル西院町	同	九三・九五	三	七三、八五・〇〇	
東山区山科音羽平林町	同	九六・五三	八	五、四四六・六一	
大津市藤尾町	同	三、二二・三三	三四	二六、六二・二七	
計		五三、八九二・二七	二五六	六二五、七二・二三	

(二) 建物

所在地	種別	坪数	棟数	見積価格	備考
左京区粟田口華頂町	除砂井室上家煉瓦造平家建	六・七二 <sup>坪</sup>	一	一、一四〇・〇〇	
東山区三條白川橋東入	沈澱池附属井上家木造平家建	二二・〇〇	一	二六三・〇〇	
東山区山科、厨子奥	濾過場及事務室煉瓦造平家建	六七三・九〇	一	一七一、八八・〇〇	
同	硫酸礬土溶解液槽室木造平家建	一六・五〇	一	四二・〇〇	
同	唧筒室煉瓦造平家建	四八・三五	一	一一、〇四八・〇〇	
同	浄水集合上家井同上	六・九二	一	一、一七・〇〇	
同	低區配水池出入口及入口同上	一七・九〇	一	三、〇四三・〇〇	
同	高區配水池出入口同上	二七・五四	一	四、七六・〇〇	
同	倉庫木造平家建	七五・三〇	一	一、七六六・〇〇	
同	便所同上	三・九九	一	六二・〇〇	
同	卷上ドラム工場煉瓦造平家建	三・七四	一	三、一〇・〇〇	
同	職夫詰所木造平家建	九・二四	一	七〇・〇〇	
同	計量室石造平家建	二・六〇	一	五、五〇八・〇〇	
同	職夫浴室鐵筋混凝土造平家建	二・四三	一	五九九・〇〇	





同	小計 家屋 其他	三七・九五六	八	二九、九〇八・〇〇〇 三、四七三・〇〇〇	
同	山科浄水場事務所木造平家建	二五・四二	一	三、一八・〇〇〇	
同	鍛冶工場木造平家建	六・〇五	一	六六六・〇〇	
同	ホンプ室 同上	一七・六九六	一	三、〇四〇・〇〇	
同	配水管計器上家同上	・八五六	一	三、二〇〇	
同	職夫詰所便所同上	八・五〇八	二	九六〇・〇〇	
同	小計 家屋 其他	五八・五三三	六	八、一〇四・〇〇	
同	其家 他屋	二、三四・一三	八七	三六八、七八九・九〇 一五、八二二・〇〇	
計					

(三) 營 造 物 (土地、建物ヲ除ク)

同	附屬井	三、三三〇・〇〇 ケ所	一〇、七四八・〇〇		
同	配水池	七二〇・〇〇 坪	一八八、九四三・〇〇		
同	沈澱池	五四、三四五・〇〇			
同	東山区粟田口華頂町 同 東小物座町 同 山科厨子奥花鳥町				
同	鐵砂井	二、〇〇〇・〇〇			
同	淨水地内石垣	三〇、三八〇・〇〇			
同	電動捲揚機及附屬軌條	三、九〇一・〇〇			
同	鹽素殺菌設備	六、五三一・一八			
同	連絡水管	一一、五七七・〇〇			
同	濾過設備	三九四、四三三・七一			
同	唧筒設備	三五、四〇四・二八			
同	計量設備	一六、三八三・〇〇			
同	導水設備	二七、九四九・三二			
同	濾過池	三八九、五四三・五八			
同	唧筒及鹽素殺菌設備	一五八、九〇九・九五			
同	送水管	一九四、一六〇・五四			
同	配水池	七〇五・〇〇			
同	計量設備	八四七・〇〇 一式	二二、六七五・三四		
同	取水設備	九五・〇〇 間	二、八四八・〇〇		
同	濾過池	二七・二二五 坪	六七、八五三・〇〇		

同	集合井	九〇〇・〇〇			
同	除砂井	一、二八〇・〇〇			
同	鐵砂井	二、〇〇〇・〇〇			
同	淨水地内石垣	三〇、三八〇・〇〇			
同	電動捲揚機及附屬軌條	三、九〇一・〇〇			
同	鹽素殺菌設備	六、五三一・一八			
同	連絡水管	一一、五七七・〇〇			
同	濾過設備	三九四、四三三・七一			
同	唧筒設備	三五、四〇四・二八			
同	計量設備	一六、三八三・〇〇			
同	導水設備	二七、九四九・三二			
同	濾過池	三八九、五四三・五八			
同	唧筒及鹽素殺菌設備	一五八、九〇九・九五			
同	送水管	一九四、一六〇・五四			
同	配水池	七〇五・〇〇			
同	計量設備	八四七・〇〇 一式	二二、六七五・三四		
同	取水設備	九五・〇〇 間	二、八四八・〇〇		
同	濾過池	二七・二二五 坪	六七、八五三・〇〇		
同	大津市藤尾町字池田				

名 稱	種 別	額 面 額	見積價額	備 考
同	唧筒及鹽素殺菌設備	一式	一六、八〇七・〇〇	
同	送水管	七五〇 <small>間</small>	二六、八六四・〇〇	
東山區山科音羽平林町	配水池	八〇 <small>坪</small>	三三、六〇九・〇〇	
ク	計量設備	一式	三、六七七・〇〇	
上京區鷹峰木ノ畑町	唧筒設備	一式	一、七九二・〇〇	
同 光悅町	貯水槽	一式	四、四八六・三九	
東山區清閑寺山ノ内町	貯水槽	一式	二、三二七・三三	
左京區川端通丸太町南入	排水(土管理)	七五〇 <small>間</small>	一四〇・〇〇	
同	量水器修覆試験設備	一式	二、五二〇・〇〇	
同	機械工場設備	一式	五、九七〇・〇〇	
同	量水器檢定設備	一式	四、一七八・三五	
市 内	配水管	三七七、七七〇 <small>間</small>	四、六七、八八三・二二	
同	公共用程	四四	四、四二五・七三	
同	道路ニ屬スル裝置	二二〇 <small>件</small>	一、八一七、四五五・七八	
同	量水器	一六〇、三三三 <small>個</small>	一、九五九、四二八・四四	
計			二〇、八五七、三〇八・八六	

(四) 基本財産及積立金

名 稱	種 別	額 面 額	見積價額	備 考
(積立金)				
水道事業擴張ニ關スル費用ニ運用金			一〇〇、〇〇〇・〇〇	
給水工事費並量水器購入費ニ運用金			四、〇〇〇・〇〇	
預 金			二三、二九九・三四	
計			二六三、二九九・三四	

(五) 器具及機械類

品 目	數 量	見積價額	備 考
濾過器其他	一〇、五六 <small>點</small>	一六〇、四六四・八一	

(六) 圖書

品 目	數 量	見積價格	備 考
土木建築學材料其他	一〇八 <small>冊</small>	四四六・六二	



## 第十二章 職制並職員

### (一) 職 制

昭和十一年度末現在

九六

#### 水道局課係別分掌事務

##### 庶務課

###### 庶務係

- 一、局ニ屬スル公印ノ管守ニ關スル事項
- 一、局内備人ノ進退、賞罰、給與並諸願届其ノ他身分ニ關スル事項
- 一、局内吏員職員ノ出勤簿ニ關スル事項
- 一、局内文書ノ收受、發送、編纂及保存ニ關スル事項
- 一、局内文書ノ整理取扱ニ關スル事項
- 一、局務ノ調査及監査ニ關スル事項
- 一、局ニ屬スル經理ニ關スル事項
- 一、下水道受益者負擔金ノ査定ニ關スル事項
- 一、水道使用ノ普及、勸誘ニ關スル事項
- 一、局ニ屬スル事務報告ニ關スル事項
- 一、其ノ他局内他課及課内他係ノ主管ニ屬セサル事項

##### 計算係

- 一、水道使用料、工事費其ノ他諸收入ノ測定ニ關スル事項
- 一、納額告知書及納付書ノ作製及發行ニ關スル事項

##### 徴收係

- 一、水道使用料、工事費其ノ他諸收入ノ收納及還付ニ關スル事項
- 一、停水處分ノ施行並解除ニ關スル事項

##### 點檢係

- 一、量水器ノ點檢ニ關スル事項
- 一、故障量水器ノ水道使用量認定ニ關スル事項

##### 水栓係

- 一、水道使用ニ關スル諸願届ノ受付ニ關スル事項
- 一、給水栓ノ開閉ニ關スル事項
- 一、水道使用ノ違背事項ニ關スル事項
- 一、量水器ノ回收ニ關スル事項
- 一、私設防火栓使用立會ニ關スル事項

##### 上水課

###### 庶務係

- 一、課所屬備人ノ諸給與ニ關スル事項
- 一、工事諸願届出ニ關スル事項
- 一、災害扶助及健康保險ニ關スル事項
- 一、課ニ屬スル各種統計ニ關スル事項
- 一、倉庫事務並物品材料檢收立會ニ關スル事項
- 一、公設防火栓標識燈ニ關スル事項
- 一、其ノ他課内他係ノ主管ニ屬セサル事項

###### 淨水係

- 一、上水道事業ノ企畫及調査ニ關スル事項
- 一、淨水設備ノ維持、修繕、管理及工事ニ關スル事項
- 一、淨水作業、水質調査其ノ他淨水ニ關スル事項
- 一、配水管工事ノ設計ニ關スル事項
- 一、配水管及水源ニ關スル工事費ノ精算ニ關スル事項
- 一、工事出來高ノ調査及檢査ニ關スル事項
- 一、工事用材料及機器類ノ現場檢收ニ關スル事項
- 一、其他課内他係ノ主管ニ屬セサル技術ニ關スル事項

##### 擴張係

- 一、上水道擴張事業水源關係工事ノ設計及施行ニ關スル事項
- 一、其ノ他上水道擴張事業水源ニ關スル事項
- 一、工事用材料及機器類ノ現場檢收ニ關スル事項

##### 給水係

- 一、給水装置ノ維持、修繕ニ關スル事項
- 一、給水工事設計及施行ニ關スル事項
- 一、量水器ノ修繕、取替並檢定ニ關スル事項
- 一、工事用材料及機器類ノ現場檢收ニ關スル事項
- 一、其ノ他給水工事ニ關スル事項

##### 配水係

- 一、配水管ノ維持、修繕、管理及工事ニ關スル事項
- 一、委託工事ノ施行ニ關スル事項
- 一、上水道擴張事業配水管敷設工事ノ施行ニ關スル事項
- 一、工事用材料及機器類ノ現場檢收ニ關スル事項
- 一、其ノ他配水管工事ニ關スル事項

##### 下水課

###### 省略

九七

(二) 職 員 (下水課ヲ除ク)

水道局長	杉山元之助	上水課長	有光壬辰
庶務課長	田村省七	兼技師	山村忠行
主事	増田鐵石	兼技師	吉田房雄
庶務係主任(書記)	吉川孟文	庶務係主任(主事)	西田季雅
計算係主任(書記)	川島民三郎	淨水係主任(技師)	關口秀敬
徵收係主任(書記)	西井作太郎	擴張係主任(技師)	山本與一郎
點檢係主任(書記)	梅原繁太郎	給水係主任(技師)	井上龜太郎
水栓係主任(書記)	久保田勘吾	配水係主任(技手)	村山禮吉

吏員及雇員

昭和十一年度末現在

課別	職名	俸 者			月 俸 者			計
		局長	課長	主事	書記	技手	事務履	
上水課	局長	1			8	29	15	8
上水課	課長		(主事) 1				50	
上水課	主事			1				
上水課	技師				(兼) 2			
上水課	書記				40			
上水課	技手							
上水課	事務履							
上水課	技術履							
上水課	計							(兼) 66

備 員

課別	職名	計	
		上水課	庶務課
上水課	水道書記	2	1
上水課	水道技手	4	1
上水課	助手	53	39
上水課	水道工	96	12
上水課	工夫	22	1
上水課	定備夫	87	1
上水課	集金員	1	31
上水課	運轉手及助手	12	2
上水課	守衛	4	1
上水課	給仕	5	6
上水課	使丁	5	1
上水課	計	290	91

### 第十三章 第一期擴張事業

#### (一) 概 説

上水道第二期擴張事業ハ昭和六年四月實施セル隣接市町村編入ニ基ク給水區域ノ擴大並ニ給水人口及ビ使用水量ノ激増等ニ對シ現在設備ヲ以テシテハ不充分トスルガ故ニ、ソノ對策トシテ昭和七年度ヨリ五ヶ年間ノ繼續事業トシテ之ヲ執行セントスルモノニシテ、本計畫ハ給水人口毎年年約三萬人内外増加シツツアルヲ以テ昭和十四年迄圓滿ニ給水シ得ル豫定ノモトニ九十二萬人分ニ應スルモノトシ、先ヅ現在ノ松ヶ崎淨水場ノ設備ヲ擴張スルト共ニ、別ニ山科ニ新ニ淨水場ヲ設ケ漸次將來ノ全市内給水ノ萬全ヲ期セントスルモノナリ。ソノ擴張事業豫算ハ昭和七年三月三十日市會ノ議決ヲ經、昭和七年十一月十九日工事施行認可、昭和八年一月三十日起債ノ許可(昭和七年度分)ヲ得、昭和八年三月三日ヨリ工事ニ着手、目下工事施行中ニシテ其ノ事業ノ梗概次ノ如シ。

#### (二) 事業費内譯

科 目	支 出 年 度 別					合 計	摘 要
	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度		
上水道擴張事業費	六五五,五〇〇	八七四,〇〇〇	一,一三〇,五〇〇	七三三,〇〇〇	二九七,八五〇	三,六七九,八五〇	
(一) 事務費	三四,〇〇〇	五九,〇〇〇	五八,〇〇〇	五八,〇〇〇	八五,〇〇〇	二九五,〇〇〇	
一、給料	一三,三六〇	二六,七〇〇	二六,七〇〇	二六,七〇〇	二六,七〇〇	一〇〇,二四〇	
二、雜給	一一,二五九	二六,六二二	二六,一八二	二六,九二八	四九,九二八	一四一,二三九	
三、需用費	七,五三三	四,七九二	四,七九二	四,二四二	四,一九六	二五,五四〇	
四、雜費	八六〇	八〇七	八〇七	八四二	四,六六六	七,九八一	
(二) 工事費	五九五,九八八	七〇〇,〇〇〇	一,〇七二,〇〇〇	六四七,九三三	一九三,七七七	三,一四七,六一三	松ヶ崎淨水池濾過池増設費
用地費	一〇〇,五九二					一〇〇,五九二	
濾過池費	九〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	九六,七九八			二七六,七九八	
鹽素滅菌及唧筒設備費	一三,〇〇〇	四八,〇〇〇	七二,〇〇〇			一三三,〇〇〇	
淨水場内鐵管費	三三,九一八					三三,九一八	鐵管布設費
配水池費			二四〇,〇〇〇			二四〇,〇〇〇	配水池新設費
淨水場費		六〇,〇〇〇	五五,七七五	二〇三,四六九		二一五,七七五	淨水場新設費
送水管費			六七,四六九			六七,四六九	送水管布設費

種別	数量	摘要
配水管管費	三、九、四〇八	五、五、〇〇〇
導水管管費	一〇、〇〇〇	—
器具機械費	一五、〇〇〇	三、五、〇〇〇
檢査費	五、〇〇〇	一、一、〇〇〇
設備費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
(三) 豫備費	二五、五八二	三、五、〇〇〇
		四、六、五、五二
		一、三、一、六四
		一〇、五、〇〇〇
		一〇〇、五八
		二、〇〇〇
		三、九、五〇
		四、一、九五〇
		四、一、三〇六
		一、八、六二八
		一、三、一、九四
		料 假建物借地及借家

(三) 計畫概要  
(イ) 松ヶ崎浄水場擴張

種別	数量	摘要
導水管増設	三、八八〇米	竈上第一第二疏水合流點附近ニ取入口ヲ設ケ同所ヨリ内徑一、三五〇、耗鐵管ヲ敷設シ在來ノ白川取入口ニ連絡ス
濾過池増設	四個	一池ノ大キサ長四九・一米、幅三六・四米、深サ平均二・四五米ニシテ濾過面積一七六五平方メートル、濾過速度一晝夜七米ナリ
鹽素滅菌裝置増設	二基	井ハ全部鐵筋混凝土造ニシテ大サ長二・五米、幅二・〇米、深サ四・二米ニシテ中間ニ導流壁四連ヲ設ケ上部ニ鹽素滅菌機二基ヲ設備ス
唧筒設備増設	三臺	唧筒室ハ鐵筋混凝土造ニシテ桁行三・〇米、梁行一・一米、平家造トシテ室内ニ唧筒三臺ヲ設備ス(一臺豫備、揚水量毎分一八立方メートル、動力四〇〇馬力一臺、二六〇馬力二臺)(一臺豫備)

種別	数量	摘要
送水管敷設	一、四三〇米	唧筒室ト松ヶ崎西山配水池間ニ口徑七五〇耗鐵管一、四五〇米ヲ敷設スルモノナリ
配水池増設	二個	松ヶ崎西山在來配水池西側ニ設ケ一池ノ大サ長五〇米、幅二九米、深サ平均六米、有效容量九、一六〇立方メートルナリ

(ロ) 山科浄水場新設

種別	数量	摘要
取水設備	ケ一	取入口ハ山科四ノ宮柳山町ニ於テ第一、第二ノ疏水ノ中間ニ設ケ、取水井ノ大サ長三・五米、幅一・六米、深四・二五米ノ鐵筋混凝土造トナシ、九〇〇耗鐵水管二條ニヨリ濾過池ニ導水ス
濾過池新設	三個	各池ノ大サ長二・〇米、幅一・五米、深サ平均二・三米ニシテ濾過面積三〇〇平方メートル、濾過速度一晝夜七米ナリ
鹽素滅菌裝置	二基	井ハ全部鐵筋混凝土造ニシテ大サ長二・四米、幅一・五米、深サ三・三米ノモノヲ設ケ上部ニ鹽素滅菌機二基ヲ設備ス
唧筒設備	二臺	唧筒室ハ大サ桁行九・〇米、深間六・五米ノ木造平家建トシ室内ニ唧筒二臺ヲ設備ス(一臺豫備)揚水量毎分三立方メートル動力五〇馬力二臺(一臺豫備)井ハ全部鐵筋混凝土造ニシテ長サ五・四米、幅二・四米、深サ三・三米トス
送水管布設	一、三六四米	唧筒室ト配水池間ニ口徑三〇〇耗鐵管延長一、三六四米ヲ敷設スルモノナリ
配水池新設	二個	配水池ヲ山科髭茶屋高地ニ設置スルモノニシテ一池ノ大サ長一三・一五米、幅一〇・一五米、深サ平均四・二五米有效容量五二〇立方メートルナリ

(ハ) 配水管増設

種別	延長	摘	要
各種配水管	一五、七、七六米	市内一圓各種配水管布設	

(四) 施行状況

(イ) 松ヶ崎浄水場擴張工事

工種	数量	設計工費	昭和十一年度末		概	要
			工費支出額	工程		
導水管敷設工事	三、八八〇	一五七、〇〇〇	一一、六六〇	五%	昭和十一年十二月三日着手施行中	
濾過池増設工事	二基	二五六、三〇〇	二〇八、五二八	五	四池完成シ附帶器具取附工事ヲ殘スノミ	
鹽素滅菌装置増設工事	二基	三〇、八〇〇	二八、九九二	一〇〇	竣功	
唧筒設備工事	三基	一〇四、五〇〇	一〇一、五七〇	一〇〇	竣功	
送水管敷設工事	一、四四〇	八四、〇〇〇	八五、三三九	九	送水管延長一、四〇〇米ヲ敷設シ連絡工事ヲ殘スノミ	
配水池増設工事	二ヶ	四三、四六九	六七、一七六	二	十年六月十三日着手施行中	
浄水場内鐵管敷設工事	一、四三〇	三二、四三三	二八、八七八	二〇〇	竣功	
計		一、〇七七、四八四	六三四、一三三			

(ロ) 山科浄水場新設工事

工種	数量	設計工費	昭和十一年度末		概	要
			工費支出額	工程		
取水設備工事	一ヶ所	二四、五〇〇	二、八四八	一〇〇%	竣工	
濾過池新設工事	三圓	六六、一〇〇	六七、八五三	一〇〇	同	
鹽素滅菌唧筒設備工事	二基	一九、〇〇〇	一六、八〇七	一〇〇	同	
送水管敷設工事	一、四三〇	二八、八三三	二六、八六四	一〇〇	同	
配水池新設工事	二圓	二四、五〇〇	二三、六〇九	一〇〇	同	
計		一六三、〇三三	一五六、九八一			

(ハ) 配水管敷設工事

工種	数量	設計工費	昭和十一年度末		概	要
			工費支出額	工程		
配水管敷設工事	一五、七、七八	一、五九九、〇九九	一、五八七、一八六	八七%	二七、五四米各種口徑ヲ敷設ス	

(五) 事業繰越

本事業ハ昭和十二年三月末日ヲ以テ竣工豫定ノトコロ一部未了ニツキ昭和十二年一月十五日工期一年間延伸ノ申請ヲナ

シ同年五月二十九日許可ヲ受ケ事業繰越ニヨル昭和十二年度追加豫算八〇五、六三四圓八三月三十日市會ノ議決ヲ經タ  
リ其ノ内譯左ノ如シ

繰越豫算内譯

科目	金額	摘要
上水道擴張事業費	八〇五、六三四	
(一) 事務費	八一、八七六	
一、給料	二六、七二〇	
二、雜給	四八、二八〇	
三、需用	三、八二五	
四、雜費	三、〇五一	
(二) 工事費	七〇二、八五八	
配水管	一七三、四一四	
導水管	一九一、三四四	
配水池	三一、三五〇	
器具機械	五、〇〇〇	
檢査	二、五〇〇	
設備	七、二五〇	
用地	二、〇〇〇	
雜工事	一〇、〇〇〇	
(三) 豫備費	二〇、九〇〇	

第十四章 雜報

(一) 六大都市配水量及使用水量比較表

(單位立方米)

昭和十一年度

種別	一ヶ年總配水量		一ヶ月平均配水量		一日平均配水量		一日一人當り平均	
	配水量	使用水量	配水量	使用水量	配水量	使用水量	配水量	使用水量
京都市	四七、一三六、〇六六	四一、四三二、七九二	三、九八八、〇〇五	三、四五一、六四九	一一九、一五九	一一三、五二二	リットル 一七三	リットル 一五三
大阪市	一八八、六九八、七〇〇	一四一、〇四八、二七四	一五、七四八、八九一	一一、七五四、〇三三	五二六、九九三	三六六、四三三	一七三	二二九
神戸市	五五、七五三、九七七	四四、三九九、九一〇	四、六四六、一六一	三、六九三、三三六	一五二、七五二	一一一、四二四	一七五	一三九
東京市	三三五、五八〇、三七四	一六三、九一九、九三三	二七、九六五、〇三二	一三、六六〇、八八八	九二九、三九八	四四九、一三三	一八一	〇八八
横浜市	六五、一五九、七〇一	—	五、四三九、九四三	—	一七八、八四七	—	二二〇	—
名古屋市	四九、一六六、九五〇	二七、六四〇、八五四	四、〇九三、九一三	二、〇三三、四〇五	一三四、五九四	七五、七四九	一四九	〇八三

(二) 六大都市給水使用戸數、栓數及給水人口比較表

昭和十一年度

都市別	使用戸數		栓			給水人口						
	專用	共用	計	特別栓	防火栓 公設私設	計	計					
京都市	一七、二六三	三六、八〇四	一五四、〇六七	一三、〇四四	五二七	四、一九一	二、六三四	一四九、四七〇	五六八、九七五	一七六、五八五	七四五、五六〇	
大阪市	三〇七、六五〇	一四五、七二五	五五三、三七五	四四四、〇八七	三六、〇五二	—	一三、一〇四	二、八九五	四九六、一三八	一、六五五、一五七	一、三三二、六六七	二、九七七、八二四
神戸市	一〇六、三九八	六七、八三六	一七四、二三四	九〇、六九三	一八、七二一	一四、六二	三、四九六	七五九	一七、八二〇	五三一、九九〇	三三九、一八〇	八七一、一七〇
東京市	七三、一四〇	一五一、七五五	八七七、八九五	七九六、九六〇	二九、三三三	一五、〇三三	二四、四五四	一、九四〇	八六七、七二〇	四、五〇八、六三二	五五九、六五一	五、〇六八、二八一
横浜市	一六、九三〇	一六、一八二	一三三、一一二	一六、九三〇	二、六二三	二、一九	三、四七二	八六七	一三六、〇〇一	五五四、二四八	七六、七〇三	六三〇、九五一
名古屋市	一七、七五六	四八、〇五七	一七五、八二三	一八、九三六	一五、二〇	—	四、六九〇	二、一八二	一五〇、九二八	六七三、六四六	二三八、三七五	九〇二、〇二二

(三) 六大都市給水普及率比較表

昭和十一年度

都市別	種別	市内總戸數	給水使用戸數	普及率
京都市	市	二二〇、二三八	一五四、〇六七	六六・九%
大阪市	市	六五三、八四五	五五三、三七五	八四・六
神戸市	市	二〇三、六六六	一七四、二三四	八五・五
東京市	市	一、二三四、五六六	八七七、八九五	七一・一
横浜市	市	一五五、七三九	一三三、一一二	八五・四
名古屋市	市	二二七、一八一	一七五、八一三	七七・三

備考 市内總戸數ハ昭和十一年十月一日現在調六大都市協定方法ニ依リ推定

(四) 六大都市使用料調定額、収入額及収入率比較表 昭和十一年度

種別	調定額			計	収入額			計	収入率		
	専用	共用	防火栓		専用	共用	防火栓		専用	共用	防火栓
京都市	一、六〇四、三〇〇・八〇円	一、五二、六三九・五〇円	七、二〇〇・五〇円	一、七六四、一〇〇・八〇円	一、五七、七六六・八三円	四七、七四五・六二円	六、八一〇・〇〇円	一、七三六、二九二・四五円	九七・九%	九六・七%	九五・六%
大阪市	七、四〇〇、八七一・六八円	二、八四九、五九七・八二円	三四〇、〇〇〇円	八、三〇〇、八〇九・四四円	七、四六〇、五八一・二八円	一、二八四・九一、五四・四八円	三四〇、〇〇〇円	八、三〇〇、一七五・五九円	九九・九%	九九・九%	一〇〇・〇%
神戸市	二、七〇〇、六五二・六八円	四、四七三・三四円	—	三、一〇五、〇〇〇・〇二円	二、六九七、二六九・九四円	四四〇・〇二八円	—	三、一〇一、五五七・二七円	九九・九%	九九・九%	—
東京市	四、一四九、五五四・七〇円	八七四、三〇八・六一円	三、八五・三三三・三三円	二、八八、四四四・一四円	一、四四、七五八・八七円	九四七、四九一・六六円	二、〇二五、〇三五・〇七円	〇七・五六	九九・九%	九九・九%	九九・六%
横浜市	二、五九、〇〇七・二七円	六九、三〇二・五七円	—	二、六六〇、三三三・二九円	二、五八六、四六七・二八円	六九、三三五・一六円	—	二、六五五、六九二・四四円	九九・八%	九九・八%	—
名古屋市	一、九四四、〇三九・九二円	二、四七三・二九八・二二円	三、三五、九九九・九五円	二、二七、二五七・三七七円	一、九三八、一〇四・四六四円	四七、七〇〇・四五三・五五円	九、九九五・九五	二、二二、二九四・八六円	九九・七%	一〇〇・〇%	一〇〇・〇%

(五) 六大都市給水一栓當り及一人當り使用料比較表 昭和十一年度

種別	給水一栓當り使用料		給水人口一人當り使用料	
	専用	共用	専用	共用
京都市	一三、四〇三・四〇円	—	二七・六三二円	—
大阪市	一八、二〇七・一八円	—	四・五〇七円	—
神戸市	一五、七七〇・七〇円	—	五・〇七〇円	—
東京市	一九、四九四・一八円	—	三・二三八円	—
横浜市	二二、二一九・二二円	—	四・六六六円	—
名古屋市	一七、三五六・一〇円	—	二・八七七円	—

備考 栓數ハ使用栓數ノミヲ掲グ



(六) 六大都市使用料率比較表 (昭和十一年度末現在各都市水道使用條例ニ例ル)  
 (1) 各種別基本料金及超過料金比較

都市別	種別	家	事	用	業	湯	噴	共
京都市	家庭用	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付金 五錢五厘	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付 金五錢五厘	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付 金五錢五厘	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付 金五錢五厘	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付 金五錢五厘	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付 金五錢五厘	最低料金一ヶ月十二立方 米迄金六拾六錢 超過料金一立方米ニ付 金五錢五厘
大阪市	家庭用	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金五拾五錢 超過料金一立方米ニ付金 六錢五厘
神戸市	家庭用	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢	最低料金一ヶ月四百五十 立方尺迄金八拾錢 超過料金百立方尺ニ付金 拾八錢
東京市	家庭用	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢	口徑十三耗ト看做シ最低 料金一ヶ月十立方米迄金 九拾參錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢
横濱市	家庭用	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘	最低料金一ヶ月十立方 米迄金壹圓 超過料金一立方米ニ付金 八錢五厘
名古屋市	家庭用	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘	最低料金一ヶ月十一立方 米迄金六拾錢 超過料金一立方米ニ付金 七錢八厘

備考 東京市ノ基本料金ハ量水器又ハ給水管口徑ニヨリ異ル

(口) 専用品専用料金比較

都市名	種別	基本水量	基本料金	超過一立方米料金	京都市ノ最低水量タル十 二立方米使フトスレバ
京都市	家庭用	立方米 二二	門 六・六六	五・五五	門 六・六六
大阪市	家庭用	一	・五五	六・五五	・七八
神戸市	家庭用	二・五	・八〇	六・五五	・七八
東京市	家庭用	一〇	・九三	七・〇〇	一・〇七
横濱市	家庭用	一〇	一・〇〇	八・五五	一・二七
名古屋市	家庭用	二	・六〇	七・八	・六七八

備考 東京市ノ基本水量ハ口徑一三耗ヲ掲グ  
 神戸市ノ基本水量ハ立方尺ヲ米ニ換算ス

(七) 六大都市水道料金徴收制度一覽表

昭和十一年度末現在

都市名	種別	納付義務者	前納金	徴收期	徴收方法	摘 要
京 都 市	都 市	所有者連帶者	二ヶ月	六 期	集金制	集金制ハ昭和十一年十月一日ヨリ實
大 阪 市	市	所有者連帶者	—	毎 月	集金制	
神 戸 市	市	所有者	三ヶ月	四 期	納付制	特別ノ事情アル場合納付義務者使用 者トシテ所有者連帶責任トナスコト ヲ得(條例三十條)
東 京 市	市	所有者	—	毎 月	集金制	昭和十二年度ヨリ毎月徴收制ヲ實施 シ前納金ヲ撤廢ス
横 濱 市	市	所有者連帶者	—	毎 月	集金制	
名 古 屋 市	市	使用者	三ヶ月	四 期	納付制	

(八) 六大都市水道事業經濟豫算額比較表

(昭和十一年度當初豫算)

都市名	種別	歳 入	歳 出			摘 要
			經常部	臨時部	計	
京 都 市	都 市	二、九五九、七六六 <sup>円</sup>	一、〇〇〇、〇〇〇 <sup>円</sup>	一、九五九、七六一 <sup>円</sup>	二、九五九、七六六 <sup>円</sup>	上水道豫算ノミ
大 阪 市	市	二四、九八四、〇〇〇	九、四一七、〇〇〇	一五、五六七、〇〇〇	二四、九八四、〇〇〇	上下水道豫算ヲ含ム
神 戸 市	市	三、七九六、六四八	二、一九〇、五〇六	一、五九一、一四二	三、七九六、六四八	
東 京 市	市	四八、一五五、〇〇〇	八、二三三、〇七〇	三九、九二一、九三六	四八、一五五、〇〇〇	
横 濱 市	市	三、九三三、七六五	一、〇一九、五六九	二、八八四、一九六	三、九三三、七六五	
名 古 屋 市	市	五、一八二、九〇五	一、一九七、九七九	三、九六四、九二六	五、一八二、九〇五	

水道條例  
 京都市水道使用條例  
 京都市水道給水裝置工事請負者公認ニ關スル規程

水道條例

明治二十三年二月十三日法律第九號  
 (明治四十四年三月法律第四三號、大正二年四月同第一五號、十年四月八日同第五六號改正)

- 第一條 水道トハ市町村ノ住民ノ需要ニ應ジ給水ノ目的ヲ以テ布設スル水道ヲ云ヒ水道用地トハ水源地、貯水池、濾水場、唧水場及水道線路ニ要スル地ヲ云フ
- 第二條 水道ハ市町村其公費ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ布設スルコトヲ得ス
- 但當該市町村ニ於テ其資力ニ堪ヘサルトキハ市町村以外ノ企業者ニ水道ノ布設ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第三條 市町村ニ於テ水道ヲ布設セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其目論見書ニ左ノ事項ヲ詳記シ地方長官ヲ經テ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第一 水道事務所ノ所在地

- 第二 水源ノ位置 河川池湖又ハ堀井及其ノ水量ノ概算 但圖面及水質ノ試験表ヲ添フヘシ
- 第三 水道線路及水道線路ニ沿フタル地名、貯水池、濾水場、唧水場ノ位置但圖面ヲ添フヘシ
- 第四 給水ノ區域其人口及其一人一日ニ對スル平均給水量
- 第五 人口増殖及多量ノ水ヲ用フル製造場等ニ對スル給水量増加ノ見込
- 第六 水壓ノ概算
- 第七 工事方法
- 第八 起工竣竣工期限
- 第九 工費總額其收入支出ノ方法及其豫算
- 第十 水料ノ等級、價格、水料徵收ノ方法及經常收支ノ概算
- 市町村ニ非サル企業者ニ在リテハ前掲各號ノ外企業ノ組織、資本ノ總額及許可年限ヲ記載スヘシ
- 第四條 內務大臣ハ前條ノ圖面書類ヲ審査シ不都合ナシト認ムルトキハ水道布設ノ認可狀又ハ許可書ヲ與フヘシ

- 市町村ニ非サル企業者ノ出願ニ對シテハ內務大臣ハ必要ト認ムル事項ヲ許可書ニ附シテ命令スルコトヲ得
- 第五條 水道用地ハ國稅其ノ他ノ公課ヲ免除ス
- 第六條 官有ノ土地ニシテ水道用地ニ必要ナルモノハ之ヲ拂下又ハ貸付スヘシ
- 第七條 水管ヲ官有地又ハ公道ノ地下ニ布設セントスルトキハ當該行政廳ノ許可ヲ受クヘシ
- 第八條 地方長官ハ隨時當該官吏又ハ技術官ヲ派遣シテ水道工事及水質水量ヲ検査セシメ其改築修理ヲ要シ又ハ水質不良水量不足ナリト認ムルトキハ相當ノ猶豫期日ヲ定メテ之ヲ改良ヲ市町村ニ命スヘシ
- 第九條 市町村ハ工事落成又ハ改築修理ヲ了リタルトキハ地方官廳ニ届出監査ヲ受クヘシ
- 第十條 水道ノ給水ヲ受クル者ハ水質水量ノ検査ヲ市町村長ニ請求スルコトヲ得
- 第十一條 家屋内ノ給水用具及本支水管ヨリ之ニ接続スル細管ハ市町村ノ所定ニ從ヒ之ヲ設置シ其費用ハ水道ノ給水ヲ受クル家主ノ負擔トス但市町村ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ設置シ其費用ヲ負擔スルコトヲ得
- 第十二條 市町村ノ水道掛ハ午前八時ヨリ午後五時迄ノ内ニ於テ家屋内ノ給水用具ヲ検査スルコトヲ得但水道掛ハ其證票ヲ携帯スヘシ
- 第十三條 市町村長ハ水道掛ノ報告ニ依リ家屋内ノ給水用具不完

- 全ナリト認ムルトキハ相當ノ猶豫期日ヲ定メテ之ヲ修繕ヲ爲サシムヘシ
- 家主若シ其修繕ヲ怠ルトキハ市町村ニ於テ之ヲ修繕シ其費用ヲ徵收スルコトヲ得
- 第十四條 家主ハ家屋内給水用具ノ設置又ハ其ノ修繕ヲ了リタル時ハ市町村ノ水道掛ニ届出ツヘシ水道掛ハ速ニ之ヲ検査スヘシ
- 第十五條 市町村ハ一家専用ノ給水用具ヲ設クル能ハサルモノノ爲メニ共用給水器ヲ設クヘシ
- 第十六條 市町村ハ消防用ノ爲メニ消火栓ヲ設置スヘシ消防用ニ消費シタル水ハ水料ヲ徵收スヘカラス
- 第十七條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ許可年限ノ滿了シタル後ハ關係市町村ハ水道布設ニ要シタル費用ヲ支拂ヒ其水道及水道經營ニ必要ナル土地物件ヲ買收スルコトヲ得但水道及水道經營ニ必要ナル土地物件ニシテ布設當時ニ比シ價格ヲ減損シタルモノアルトキハ水道布設ニ要シタル費用ヨリ之ヲ控除ス
- 前項費用ノ範圍及金額ニ關シ當該市町村ト企業者トノ間ニ爭アルトキハ地方長官之ヲ決定ス其決定ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得
- 第十八條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ關係市町村ニ於テ必要ト認ムルトキハ許可年限ノ滿了前ト雖之ヲ買收スルコトヲ得
- 前項ノ買收價格ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定

### 京都市水道使用條例

明治四十五年二月十日市公告第二七號、條例第七〇號

（沿革 大正二年二月市公告第三三五號、條例第七五號、九年六月市告示第三一二號、條例第一〇九號、四年五月市告示第三二五號、九年四月同第五號、昭和四年九月市條例第一五號、九年四月同第五號、一一年七月同第二五號改正）

#### 第一章 通 則

第一條 上水ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外計量ノ方法ニ依リ給水ス

第二條 給水装置ハ左ノ二種ニ分ツ

一 専用装置 一戸又ハ一箇所ノ専用ニ供スルモノ  
二 共用装置 二戸以上ノ共用ニ供スルモノ

私設防火栓ノ設置ヲ請求スル者アルトキハ之ヲ許可スルコトアルヘシ但シ其ノ使用ハ火災又ハ防火演習ノ外之ヲ許サズ私設防火栓ハ市ニ於テ封緘ス

第三條 給水装置ト稱スルハ配水管ヨリ分岐シタル給水管及之ニ附屬スル給水用具ヲ謂フ

第四條 給水装置ハ設備スヘキ家屋又ハ土地ノ所有者ニ非サレハ之ヲ請求シ又ハ所有スルコトヲ得ス

給水装置ヲ設備シタル家屋又ハ土地ノ所有者其ノ家屋又ハ土地ヲ處分シタルトキハ當該給水装置ハ其ノ處分ニ從ヒタルモノト

人ノ意見ヲ徵シ地方長官之ヲ決定ス其決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ市町村又ハ市町村ニ非サル企業者ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキ又ハ必要ノ時限内ニ履行シ得スト認ムルトキハ地方長官ハ府縣費ヲ以テ之ヲ履行シ其費用ヲ市町村又ハ市町村ニ非サル企業者ヨリ之ヲ追徴スルコトヲ得

前項ノ處分ハ豫メ履行期間ヲ指定シテ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得但第八條ノ場合ハ此ノ限リニ在ラス

第二十條 市町村ニ非サル企業者ニシテ前條ノ費用ヲ指定ノ期限

内ニ納付セザルトキハ國稅徵收ニ關スル規定ニ依リ之ヲ徵收ス

第二十一條 内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ水道ノ布設ヲ市町村ニ命スルコトヲ得

第二十二條 地方長官ニ之ヲ委任スルコトヲ得

第二十三條 本法中市又ハ市長トアルハ北海道區制又ハ沖繩縣區制ニ依ル區ニ在リテハ區又ハ區長トシ府縣費トアルハ北海道ニ在リテハ北海道地方費トス

附 則 （明治四十四年法律第四三號）

第八條及至第十六條ニ於テ市町村及市町村長トアルハ市町村以外ノ企業ニ係ル場合ニハ其ノ企業者ニ之ヲ準用ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 （大正十年四月法律第五六號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年八月一日）

#### 推 定

第五條 給水装置共有ニ係ルトキハ共有者連帶シテ本條例ノ義務ヲ負擔スルモノトス

第六條 給水装置所有者又ハ保管者變更シタルトキハ其ノ後者ハ前者ノ權利義務ヲ承繼シタルモノト看做ス

第七條 給水装置所有者又ハ保管者ニシテ給水区域内ニ居住セザルトキハ本條例ニ關スル一切ノ事項ヲ處理セシムル爲メ代理人ヲ選定シ届出ツヘシ

第八條 給水装置ハ給水栓又ハ特ニ許可ヲ得タル部分ノ外之ニ觸ルルコトヲ得ス

第九條 給水使用者ハ市ヨリ交付スル標識ヲ門戸ニ掲クヘシ

前項標識ヲ亡失毀損シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第十條 給水装置所有者、保管者及給水使用者ハ自己ノ所爲ニ出テサルノ故ヲ以テ本條例ノ適用ニ付其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

#### 第二章 給水装置及工事

第十一條 給水装置ノ新設、増設、變更、修繕又ハ撤去工事ハ請求ニ依リ市ニ於テ之ヲ履行ス但シ市長ノ許可ヲ得テ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ履行セムトスルコトキハ此ノ限ニ在ラス

前項工事ノ費用ハ請求者ノ負擔トス但シ市道ノ區域内ニ屬スル工事ニシテ特別ノ理由アリト認ムルモノ及共用装置ノ工事ニ關シテハ市ニ於テ之ヲ負擔スルコトアルヘシ

第十二條 給水装置ノ新設ヲ請求スル者ハ其ノ費用ノ一部トシテ

一 工事ニ付金五十錢ヲ豫納スヘシ其ノ増設、變更又ハ撤去ノ場合亦同シ

前項ノ豫納金ハ請求ヲ取消スモ之ヲ還附セス

第十三條 給水装置ノ位置ハ請求者ニ於テ指定スヘシ但シ市長ニ於テ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

給水装置請求ノ日ヨリ三十日以内ニ前項ノ指定ヲ爲サザルトキハ其ノ請求ヲ取消シタルモノト看做ス

第十四條 給水装置ノ工事費ハ之ヲ前納スヘシ但シ官公署、官公立學校病院其ノ他之ニ準スヘキモノ又ハ急ヲ要スルモノニシテ費用調査ノ暇ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ費用ハ告知ノ日ヨリ十五日以内ニ納付スヘシ若シ其ノ期限内ニ納付セザルトキハ給水装置ノ請求ヲ取消シタルモノト看做ス

第十五條 給水装置ノ工事費ハ市長ノ査定ニ依リ納付セシム但シ設計變更ノ場合ニ於テ過不足アルトキハ之ヲ増減ス

前項但書ノ場合ニ於テ年賦ニ係ルモノハ第二回以後ノ納期ニ於テ之ヲ増減ス

第十六條 給水装置ノ工事費ハ請求者ノ希望ニ依リ二年以内ノ年賦ヲ以テ分納セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ保證人連帶ノ年賦證書ヲ提出スヘシ

前項分納額通知ノ日ヨリ十五日以内ニ年賦證書ヲ提出セザルトキハ給水装置ノ請求ヲ取消シタルモノト看做ス

年賦金ハ毎年四回ニ分納セシム其ノ分納額ニハ利息トシテ工事

費總額ノ百分ノ一ヲ加算ス但シ分納期ヲ繰上ケ完納スル分ニ對シテハ利息ヲ免除ス

本條ニ依リ年賦ヲ許可シタル場合ハ第一回分ヲ納付シ年賦證書ヲ提出シタル後ニ非サレハ工事ニ着手セス

第十七條 年賦納付ニ係ル給水装置ハ其ノ費用完納ニ至ル迄市ニ於テ所有權ヲ留保シ請求者ヲシテ保管ノ責ニ任セシム

前項保管中ノ給水管又ハ給水用具ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ變災其ノ他ノ事故ニ因ル場合ト雖相當ノ代價ヲ辨償セシム

第十八條 年賦完納前ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ未納ニ係ル費用ヲ即納セシム

一 給水ヲ廢止セムトスルトキ

二 土地又ハ家屋ノ所有權ヲ移轉セムトスルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テ其ノ所有權取得者ニシテ年賦納付ノ方法ヲ承繼セムトスルトキハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十九條 年賦納付ヲ怠リタルトキハ給水装置ヲ撤去シ既納額ハ之ヲ還付セス其ノ既納額ニシテ敷設費、撤去費並給水管及給水用具ノ減損價格ヲ償フニ足ラサルトキハ其ノ不足額ヲ納付セシム

第二十條 給水管及給水用具ヲ提供スル者アルトキハ検査ノ上其ノ使用ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ検査ニ對シテハ左ノ手数料ヲ徵收ス

一 水 栓 類	一個ニ付	金 二十 錢
二 鉛 管	一筋ニ付	金 四十 錢

三 鐵管及附屬品

五十ミリメートル以下 金 三十 錢

一本又ハ一個ニ付

七十五ミリメートル以上百ミリメートル以下 金 五十 錢

一本又ハ一個ニ付

百二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

二十五ミリメートル以上 金 十 錢

第二十五條 給水装置竣成後三箇月以内ニ破損シタルトキハ市費ヲ以テ之ヲ修繕ス但シ不可抗力又ハ所有者、保管者若ハ使用者ノ故意又ハ過失ニ因ルモノト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 給水装置所有者又ハ保管者左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ届出ツヘシ

一 給水装置ノ所有權ヲ取得シタルトキ

二 住所氏名商號又ハ代理人ヲ變更シタルトキ

三 給水使用者又ハ其ノ商號ニ異動ヲ生シタルトキ

第二十七條 給水装置所有者、保管者又ハ給水使用者ニ於テ漏水其ノ他給水ノ異狀ヲ發見シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十八條 左ノ場合ニ於テハ給水装置ヲ撤去シ又ハ給水管ヲ切斷スルコトアルヘシ

一 給水装置ノ所有者又ハ保管者所在不明若ハ六ヶ月以上給水ヲ使用セサルトキ

二 市長ニ於テ給水ノ使用廢止ノ状態ニ在リト認ムルトキ

第二十九條 給水ニ關スル工事施行ノ結果建造物等ノ復舊ヲ要スルコトアルトキハ給水装置請求者ニ於テ之ヲ施行スルモノトス

第三章 給 水

第三十條 給水ハ不可抗力其ノ他已ムヲ得サル場合ノ外停止又ハ制限スルコトナシ

第三十一條 給水ノ開始、休止、廢止ヲ爲サムトスルトキ又ハ防火演習ノ爲私設防火栓ヲ使用セムトスルトキハ其ノ日時ヲ定メ前日迄ニ之ヲ請求スヘシ

火災ノ爲私設防火栓ヲ使用シタルトキハ三日以内ニ届出ツヘシ

第三十二條 給水ハ量水器ヲ以テ計量ス但シ使用水量ノ測定シ得ヘキモノハ市長ノ認定ニ依リ之ヲ定ムルコトアルヘシ

火災又ハ防火演習ノ爲私設防火栓ヲ使用スルトキハ計量セス

第三十三條 量水器ハ市費ヲ以テ設置シ給水装置所有者又ハ保管者ヲシテ保管セシム

第三十四條 量水器ノ作用ニ關スル試験ハ請求ニ依リ市ニ於テ之ヲ施行ス

前項試験ノ結果公差以内ナルトキハ請求者ヨリ左ノ試験手数料ヲ徵收ス但シ取付、取除及運搬費等ハ別ニ實費ヲ徵收ス

口徑 三十七ミリメートル以下 一個 金 一 圓

口徑 五十ミリメートル以上七十五ミリメートル以下 一個 金 二 圓

口徑 百ミリメートル以上 一個 金 三 圓

第三十五條 共用給水ノ請求者ハ使用戸數ニ應ジ鐵札及鍵ノ交付ヲ受ケ使用ノ際ハ必ス之ヲ携帯セシムヘシ但シ不用ニ歸シタルトキハ直ニ之ヲ返納スヘシ

前項ノ鐵札又ハ鍵ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ直ニ届出テ再交付ヲ受ケヘシ此ノ場合ニ於テハ各一個ニ付手数料金十錢ヲ徵收ス

第三十六條 特別ノ理由アルトキハ別ニ告示スル所ノ區域ヲ限リ市外ニ給水スルコトアルヘシ但シ市内給水量ニ不足ヲ生スルトキハ隨時之ヲ制限又ハ停止シ若ハ廢止スルコトアルヘシ

第四章 使用料

第三十七條 給水使用料ハ給水使用者及給水装置所有者又ハ保管者連帶シテ納付ノ義務ヲ負擔ス

第三十八條 使用料ハ一立方メートルニ付左ノ區別ニ依リ之ヲ徵收ス

- 一 家事又ハ營業用 専用 金五錢五厘 共用 金四錢
  - 二 湯屋營業用 金四錢
  - 三 官公署、學校、病院、會社其ノ他之ニ準スヘキモノ 金五錢五厘
  - 四 原動力、機械又ハ工事用 二千立方メートル以下 金拾壹錢 二千立方メートル超エル分 金拾錢
  - 五 噴水、泉池、瀧、庭園ノ撒水其ノ他娛樂用 金參拾錢
- 前項ニ該當セサル用途ニ使用スルトキハ市長ノ認定ニ依リ類似シタル用途ノ料率ヲ準用ス
- 私設防火栓ヲ演習ノ爲ニ使用スル場合ニ於ケル使用料ハ一個一回ニ付金壹圓五拾錢トス但シ一回ノ使用時間ハ二十分ヲ超エルコトヲ得ス
- 第三十九條 使用料ハ一戸一箇月ニ付左ノ水量ニ相當スル金額ヲ以テ最低限度トス
- 一 家事又ハ營業用 專用 十二立方メートル 其ノ他之ニ準スヘキモノ 共用 七立方メートル

湯屋營業用 原動力、機械又ハ工事用 噴水、泉池、瀧、庭園ノ撒水 其ノ他娛樂用 十八立方メートル

一戸内ニ二個以上ノ量水器アルトキハ各別ニ前項ノ最低限度ヲ適用ス月ノ十六日以後ニ給水ヲ開始シ又ハ十五日以前ニ給水ヲ休止若ハ廢止シタルトキハ第一項所定ノ二分ノ一ヲ以テ其ノ月ノ最低限度トス

第四十條 一個ノ量水器ヲ以テ使用料ノ異ナル二種以上ノ用途ヲ兼ヌルトキハ其ノ水量ノ區分ハ市長ノ認定ニ依ル但シ最低限度ハ各用途毎ニ之ヲ適用ス

第四十一條 一個ノ量水器ヲ以テ計量スル二戸以上ノ使用水量ハ各戸均等ニ使用シタルモノト看做ス

第四十二條 使用水量ハ二箇月ニ一回量水器ヲ點檢シテ之ヲ算定ス此ノ場合ニ於ケル使用水量ハ各月均等ニ使用シタルモノト看做ス

湯屋其ノ他多量ノ給水ヲ必要トスルモノ又ハ特別ノ事情アルモノハ毎月量水器ヲ點檢シテ使用水量ヲ算定スルコトアルヘシ量水器點檢後ニ於ケル使用水量ハ次期又ハ翌月ニ之ヲ算入ス

第四十三條 量水器若ハ給水装置ノ故障等ニ因リ量水器ノ表示水量ト實際ノ使用水量ト差異アリト認メタルトキハ營業ノ狀態其ノ他ノ事實ヲ參酌シ市長ニ於テ使用水量ヲ認定ス

第四十四條 使用料ハ左ノ區分ニ依リ毎期末ノ翌月ニ之ヲ徵收ス但シ第四十二條第二項ニ該當スルモノニ對シテハ一箇月毎ニ其ノ前月分ノ使用料ヲ徵收スルコトアルヘシ

甲區域

- 第一期 自四月 至五月
- 第二期 自六月 至七月
- 第三期 自八月 至九月
- 第四期 自十月 至十一月
- 第五期 自十二月 至一月
- 第六期 自二月 至三月

乙區域

- 自五月 至六月
- 自七月 至八月
- 自九月 至十月
- 自十一月 至十二月
- 自一月 至二月
- 自三月 至四月

給水ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス隨時之ヲ徵收ス

第一項ノ區域ハ市長別ニ之ヲ指定ス

第四十五條 月ノ十五日以前又ハ十六日以後ニ於テ給水用途ヲ變更シタルトキハ其ノ半箇月ノ使用料ハ重キニ從ヒ之ヲ徵收ス

第四十六條 給水開始ノ際ハ一期又ハ一箇月分ニ相當スル使用料概算額ヲ徵收ス但シ官公署、官公立ノ學校病院其ノ他之ニ準スヘキモノニ對シテハ之ヲ徵收セサルコトアルヘシ

前項ニ依リ徵收シタル使用料概算額ニ増減ノ必要アリト認メタルトキハ之ヲ追徵又ハ還附ス

第四十七條 前條ノ使用料概算額ハ給水ノ休止又ハ廢止ノ際精算シ過不足アルトキハ還附又ハ追徵ス

第四十八條 料金ノ標準ニ異動ヲ生シタルトキハ五日以内ニ届出ツヘシ

第四十九條 使用料納付後其ノ料金ニ増減ヲ生シタルトキハ次回徵收ノ使用料ニ於テ増減ス

第五十條 使用料ハ給水ノ停止又ハ制限ヲ爲シタルトキト雖之ヲ減免セズ

第五十一條 保護ノ必要アル公益事業又ハ特別ノ理由アルモノニ給水スルトキハ市長ノ認定ニ依リ使用料ヲ輕減シ又ハ免除スルコトアルヘシ但シ市長ハ何時ニテモ其ノ認定ヲ取消スコトヲ得

第五十二條 市外給水ノ使用料ハ百分ノ四十以内ヲ増徴ス

第五章 違背處分

第五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三十日以内給水ヲ停止シ又ハ五圓以下ノ過料ヲ科ス

一 量水器ノ作用ヲ妨害シ其ノ他使用料ノ通脫ヲ圖リタルトキ

二 防火ノ爲ニ非シテ私設防火栓ノ封緘ヲ破壞シタルトキ

三 給水ヲ濫用シ又ハ他人ニ分與シ若ハ販賣シタルトキ

四 共用給水ノ鑑札又ハ鍵ヲ他人ニ使用セシメ若ハ市ヨリ交付以外ノ鍵ヲ使用シタルトキ

五 濫ニ給水装置ヲ新設、増設、加工、變更、撤去又ハ開檢シタルトキ

六 第三十一條末項及第四十八條ノ届出ノ義務ヲ怠リ又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタルトキ

七 係員ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨害シタルトキ

前項第一號乃至第六號ニ該當スル行爲アリタルトキハ市長ノ認定シタル使用料ノ外尙其ノ三倍以内ヲ増徴スルコトアルヘシ

給水装置ノ工事費、辨償金、使用料又ハ手数料ヲ滯納シタルトキハ其ノ完納ニ至ル迄給水ヲ停止スルコトアルヘシ

第五十四條 本條例施行ノ期日及細則ハ別ニ市長之ヲ定ム  
 第五十五條 本條例施行後ト測量水器ノ裝置ナキモノノ使用水量ハ第三十九條ノ最低限度トス但シ特ニ必要アリト認ムル場合ハ市長ニ於テ其ノ使用水量ヲ認定ス  
 現ニ測量水器ヲ有スル者ニ對シテハ本條例施行後第一回點檢當日迄ノ使用水量ヲ前月分ノ使用水量ニ依リ推定ス

京都市水道使用條例施行細則

明治四十五年二月二十六日市公告第四四號

(沿革 大正九年六月市告示第三一三號、一四年六月同第三五七號、昭和一〇年五月同第一九一號、一一年七月同第四一七號、九月同第一四八二號改正)

第一條 私設防火栓ヲ設置セムトスルトキハ其ノ位置及個數ヲ記載セル書面ヲ以テ請求スヘシ  
 第二條 給水裝置又ハ私設防火栓設備ノ爲他人ノ土地又ハ家屋ヲ使用セムトスルトキハ其ノ所有者ノ承諾書ヲ請求書ニ添付スヘシ  
 條例第二十三條ニ依リ支管ヲ分岐セムトスルトキハ本管所有者ノ承諾書ヲ添付スヘシ  
 前二項ノ所有者ニ異動ヲ生シタルトキハ更ニ承諾書ヲ提出スヘシ若新所有者ノ承諾ヲ受クルコト能ハサル場合ハ給水管ヲ切斷

第三條 條例第五條ノ給水裝置共有者ハ條例ニ關スル一切ノ事項ヲ處理セシムル爲總代一人ヲ選定シ共有者ノ連署シタル届書ヲ請求書ニ添付スヘシ  
 前項ノ總代ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ旨直ニ届出ツヘシ  
 第四條 條例第七條ノ代理人ハ給水區域内ニ居住シ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル  
 代理人ヲ選定シタルトキハ連署ヲ以テ届出ツヘシ  
 第四條ノ二 給水裝置ノ修繕工事ニシテ急ヲ要スル場合ハ給水使用者ヨリモ之ヲ請求スルコトヲ得但シ給水使用者工事施行後五日以内ニ給水裝置所有者又ハ保管者ノ承諾書ヲ提出シタルトキハ給水裝置所有者又ハ保管者ヨリ請求シタルモノト看做ス  
 第五條 條例第十一條第一項但書ニ依リ給水裝置ヲ設備セムトスルトキハ其ノ工事ヲ爲スヘキ位置、用途、工事期間、工事設計者及請負者ノ氏名等ヲ記載セル書面ニ工事設計書、仕様書及圖面ヲ添付シ届出ツヘシ其ノ増設、變更及修繕ヲ爲サムトスルトキモ亦同シ  
 前項工事請負者ハ市長ニ於テ公認シタル者ナルコトヲ要ス但シ特殊ノ給水裝置ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
 第六條 前條ニ依リ工事ニ使用スル水管、水栓其ノ他ノ材料ハ市ヨリ供給ヲ受ケタルモノ又ハ市ノ現ニ使用スルモノト同等若ハ同等以上ノ品質ヲ有スルモノニシテ豫メ關係吏員ノ檢査ヲ受ケタルモノタルヘシ

工事ハ市ノ現ニ施行スル程度ト同等又ハ同等以上ニ施行スルコトヲ要ス  
 第七條 給水裝置ノ許可ヲ得タル者ハ工事着手ノ日ヨリ三日以前ニ其ノ旨届出ツヘシ裝置ヲ撤去セムトスル場合亦同シ  
 工事竣成シタルトキハ三日以内ニ其ノ旨届出檢査ヲ受クヘシ  
 工事中ハ當該係員ノ指揮監督ヲ受クヘシ  
 第八條 工事施行ノ場合ニ於テ配水管ニ接続スル工事ハ之ヲ爲スコトヲ得ス  
 第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ給水裝置ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ  
 一 第五條第一項後段、第六條及第七條ノ規定ニ違背シタルトキ  
 二 日時ヲ指定シテ改造、修補又ハ一部ノ撤去ヲ命セラレ之ヲ施行セサルトキ  
 三 裝置不適當又ハ他ニ障害ヲ及ボスノ虞アリト認メタルトキ  
 前項ニ依リ許可ヲ取消シタルトキハ期間ヲ定メ給水裝置ノ全部ヲ撤去セシム若其ノ期間内ニ撤去セサルトキハ條例第二十四條第一項ノ規定ニ依ル  
 第十條 市費ヲ以テ設備スヘキ共用裝置(公設共用裝置)ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキニ限リ之ヲ施設ス  
 一 私費ヲ以テ給水裝置ヲ設備スルコト能ハサル者ニ給水ノ必要アリト認メタルトキ  
 二 途上ノ公衆ニ給水スル必要アリト認メタルトキ

三 前各號ノ外市長ニ於テ必要アリト認メタルトキ  
 第十一條 前條ノ共用裝置ハ衛生上又ハ己ムヲ得サル事情ニ因リ一時給水ノ必要アリト認ムルトキハ特定區域内ノ者ニ對シ一定ノ期間内其ノ使用ヲ許可スルコトアルヘシ  
 第十二條 公設共用裝置ヲ使用セムトスルトキハ使用者連署ヲ以テ請求スヘシ此ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用ス  
 第十三條 市長ニ於テ前條及第三條ノ總代並條例第七條ノ代理人ヲ不適當ナリト認メタルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ  
 第十四條 條例第十六條ノ年賦分納金ハ毎年五月、八月、十一月及二月(各末)ノ四回ニ納付スヘシ但シ第一回分ハ隨時納付セシム  
 第十五條 年賦分納ノ場合ニ於ケル條例第十二條ノ豫納金ハ第一回分納金ニ充當ス  
 第十六條 年賦金完納前ニ於テ給水裝置ノ増設又ハ變更ヲ爲サムトスルトキハ其ノ工事費ヲ即納スヘシ但シ其ノ年賦期間内ニ於テ分納セムトスルトキハ未納年賦金ニ合算スルコトヲ得  
 第十七條 條例第十六條第一項ノ保證人ハ市住民ニシテ市内ニ土地又ハ家屋ヲ所有シ若ハ直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ニ限ル  
 保證人其ノ資格ヲ失ヒ又ハ死亡シタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ所定ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第十八條 條例第十八條第二項ニ依リ年賦納付ノ方法ヲ承繼セムトスルトキハ其ノ事實ヲ證明シ前者ト連署ヲ以テ請求スヘシ

第十九條 給水装置ノ所有權ヲ取得シタルトキハ新舊所有者連署ヲ以テ届出ツヘシ但シ所有權取得ヲ證スル書面ヲ提出スルトキハ舊所有者ノ連署ヲ要セス

家督相續ニ因ル承繼ノ場合ハ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ

第二十條 給水装置所有者所在不明ノ場合ニ於テ該装置ヲ管理シ給水ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ市長ノ承認ヲ受ケヘシ前項ニ依リ給水シタル場合ニ於テ給水装置所有者其ノ他ニ損害ヲ及ホスコトアルモ市ハ其ノ責ニ任セス

第二十一條 給水ノ停止又ハ制限ハ豫メ之ヲ告知ス但シ急迫ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 給水ノ開始、休止ハ給水装置所有者若ハ保管者又ハ給水使用者ヨリ之ヲ請求スヘシ但シ給水使用者給水ノ開始ヲ請求セムトスル場合ハ給水装置所有者又ハ保管者ノ同意ヲ要ス演習ノ爲私設防火栓ヲ使用セムトスルトキ亦同シ

給水装置所有者又ハ保管者給水ノ休止、廢止ヲ請求セムトスルトキ給水使用者現住スル場合ハ其ノ同意ヲ要ス

第二十三條 給水装置所有者又ハ保管者ノ都合ニ因リ量水器ノ装置場所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ位置ハ市長之ヲ選定シ工事費ハ請求者ノ負擔トス

第二十四條 量水器ノ装置場所ニ點檢上障礙ヲ與フヘキ物件ヲ推

積シ又ハ工作物ヲ設ケルコトヲ得ス

前項ノ事由ニ依リ装置場所ヲ變更スルノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ位置ノ選定及工事費ノ負擔ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第二十五條 量水器ノ作用ニ關スル試驗ハ給水使用者又ハ給水装置所有者若ハ保管者ヨリ之ヲ請求スヘシ

前項ノ請求者ハ量水器ノ試驗ニ立會スヘシ若シ立會ヲ爲ササル場合ハ當該係員之ヲ專行ス

第二十六條 第十一條及第十二條ニ依リ公設共用装置ノ使用ヲ許可セラレタル者ハ左ノ條件ヲ履行スルノ義務ヲ有ス

一 條例ノ定ムル所ニ準據シ給水使用料ヲ納付スルコト

二 使用者ハ連帶シテ給水装置及量水器ヲ保管スルコト

第二十七條 給水使用料ハ給水使用者ヨリ之ヲ徵收ス但シ共用給水使用料ハ給水装置所有者又ハ保管者ヨリ之ヲ徵收スルコトアルヘシ

第二十八條 給水使用料及給水装置修繕料ハ本市ヨリ派出スル集金員ニ之ヲ支拂フヘシ但シ市長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ納額告知書其ノ他ノ方法ニ依リ納付セシムルコトアルヘシ

第二十九條 配水管内洗滌又ハ避ケヘカラサル事故ノ爲給水栓ヨリ濁水ヲ放出シタル場合ニ於ケル水量ハ量水器表示水量ヨリ之ヲ減算セサルモノトス

第三十條 條例第九條ノ標識及第三十五條ノ繼札並水道吏員、職夫ノ證票ハ左ノ離形ニ依ル

第二十九條 給水ニ關スル請求書、届書其ノ他ノ書式ハ左ノ如シ但シ一定ノ書式ヲ示ササルモノハ本書ニ準據シ又ハ便宜ノ書面若ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

附 則  
本細則ハ昭和十一年十月一日ヨリ施行ス

(書式省略)

### 京都市水道給水装置工事 請負者公認ニ關スル規程

大正十四年六月一日市告示第三五八號

第一條 水道使用條例施行細則第五條ノ規定ニ依リ工事請負者ハ本市工事施行規程第八條ニ定ムル資格ヲ有シ且同第六條ノ規定ニ抵觸セサル者ニ付一箇年ヲ限度トシテ市長之ヲ公認ス但シ其ノ期間ハ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第二條 前條ノ規定ニ依リ公認ヲ受ケムトスル者ハ履歷書、戶籍謄本及資格證明書ヲ添ヘ願出スヘシ

第三條 前條ノ規定ニ依リ公認ヲ受ケタル者ハ十日以内ニ保證金五百圓ヲ市ニ納付スヘシ

前項ノ保證金ハ市長ニ於テ増額ヲ命スルコトアルヘシ

第四條 工事請負者ニシテ第一條所定ノ資格ヲ闕クニ至リタルトキ又ハ前條ノ保證金ヲ所定ノ期間ニ納付セサルトキハ公認ハ其ノ效力ヲ失フ納付シタル保證金ニ對シ債權ノ取立若ハ債權轉付

ノ處分ヲ受ケタルトキ亦同シ

第五條 給水装置ニシテ其ノ竣成後三箇月以内ニ破損シタルトキハ工事請負者ニ於テ無償ニテ之ヲ修繕スヘシ若シ之ヲ修繕スル爲ササルトキハ工事請負者ノ費用ヲ以テ市ニ於テ修繕ヲ爲スコトアルヘシ

第六條 工事請負者ハ業務ノ執行ニ關シ本市水道使用條例及其ノ施行細則ヲ遵守スヘシ

前項ノ外左ノ各號ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一 工事ノ請負金額ニ付テハ其ノ都度市長ノ承認ヲ受ケヘシ

一 工事ニ從事セシムヘキ主任技術者ヲ定メ豫メ市長ノ承認ヲ受ケヘシ其ノ監督者、設計者及職工ヲ使用セムトスルトキ亦同シ

一 本市ニ於テ使用中ノ職工、工夫、人夫其ノ他ノ者ヲ使用スルコトヲ得ス

一 工事ノ申込ヲ受ケタルトキハ申込人ニ於テ市ニ對シ工事施行ノ請求ヲ爲シタルコトナキヤ調査シ既ニ市ニ之ヲ請求ヲ爲シタルモノナルトキハ特ニ市長ノ承認ヲ受クニ非サレハ其ノ申込ニ應スルコトヲ得ス

一 支店若ハ出張所其ノ他之ト類似ノ營業所ヲ設ケルコトヲ得ス

一 代理人ヲ置キ其ノ他自己ノ名ニ於テ他人ヲシテ工事ノ請負ヲ爲サシムルコトヲ得ス

一 關係吏員ノ立會アルニ非サレハ工事ニ着手スルコトヲ得ス



一 前各號ノ外工事ノ執行ニ付テハ關係吏員ノ指示ニ從フヘシ

第七條 工事請負者ニシテ市若ハ工事施行者ニ對シ不都合ノ所爲アリト認ムルトキハ市長ハ公認ヲ取消シ又ハ業務ノ執行ヲ停止スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ公認ヲ取消シタルトキハ保證金ハ本市ノ所得トス

第八條 第六條第一項及第二項各號ノ一ニ違背シタルトキハ金三圓以上三十圓以下ノ違約金ヲ徵スルコトアルヘシ

前項ノ違約金又ハ第五條ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セザルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年六月市告示第三百二十五號水道給水装置ニ關スル工事施行規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

前項工事施行規程ニ依リ指定セラレ現ニ其ノ業務ヲ營ム者ハ其ノ期間滿了ニ至ル迄本規程ニ依リ公認セラレタル者ト看做ス

昭和十二年十月二十日 印刷  
昭和十二年十月二十五日 發行

編輯兼 發行者 京都市水道局

印刷者 京都市下京區北小路通新町西 須磨勘兵衛

印刷所 京都市下京區西洞院通七條南 内外出版印刷株式會社

14.5  
679



終